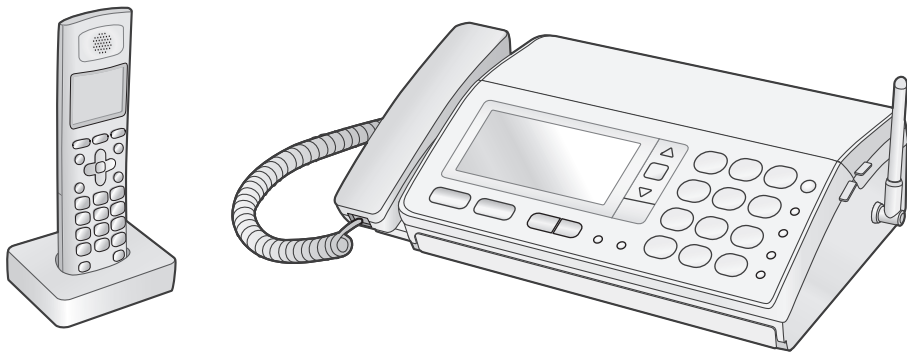


デジタルコードレスファクシミリ 取扱説明書

[ファッピ:]
fappy*
FAX makes it happy.

形名 ユーエックス シー エル
UX-810CL (子機 1台タイプ)
ユーエックス シー ダブル
UX-810CW (子機 2台タイプ)



技術基準適合品

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全について」(☎6ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

別売品・消耗品

<ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください>
別売品・消耗品は当社の純正品や指定品をお使いください
(詳しくは ☎91ページ)。

品名	形名	サイズ	希望小売価格
ファクシミリ用普通紙	PP110MA4	A4サイズ (250枚)	600円+税
インクリボン (お買いあげ時にセットされているインクリボンはお試し用です。お早めに新しいインクリボンをお買い求めください)	UX-NR8G	A4幅×33m 1本	1,250円+税
	UX-NR8GW	A4幅×33m 2本1組	2,300円+税
デジタルコードレス子機用 充電電池 (ニッケル水素充電電池)	M-003		1,600円+税

●希望小売価格は2014年4月現在のものです。

こまだったときは

本機が正しく動かないなど
お困りのときは、

72~90ページを
ご覧ください。



ナンバー・ディスプレイ対応
キャッチホン・ディスプレイ

※NTTへのサービス申し込みが必要です(有料)。

ナンバー・ディスプレイサービスのお問い合わせは

局番なしの**116番**へ



ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

付属品

もし付属品が足りない場合や違うものが入っている場合は、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機 1台 		 <p>お試し用インクリボン（1本）は、あらかじめ親機にセットされています。</p>	
受話器 受話器コード 1個 1本 	電話機コード (約1.5m) 1本 	子機 UX-810CL : 1台 UX-810CW : 2台 	
充電器（子機用） UX-810CL : 1個 UX-810CW : 2個 	充電電池ふた（子機用） UX-810CL : 1個 UX-810CW : 2個 	充電電池（子機用） M-003 UX-810CL : 1個 UX-810CW : 2個 	
<ul style="list-style-type: none"> ●お試しのインクリボンは、別売品よりも印刷できる枚数が少なくなっていますので（A4サイズで、約10枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。 ●インクリボンは、必ず当社の純正品をお使いください（☎91ページ）。 <ul style="list-style-type: none"> ■UX-NR8G（33m×1本入り） ■UX-NR8GW（33m×2本入り） ●記録紙は付属していませんので、お買い求めください（☎91ページ）。 			
はじめにお読みください ※ 1枚		文字入力ボタン対応表シール ※ 1枚	
取扱説明書（本書） ※ 1冊			1冊

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
 This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

こんなときは

よくお使いになる機能やお問い合わせの多い内容をまとめました。
通常のもくじは4~5ページをご覧ください。

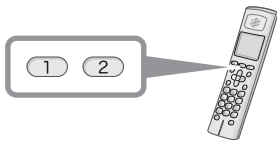
電話帳 ⇒ 29ページ

● 電話をかける



ワンタッチダイヤル ⇒ 35ページ

電話帳とは別に登録します。



ファクス

● 送る

⇒ 40ページ



● 受ける

⇒ 44ページ



通話音量を大きく ⇒ 52ページ

 (親機) /  (子機) を押します。



本機の動作で困ったときは

● 電話がかけれないときは

電話回線の種別を設定し直してください。

特定の番号や携帯電話に電話がかけれない場合は、「電話がかけれない」をご覧ください。

● ひかり電話などの光回線に契約を変更したときは

電話回線の種別を設定し直してください。⇒ 19ページ

「携帯とくとくダイヤル」を使用しない設定に変更してください。
変更しないと、携帯電話に電話をかけることができません。 ⇒ 53ページ

ご契約の内容によっては、一部のサービスの番号にかけることができません。
詳しくは、ご契約の光電話会社にご確認ください。

光回線に変更後に困ったことがある場合は、「いろいろな接続」をご覧ください。 ⇒ 78ページ

● 子機の通話中に雑音が入るときは

設置場所や環境によって雑音が入ることがあります。
詳しくは、「子機に雑音が入ったり、声が途切れたりすることがあります」をご覧ください。 ⇒ 11ページ

それでも雑音が入るときは、「声が聞こえにくい」をご覧ください。 ⇒ 74ページ

● その他のことで困ったときは、

「こまったとき」をご覧ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番電話

ファクス

印刷・コピー

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったとき

ご参考に

さくいん

付属品	2
こんなときは	3
もくじ	4

ご使用の前に

安全について	6
ご使用の前に	10
各部のなまえ	12
準備	16

電話・電話帳

電話をかける／受ける	23
電話をかける	23
再ダイヤル	23
電話を受ける	24
聞いてから応答	24
迷惑電話お断り	26
内線通話	28
電話帳	29
電話帳に登録する	29
文字入力	30
おしゃべり電話帳	33
電話帳で電話をかける	33
電話帳を転送する	34
ワンタッチダイヤル（子機）	35

留守番電話

留守番電話を使う	36
録音を再生／消去する	37
留守番電話の設定をする	38
リモート操作	39

ファクス

ファクスを送る	40
ファクスを受ける	44
電話に出てからファクスを受ける	44
自動でファクスを受ける	45
ファクスを見る（見てからプリント）	47

印刷・コピー

記録紙をセットする	49
印刷する	50
ファクスを印刷する	50
登録内容を印刷する	50
コピーする	50

便利な機能

音の設定	51
日時の設定	52
携帯とくとくダイヤル	53
モデムダイヤルインサービス	54
通話や伝言を録音する	57
今から録音	57
戻って録音	57
警告してから録音	58
メモ録音	58
もっと便利に	59
音声操作案内を利用する	59
ドアホンをつなぐ	61
キャッチホン／	
キャッチホン・ディスプレイ	64
子機を増設する	65

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	66
あんしん LED	67
着信を音声でお知らせ	67
誰からコール	67
誰あてコール	68
着信記録	69
着信鳴り分け	70
着信お断り	70
特定の種類の着信をお断りする	70
特定の番号をお断りする	70

こまったとき

電話がかけれない	72
声が聞こえにくい	74
ファクスを送れない／受けられない	75
着信音が鳴らない	76
その他 こまったとき	77
記録紙に線が入る	81
原稿や記録紙がつまった	82
エラー表示／エラー音	85
お手入れ	87
インクリボン交換	88
充電電池交換	89
故障かな?と思ったときは (修理依頼される前に)	90

ご参考に

別売品／消耗品	91
登録や設定・電話帳を初期化する	92
特別設定	93
区点コード一覧表	96
仕様	98
登録／設定早見表	100
保証とアフターサービス (よくお読みください)	105
お客様ご相談窓口のご案内	106
リモート操作手順カード	107
文字入力ボタン対応表	107
さくいん	113
保証書	115

お調べになりたい内容は、さくいん (☞ 113 ページ) からご確認ください。

Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.
Copyright 1993-2004 Datalight, Inc., All Rights Reserved




◆お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあけの販売店またはシャープお客様ご相談窓口 (☎ 106ページ) までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記録内容が変化・消失する場合があります。




安全について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。




◆ 図記号について

 危険	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

◆ 図記号の意味

 気をつける必要があることを表しています。
 してはいけないことを表しています。
 しなければならないことを表しています。


危険

充電機について	
<液もれ、発熱・破裂によるやけどやけがの原因>	
	充電機は、以下のような使用をしない ・端子の＋を逆にして接続する ・端子の＋を針金やピンセットなどの金属類に接触させる ・加熱／火の中／水の中へ投げ込む ・ハンダ付け ・専用の充電器以外で充電する ・充電機ふたを閉めるとき、充電機のコードをはさむ ・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運ぶ／保管する ・子機以外の機器に使用する
	充電機は専用のものを使用する
<失明のおそれ>	
	充電機の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受ける


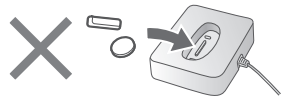










警告

本機の取り扱いについて	
＜火災、感電の原因＞	
	本機の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない／落とし込まない 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	風呂場や雨にあたる場所、湿気が多い場所では絶対に使用しない
	分解、修理、改造は絶対にしない 修理はお買いあげの販売店にご相談ください。
	こぼれたり、中に入らないように、本機の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、小さな金属物を置かない ペットの尿にもご注意ください。 
	万一、内部に水や金属物、異物などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、充電池をはずしてお買いあげの販売店に連絡する
	万一、異音がする、煙が出る、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、電源プラグをコンセントから抜き、充電池をはずしてお買いあげの販売店に修理を依頼する
＜けが、故障の原因＞	
	本機を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしない 万一、落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買いあげの販売店へご連絡ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
＜事故の原因＞	
	電子機器や医療機器に影響を与えるおそれがあるので、病院内などの使用を禁止された場所では使用しない
充電池について	
＜発熱、サビの原因＞	
	水や海水につけない／濡らさない ペットの尿にもご注意ください。
＜液もれ、発熱、破裂の原因＞	
	充電池のビニールカバーをはがさない／キズをつけない
＜皮膚に障害を起こすおそれ＞	
	充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す

電源コード、電源プラグについて	
<火災、感電の原因>	
⊘	<p>以下の操作をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷つける ・ 加工する ・ 熱器具に近づける ・ 重いものを乗せる ・ 無理に曲げる ・ 無理にねじる ・ 無理に引っ張る ・ 束ねる <p>電源コードが傷ついた場合は、お買いあげの販売店に連絡してください。</p>
⊘	<p>電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない</p> 
⊘	<p>傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない</p>
!	<p>本製品は国内電源仕様なので、必ず家庭用電源電圧（AC100V）で使用する 海外では使用しないでください。</p>
<発熱による火災の原因>	
⊘	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない、タコ足配線しない</p>
<発熱による火災、感電の原因>	
!	<p>電源プラグは根元まで差し込む</p>
⊘	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</p>
<火災、感電、故障の原因>	
!	<p>雷が鳴りだしたら、安全のため、早めに電源プラグをコンセントから抜いて、電話機コードを親機から外す</p>

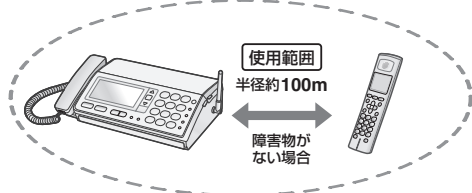
⚠ 注意

本機の取り扱いについて	
＜やけど、けがの原因＞	
	記録ヘッドに直接手でふれない
	充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かない
	
＜使用できなくなるおそれ＞	
	磁力線が出ているので、磁気に弱いもの（キャッシュカード、自動改札定期券など）を充電器に近づけない
＜けがの原因＞	
	親機のカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意する
＜低温やけどの原因＞	
	本機の温度の高い部分に長時間ふれない
	充電器は風通しのよい状態で使用する 熱がこもり、キャビネットが変形するおそれがあるため、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
＜事故のおそれ＞	
	充電電池は幼児の手の届かない場所に保管する 幼児が機器から取り出さないようご注意ください。
＜感電、けが、やけどの原因＞	
	点検、清掃は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、記録ヘッドなど熱くなるものが冷えてから行う
本機の設置について	
＜火災、じゅうたんなどの変色の原因＞	
	風通しの悪い場所や、じゅうたんなどの上に置かない
＜落ちるとけが、故障の原因＞	
	ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の激しいところなど、不安定な場所に置かない
＜火災、故障の原因＞	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
	火器の近くに置かない
＜火災の原因＞	
	熱がこもるので、暑い場所や直射日光の当たる所、暖房機の近くに置かない

ご使用の前に

◆ 親機と子機の間には障害物のある場所で使わない

親機と子機の間には障害物（金属製のドア、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラス、断熱材など）があったり、親機と子機を別の階や別棟に設置したときは、電波を通しにくくなるため、電波の届く距離が短くなることがあります。



◆ 親機のアンテナは、立ててお使いください

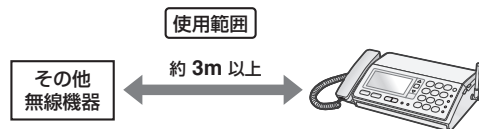
電波の届く距離が短かったり雑音が入ることがあるため、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立ててお使いください。

◆ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

◆ 本機を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、その他無線機器に障害を与えたりすることがあります。**電波干渉を防ぐために、他の無線機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。**



◆ 子機の設置台数について

同一フロアで1.9GHz帯を使用する親機と子機を複数設置する場合、子機の合計が8台を超えないようにしてください。設置場所によっては、電話をかけたり受けたりできなくなることがあります。

◆ 本機の電波について 本機は、1.9GHz帯を使用 する時分割多元接続方式

1.9-D

広帯域デジタルコードレス電話です。
広帯域通話機能は搭載していません。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

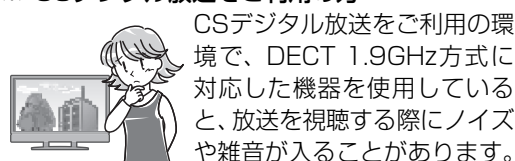
万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、使用を停止し、お客様ご相談窓口（☎ 106ページ）にご連絡ください。

その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（☎ 106ページ）にご連絡ください。

◆ 電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本機を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、CATV機器の誤動作の原因になることがあります。これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。

※ CSデジタル放送をご利用の方へ



CSデジタル放送をご利用の環境で、DECT 1.9GHz方式に対応した機器を使用していると、放送を視聴する際にノイズや雑音が入ることがあります。

- その場合は以下のように対応してください。
- ・ CS デジタル放送受信機器から本機を離して設置する。
 - ・ シールド性の高いCS・BS対応の分波器、分配器、混合器、接続ケーブルを使用する。

◆ 子機に雑音が入ったり、声が途切れたりすることがあります

- 子機のアンテナ表示が 2 本以上になっているかご確認ください (P.22 ページ)。
- 携帯電話の充電器・AC アダプター、他の機器の電源コードなどからできるだけ離してください。また、本機とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機と充電器を50cm以上離してください。
- 子機はしっかりと充電してください。充電量が不足すると、通話中に雑音が入ることがあります。
- 通話中は子機のアンテナ部 (P.14 ページ) を手で覆わないでください。
- 以下の場合は、子機に雑音が入ったり、声が途切れたりすることがあります。
 - ・ 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けたとき。
 - ・ 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ったとき。
 - ・ 特定の補聴器をお使いのとき。
※ 補聴器にも雑音が入ることがあります。
 - ・ ひかり電話などの光回線や IP 電話、ADSL、ISDN をご利用のとき。
- 通話中、ご使用の電話回線や通話状態にあわせるため、自動的に通話レベルの調整を行うことがあります。調整には 30 秒～1 分ほどかかり、その間の通話は音量が不安定になったり雑音が入ったりしますが、故障ではありません。



◆ 子機の取り扱いについて

親機や子機の近くで1.9GHzデジタルコードレス電話機などが使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

◆ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなるがありますが、故障ではありません。

◆ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

◆ 送話口 (マイク) をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

◆ ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「**機器使用料**」は、**不要**となります。詳しくは、**局番なしの116番 (無料)** へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

◆ “傍受”にご注意ください

本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

◆ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電が切れると、子機は使用できなくなります。充電切れを防ぐために、子機をご使用できないときは、常に充電器に戻しておいてください。

◆ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

◆ この装置について

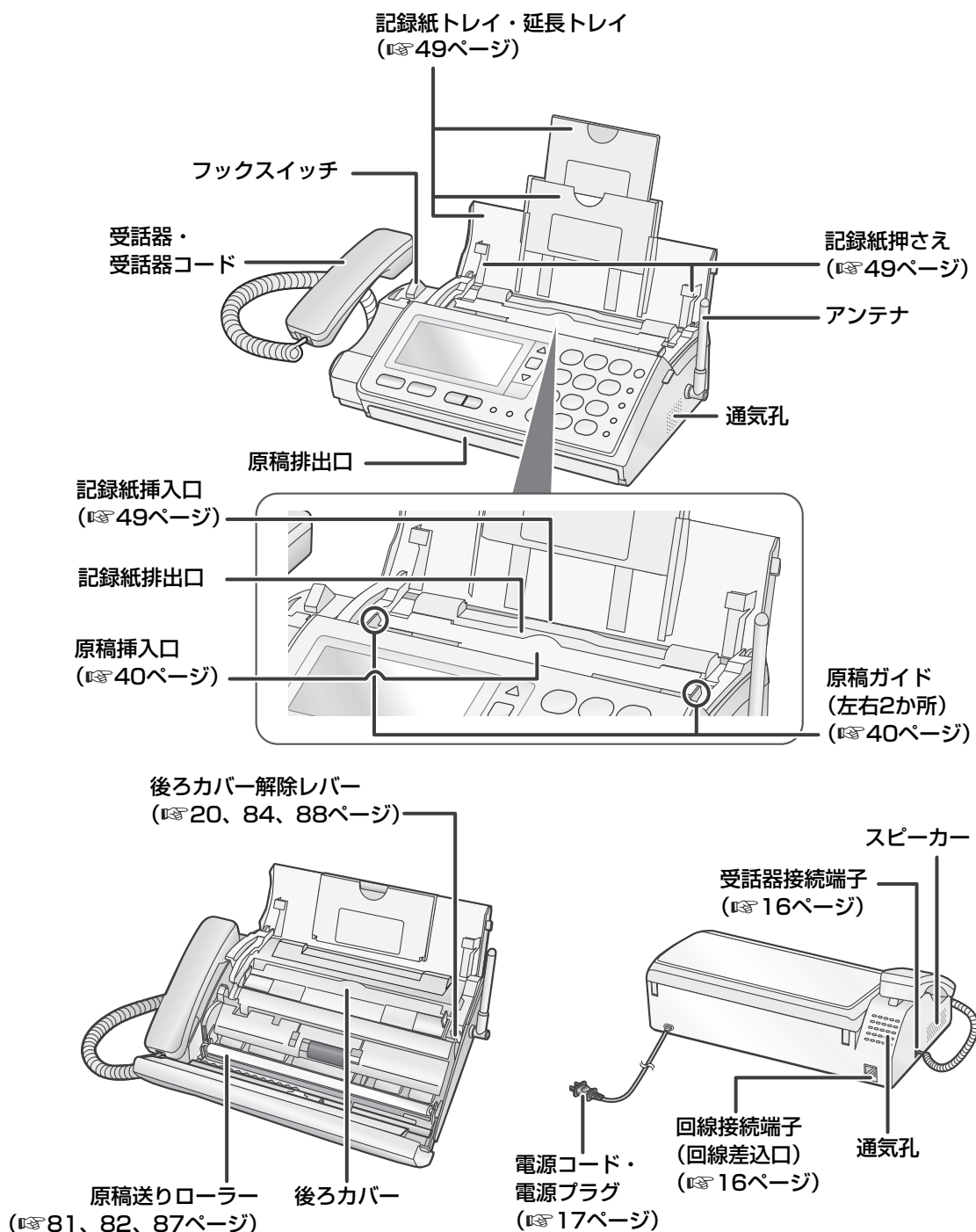
この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B






◆ 商標について


本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

各部のなまえ (親機)



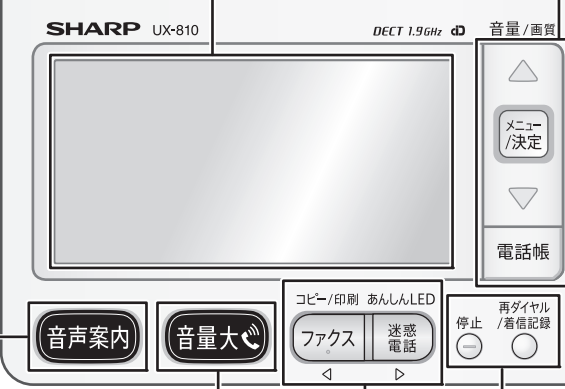
 (マルチファンクションキー)	<ul style="list-style-type: none"> ● 項目の選択や決定・音量変更・画質変更など上下の部分を押して、項目の選択や音量の変更ができます。本文中では、マルチファンクションキーの操作を以下のように記載しています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  : 矢印が指している部分を押す </div> <div style="text-align: center;">  : 上下どちらかを押す </div> </div>
 メニュー/決定	マルチファンクションキーの中央にあるボタンです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 各種項目の決定 ● メニュー画面の呼び出し
 電話帳	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話帳に登録する (P.29ページ) ● 電話帳で電話をかける (P.33ページ)


 ● 音声操作案内を利用する (P.59ページ)


液晶ディスプレイ
 (P.15ページ)


ダイヤルボタン

- 電話番号のダイヤル (P.23ページ)
- 文字入力 (P.30ページ)





 ● 音声操作案内

 ● 音量大

コピー/印刷 あんしんLED

ファクス 迷惑電話

停止 再ダイヤル/着信記録

録音
 ● 留守設定 (P.36ページ)
 ● 今から録音 (P.57ページ)
 ● メモ録音 (P.58ページ)

再生
 ● 録音再生 (P.37ページ)

消去/キャッチ
 ● 各種消去
 ● キャッチホン (P.64ページ)
 ● 各種操作のキャンセル

保留/内線
 ● 内線通話 (P.28ページ)
 ● 通話の保留 (P.23ページ)

オンフック
 ● オンフックダイヤル (P.23ページ)



ファクス

- ファクス送受信 (P.40、44ページ)
- ファクスの印刷 (P.50ページ)
- ファクスを見る (P.47ページ)
- コピー (P.50ページ)

迷惑電話

- 聞いてから応答 (P.24ページ)
- 今から録音 (P.57ページ)
- 戻って録音 (P.57ページ)
- 警告してから録音 (P.58ページ)
- チャイムでお断り (P.26ページ)
- メッセージでお断り (P.26ページ)
- 録音でお断り (P.26ページ)
- お断り設定の確認/変更/初期化 (P.71ページ)

文字入力時は

 でカーソルを左へ移動 /  でカーソルを右へ移動

停止
 ● 操作や送信の中止

再ダイヤル/着信記録
 ● 再ダイヤル (P.23ページ)
 ● 着信記録 (P.69ページ)

録音 (留守)

- 留守設定 (P.36ページ)
- 今から録音 (P.57ページ)
- メモ録音 (P.58ページ)

再生
 ● 録音再生 (P.37ページ)

消去/キャッチ
 ● 各種消去
 ● キャッチホン (P.64ページ)
 ● 各種操作のキャンセル

保留/内線
 ● 内線通話 (P.28ページ)
 ● 通話の保留 (P.23ページ)

オンフック
 ● オンフックダイヤル (P.23ページ)


点灯/点滅するボタン、ランプ


オレンジ色

1^{*} ~ 9^{*}

0^{*} # *


赤色

 録音

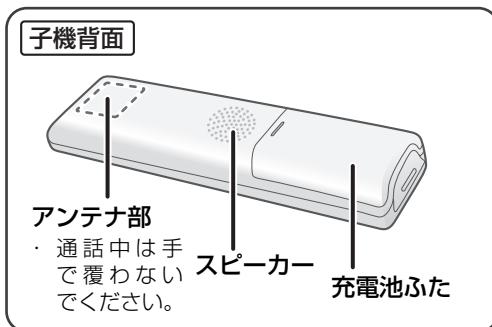
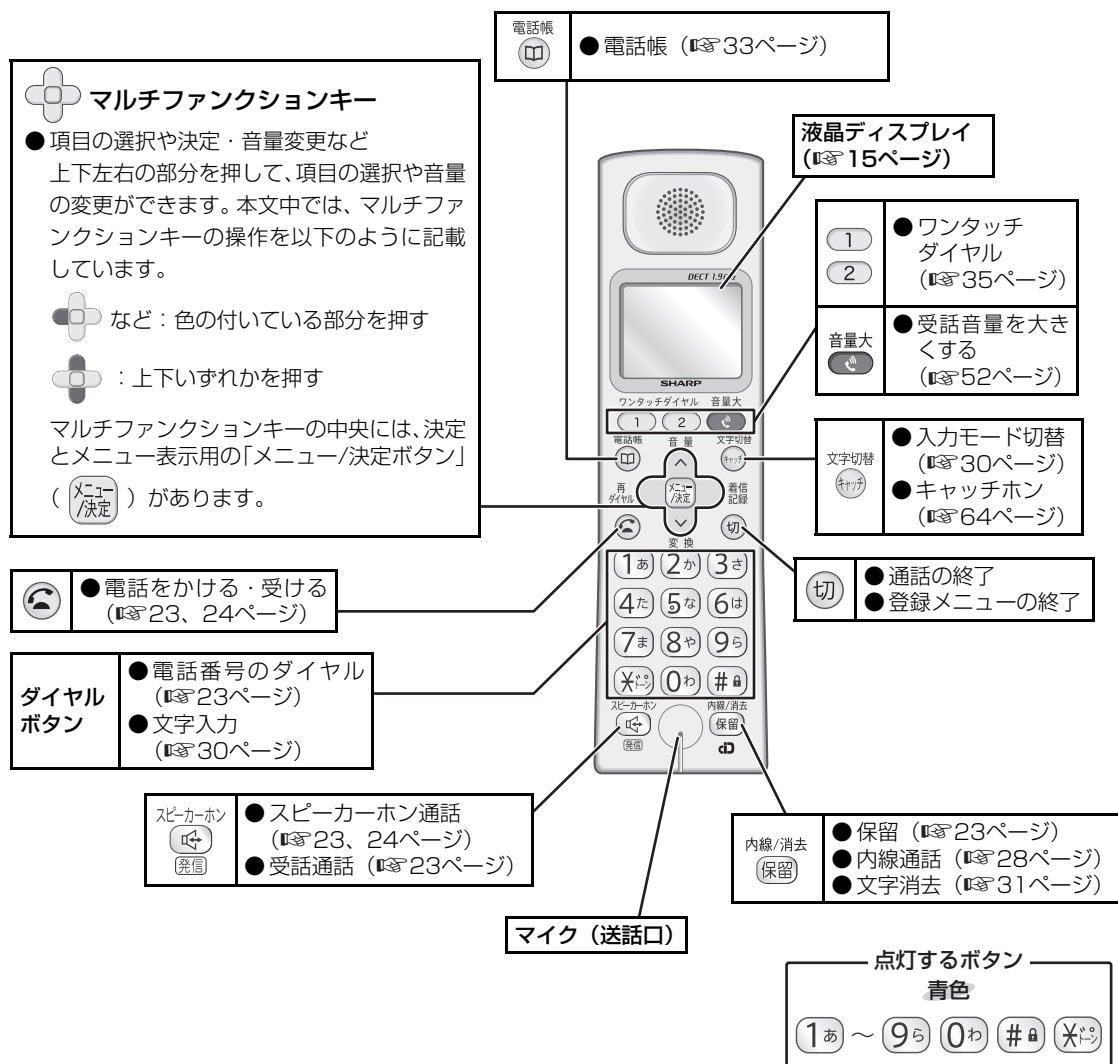
 留守

緑色/黄色/赤色

あんしんLED

 迷惑電話

各部のなまえ (子機)



液晶ディスプレイ

親機

約1分間、何も操作をしないと、節電のためにバックライトが消灯します。さらに約2分間、何も操作をしないと、ディスプレイが消えます。メッセージがある場合は、バックライトを消灯し、「エラー／メッセージ／設定状態表示」のみを表示します。いずれかのボタンを押すと、再び通常の表示に戻ります。



① 日時や電話番号、通話時間などを表示します。

エラー／メッセージ／設定状態表示

各種のメッセージ（☎85ページ）や設定状態のアイコンなどを表示します。

とくとく：携帯とくとくダイヤル機能（☎53ページ）を設定時に表示。

着信音切：着信音を鳴らさない（☎51ページ）設定時に表示。

② **お断り**：各種お断り機能（☎70ページ）の設定時に表示。

ファクス自動：ファクス自動受信（☎45ページ）設定時に表示。

ファクス優先：ファクス優先（☎46ページ）設定時に表示。

ファクス専用：ファクス専用（☎46ページ）設定時に表示。

子機

暗いところでも見やすいバックライト付きです。



子機の電波状態を表示します（☎22ページ）。

① 待受画面（何も操作していない状態の画面）では、子機番号または使用者名、日時を表示します。また、機能メニューでは設定項目、ダイヤル時は電話番号、通話中は通話時間などを表示します。

留守：留守設定時に表示（☎36ページ）。

着信音切：着信音を鳴らさない設定にしているときに表示（☎51ページ）。

② **電池**：充電電池の残量を表示（☎22ページ）。

※図は説明用です。すべての項目が一度に表示されることはありません。

準備

準備（親機）

STEP1 接続

ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、19ページをご覧ください。

◆ 設置について

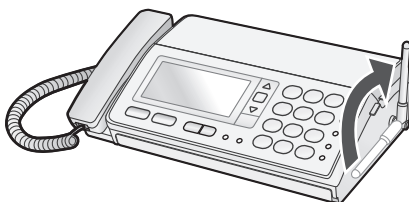
本機の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



1 受話器コードの一方を受話器に、もう一方を親機に、カチッと音が鳴るまで差し込み、受話器を置く

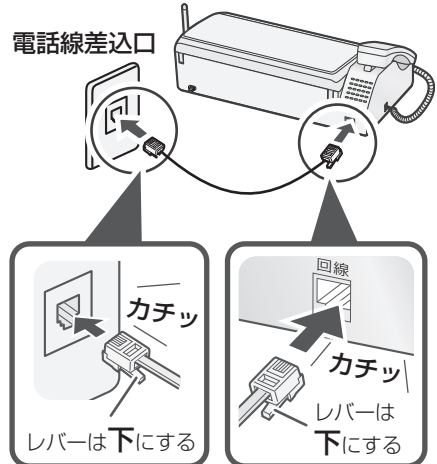


2 アンテナをまっすぐに立てる

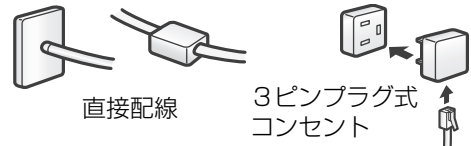


3 付属の電話機コードの一方を電話線差込口に、もう一方を親機に、カチッと音が鳴るまで差し込む

※先に電源プラグを接続すると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。



- ・ホームテレホン、構内交換機（PBX）などでは工事が必要になります（[P.20](#)ページ）。
- ・電話線コンセントのタイプが直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。また、3ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。



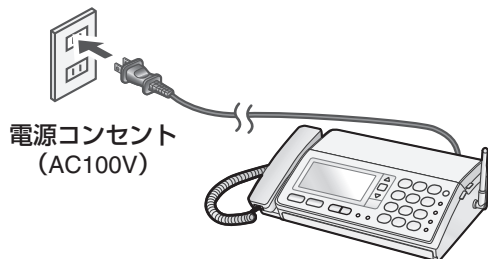
4 親機の上部などが見やすい場所に「文字入力ボタン対応表シール」を貼り付ける

（例）



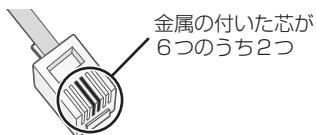
- ・親機に文字入力ボタン対応表シールを貼り付けるときは、上部以外には貼り付けないでください。また、記録紙トレイを開けるとときに引っかからない位置に貼り付けてください。
- ・文字入力ボタン対応表シールを別の場所でも使用したいときなどは、107ページの「文字入力ボタン対応表」をコピーしてお使いください。

5 準備が終わったら、電源プラグを差し込む




◆お知らせ

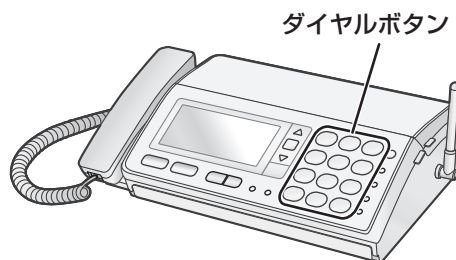
- 引っ越しや本機を知人から譲られたときなど、最初の設定時と異なる回線を接続するときは、回線種別を設定し直してください (P.19ページ)。
- 親機や子機の設置場所について、詳しくは「本機を設置するときは」(P.10ページ) をご覧ください。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリと並列に接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、91ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極2芯と表示されているものをお求めください。



STEP2 日時の設定

親機の電源プラグを接続すると、日時の設定画面になります。

- 1 [日付・時刻を設定してください
[メニュー/決定]で設定 [停止]で中止] と表示されたら 
- 2 ダイヤルボタンで年月日を入力



・ 年は西暦で4ケタ、月日は2ケタずつ入力してください。

- 3 ダイヤルボタンで時刻を入力

・ 24時間制で入力してください。

- 4 入力した内容を確認して 

・ 先に子機を充電していると、登録した親機の日時が自動的に子機へ転送されます (時計バックアップ (P.95ページ) を使用する設定になっているとき)。

◆ 日時の再設定 (P.52ページ)

◆お知らせ

- 時刻表示は、めやすです。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスに印刷されます。
- 親機の電源を入れても、日時の設定画面が表示されないときは、52ページの操作で設定してください。

ここまでの設定が終わったら

待受画面に戻り、親機が自動的に電話回線の種類を確認します。
「ピー」と鳴ったら設定完了です。

「ピー」と鳴らないときは...

- ・19ページの「電話がかかけられないときは」をご覧ください、回線種別を設定し直してください。
- ・72ページの「電話がかかけられない」をご覧ください。



設定が終わったら、天気予報（177）に電話がかかけられることを確認します。
※通話料金がかかります。

電話がかけられないときは

下記の操作をしてもかけられないときは、「電話がかけられない」(P.72ページ)をご覧ください。

◆ 電話回線(ダイヤル/プッシュ)の種別を自動で設定し直す

メニュー/決定 ① ④ ④ と順に押す。

・以下の画面が表示されます。

回線識別中
しばらく
お待ちください

◆ 電話回線(ダイヤル/プッシュ)の種別を手動で設定 自動設定できないときは、下記の操作で設定してください。

① メニュー/決定 ① ④

② お使いの回線に合わせた回線を選び、ダイヤルボタンを押す

[プッシュ回線(トーン)]: ①

[ダイヤル回線(20PPS)]: ②

[ダイヤル回線(10PPS)]: ③

③ 停止

◆ デモ表示について

電源コードを接続したあと、回線種別を設定しないまま約10分そのままにしておくと、デモ画面が表示され、メロディが鳴りはじめることがあります。回線種別の設定が終わると、デモ表示とメロディは止まります。以下の操作で表示の設定ができます。

① メニュー/決定 のあと # (4回)

② ⑧

③ 設定を選んでダイヤルボタンを押す

[しない]: ①

[する(回線種別連動)]: ②

[する(常に実行)]: ③

◆ お知らせ

- IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながりがない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
- IP電話や構内交換機(PBX)、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがあります。ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください。

いろいろな接続

光回線やADSL回線、ISDN回線と接続する場合は、下記の内容を参考にしてください。

詳しくは、各サービス会社にお問い合わせください。

◆ ひかり電話などの光回線をご利用のとき

本機に接続した電話機コードとひかり電話対応機器のTELポートとを接続してください。

また、お困りのときは以下をご覧ください。

電話がかけられない
回線種別が正しく設定されていますか? ⇒ ご契約の回線種別を確認して手動で変更します(P.左記)。
携帯電話につながらない
光電話(NTTのひかり電話など)をご契約の場合「携帯ととくとくダイヤル機能」はご利用になれません。 ⇒ 使用しない設定にします(P.53ページ)。

ファクスの送受信ができない 電話やファクスを使っていないのに[外線使用中]などの表示が出る ナンバー・ディスプレイが動作しない 電話の音が聞こえにくい・雑音が入る 受話器を取ると「キーン」という音が出る
⇒ ご契約の内容をご確認ください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
⇒ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口(P.106ページ)にご相談ください。

◆ ADSLによるIP電話をご利用のとき

本機に接続した電話機コードとIP電話対応ADSLモデム内蔵ルータのTELポートとを接続してください。

- ・基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプター」(会社によって名称は異なります)に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになれます。
- ・接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、詳しくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

◆ ADSL回線に接続するとき

本機に接続した電話機コードとADSLモデムに接続されているスプリッタとを接続してください。

◆ ISDN回線に接続するとき

本機に接続した電話機コードとターミナルアダプター(TA)のアナログポートを接続してください。

- ・電話線差込口からの電話機コードを、直接、親機の回線接続端子に接続しないでください。

◆ 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

- ・工事、アダプター接続等が必要となりますので、お取り付けのビジネスホン、ホームテレホンのメーカーに接続方法をご確認をお願いします。
- ・ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定にてお使いください (☎66 ページ)。
- ・本機以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

◆ お知らせ

- 端子やポートの名称は商品によって異なる場合があります。
- スプリッタがルータに内蔵されている場合があります。
- 電話機や他のファクシミリとは並列接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

STEP3 インクリボンの確認 (はじめてお使いになるとき)

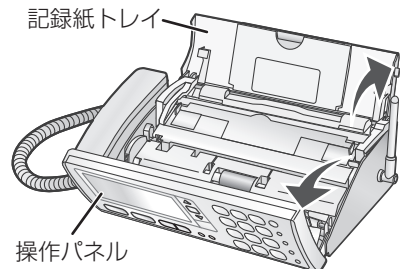
インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しく印刷できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっておりますので (A4サイズで、約10枚印刷可能)、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

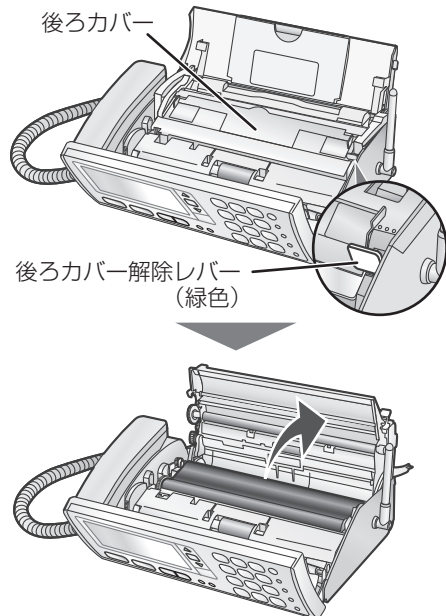
インクリボン (ギア付きタイプ) は、必ず当社の純正品をお使いください (☎91 ページ)。

- UX-NR8G (33m×1本)
- UX-NR8GW (33m×2本)

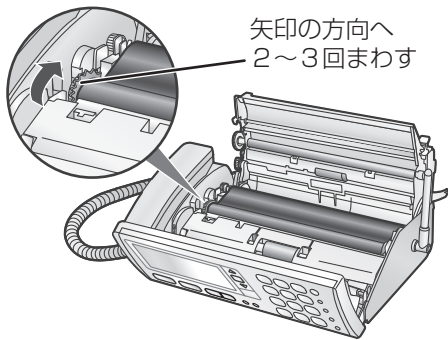
1 記録紙トレイを後ろに、操作パネルを前に起こす



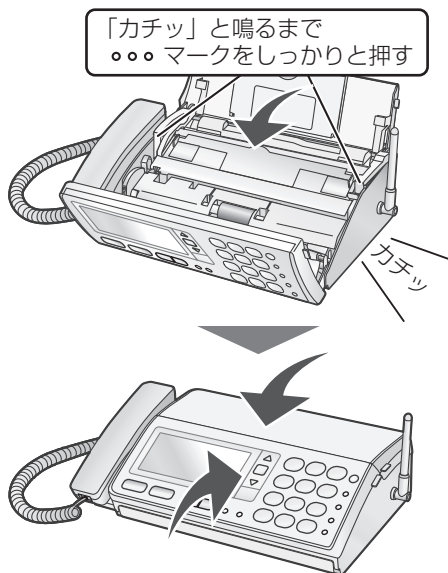
2 後ろカバー解除レバー (緑色) を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



3 インクリボンのたるみを取る



4 後ろカバーを閉め、操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



◆ 使用済みのインクリボンを交換する (☞ 88ページ)

準備 (子機)

STEP1 充電電池をセット

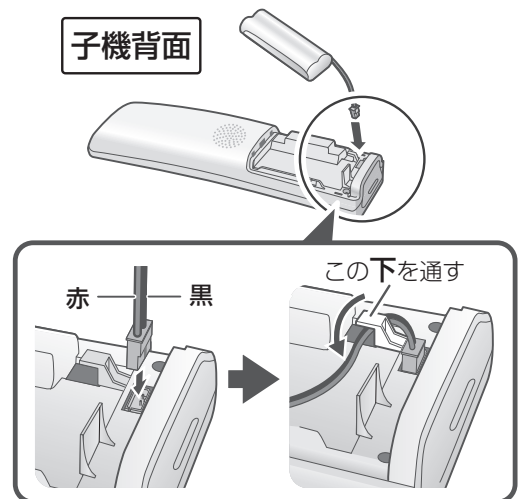
⚠ 危険

充電電池は、子機以外の機器には使用しないでください。充電電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

⚠ 警告

充電電池のビニールカバーをはがしたり、キズを付けないでください。充電電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

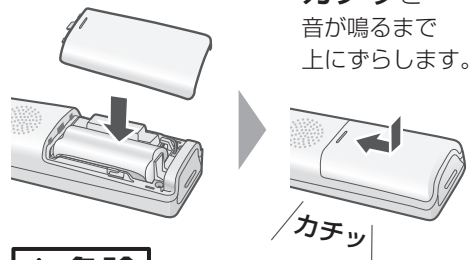
1 充電電池のコードの先端部分を、子機に差し込む



2 充電電池を入れて、ふたを取り付ける

充電電池ふたを上からかぶせます。

少し押しながら
カチッ
音が鳴るまで
上にずらします。



⚠ 危険

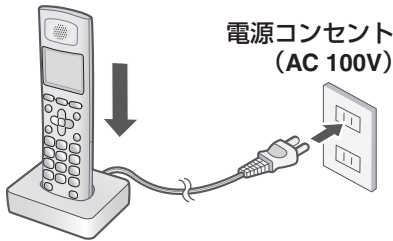
充電電池ふたを取り付けるときは、充電電池のコードをはさまないようにしてください。充電電池の発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

STEP2 充電

⚠ 危険

充電するときは、専用の充電電池以外は使用しないでください。充電電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

1 充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、子機を置いて充電する

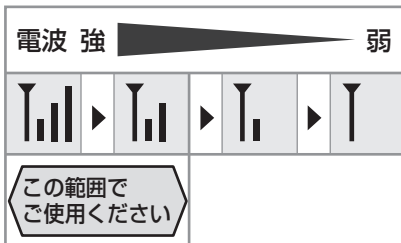


はじめて子機を使うときは、**連続して10時間以上充電**してください。

- ・親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時も設定されます。
- ・ディスプレイに何も表示されないときは、数分間子機を充電器に置いたままにしておく则表示されます。

◆ 子機のアンテナ表示について

子機を設置する前に、子機ディスプレイのアンテナ表示を確認してください。



- ・アンテナが正しく表示されていても、お使いの環境によっては、通話中に雑音が入ることがあります。詳しくは、「本機を設置するときは」(P.10ページ)をご覧ください。

◆ 通話時間について

満充電（10時間以上充電した状態）で通話できる時間は、連続通話状態で**最大約8時間**です。

	充電電池の残量のめやすを表示しています。
(点滅)	
	[電池残量がありません]と表示されて使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。
(点滅)	充電残量が少なくなると充電すると、点滅します。

- ・通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピピッ…ピピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます(子機のディスプレイに[電池残量がありません]と表示されます)。このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話ください。
- ・電波状態が悪い場合や、スピーカーホン通話中は、通話できる時間が短くなります。

◆ お知らせ


- 子機を2台以上お使いのときは、それぞれの子機が近づきすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています(無接点充電)。AMラジオなどの近くに充電器を置くと、AMラジオなどに雑音が入ることがあります。
- テレビやスピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。
- 親機や子機の設置場所について、詳しくは「本機を設置するときは」(P.10ページ)をご覧ください。

電話をかける／受ける

電話をかける


- 1 親機：受話器を取る
子機：子機を充電器から取る

- 2 親機：電話番号を押す
 - ・間違い電話を防ぐために、「ツー」という音を確認してからダイヤルしてください。
 - ・先にダイヤルしてから受話器を取って電話をかけることもできます。

子機：電話番号を押して 

- 3 通話が終わったら


親機：受話器を戻す

子機：  もしくは子機を充電器に戻す

- ◆ 電話がかげられないときは
72ページをご確認のうえ、設定をし直してください。

- ◆ 保留
音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。


親機：

通話中に  を押して受話器を戻す

- ・再び通話するとき：受話器を取る

子機：

内線/消去

通話中に 

- ・再び通話するとき： / 


- ◆ ダイヤル回線でトーン信号を送る

電話中に、（親機） / （子機）のあとにダイヤルボタンを押す

- ・電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

- ◆ スピーカーホンでかける（子機）


1 電話番号を押して 



2 マイクに向かって話す 

3 通話が終わったら 

- ・マイクで話す距離のめやすは約 50cm です。


- ◆ 天気予報や時報を聞く
（親機：オンフックダイヤル / 子機：受話通話）
スピーカーから相手側の音声が聞こえます。ただし、お話しはできません。


親機： を押してから電話番号を押す

子機：[SP受話通話中] と表示されるまで  を 3秒以上押してから電話番号を押す 




- ・通常の通話に切り替えるときは：

親機：受話器を取る

子機：




- ◆ PBX（構内交換機）やホームテレホンから外線にかける

外線につなぐ番号を押したあと、親機では 、子機では  を押して約3秒間の待ち時間（ポーズ時間）を加えます。続けて電話番号をダイヤルしてください。ポーズを入力すると、「-」（ハイフン）で表示されます。ポーズは電話帳に登録することもできます（ 29ページ）。

再ダイヤル


以前かけた番号のうち、新しいものが親機では20件、子機では10件まで記録されます。


- 1 親機：

子機：子機を充電器から取って 

- 2 （親機） / （子機）で番号を選ぶ


- ・再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。

- ・親機で受話器を取ってから  を押すと、最後にかけた番号へ発信します。

- 3 親機：受話器を取る / 子機：

- 4 通話が終わったら

親機：受話器を戻す

子機： もしくは子機を充電器に戻す

◆ 親機で再ダイヤルを消去する

1件ずつ：

- ① (再ダイヤル/着信記録)
- ② で消去したい番号を選び (2回)
- ③ (停止)

すべて：

- ① (2) (2)

◆ 子機で再ダイヤルを消去する

1件ずつ：

- ①
- ② で番号を選び
- ③ で [1件消去] を選び (2回)

すべて：

- ①
- ② で [全消去] を選び
- ③ で [再ダイヤル] を選び (2回)

◆ お知らせ

- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記録しています。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら

親機：受話器を取る

子機：子機を充電器から取り、

- ・ 電話に出られないときは、子機の を押すと子機の着信音が止まります（親機の着信音は止まりません）。

2 通話が終わったら

親機：受話器を戻す

- ・ 「着信らくらく番号登録」(☎71ページ) を設定しているときは、電話をかけてきた相手先の番号を電話帳などに登録できます。

子機： もしくは子機を充電器に戻す

◆ スピーカーホンで受ける（子機）

- ① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ② (スピーカーホン)
- ③ 通話が終わったら
 - ・ マイクで話す距離のめやすは約 50cm です。

◆ ナンバー・ディスプレイの契約をすると

電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが表示されます（☎66ページ）。

◆ 「あんしんLED」(☎67ページ) を設定しているときは

電話がかかってくると、 あんしんLED が点灯/点滅します。

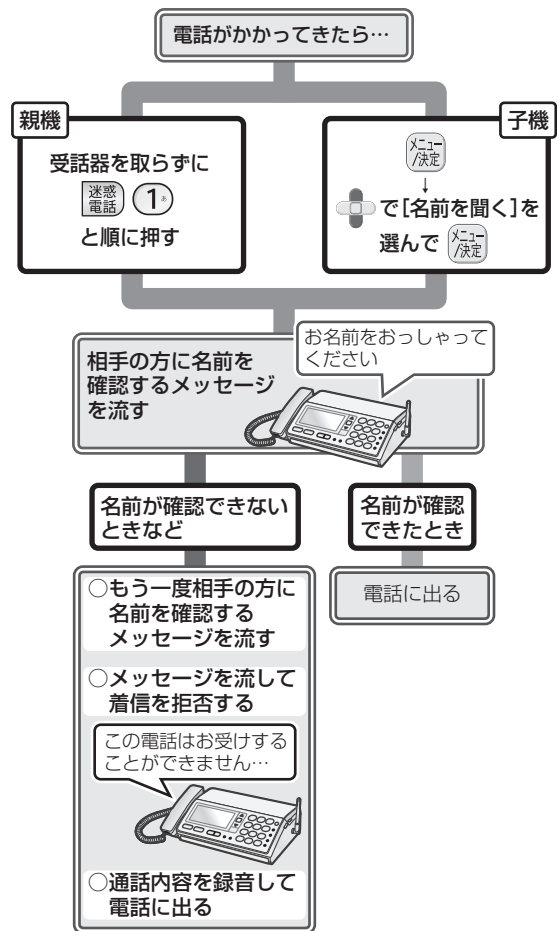
ナンバー・ディスプレイ (☎66ページ) をご契約のときは、電話をかけてきた相手の方の電話の種類に合わせて、色分けして点灯または点滅します。

◆ お知らせ

- 通話中、ご使用の電話回線や通話状態にあわせるため、自動的に通話レベルの調整を行うことがあります。調整には30秒～1分ほどかかり、その間の通話は音量が不安定になったり雑音が入ったりしますが、故障ではありません。

聞いてから応答


電話がかかってきたとき、親機もしくは子機で操作して、相手の方に名前を確認するメッセージを流し、声や名前を確認してから電話に出ることができます。



- ・1回の着信につき、親機もしくは子機のどちらか一方で操作します。いったん操作を開始したあとは、他の子機や親機に操作を切り替えることはできません。
- ・メッセージが流れている間や相手の声がスピーカーから聞こえている間に、操作している親機/子機で電話を受けると、相手の方とお話できます。

親機で操作する

1 電話がかかってきたら

- ・聞いてから応答画面が表示されます。
- ・を押すと、着信画面に戻ります。電話に出るときは、受話器を取ってください。


2 ダイヤルボタンで対応を選ぶ

- 名前を確認して電話に出るとき：


を押して手順3へ


- ・相手の方に電話がつながり、自動的に応答メッセージ(「ただいまお名前確認モードになっています。恐れ入りますが、お名前をおっしゃってください」)が流れます。

- メッセージでお断りするとき：

- ・動作に関しては「通話を拒否する設定にしたときは」( 26ページ)をご覧ください。

- 通話内容を録音して電話に出るとき：

を押し、受話器を取る

- ・動作に関しては「通話内容を録音する設定にしたときは」( 26ページ)をご覧ください。


3 相手の方の名前を確認する


- ・スピーカーから、相手の声が聞こえます。

- 電話に出るとき：受話器を取る


- 電話に出ないとき：手順4へ


4 いずれかの対応を選び、ダイヤルボタンを押す

- もう一度、確認メッセージを流すとき：

- 着信を拒否するとき：



- 通話内容を録音して電話に出るとき：


を押し、受話器を取る

- ・電話に出たくないときは、着信画面に戻ってから  を押してください。そのまま電話が切れます。
- ・いずれのボタンも押さず、電話に出ないと約30秒後に電話が切れます。

子機で操作する

1 電話がかかってきたら



- ・聞いてから応答画面が表示されます。
- ・クイック通話( 60ページ)を設定しているときは、子機を充電器に置いたまま  を押して操作してください。

- ・を押すと、着信画面に戻ります。

- ・電話に出るときは、を押してください。



2 で対応を選ぶ

- 名前を確認して電話に出るとき：




で [名前を聞く] を選び  →手順3へ

- ・相手の方に電話がつながり、自動的に応答メッセージが流れます。

- メッセージでお断りするとき：


で [拒否する] を選び 

- 通話内容を録音して電話に出るとき：

で [通話録音する] を選び を押したあと、

3 相手の方の名前を確認する



- ・スピーカーから、相手の声が聞こえます。

- 電話に出るとき：



- 電話に出ないとき：手順4へ

4 いずれかの対応を選ぶ




- もう一度、確認メッセージを流すとき：


で [繰り返し] を選び 

- 着信を拒否するとき：

で [拒否する] を選び 

- 通話内容を録音して電話に出るとき：

で [通話録音する] を選び を押したあと、

- ・電話に出たくないときは、着信画面に戻ってから を押してください。そのまま電話が切れます。

- ・いずれのボタンも押さず、電話に出ないと約30秒後に電話が切れます。

◆ 通話を拒否する設定にしたときは

お断りメッセージ（「この電話はお受けすることはできません」）を3回流して自動的に電話が切れます。



- ・ ナンバー・ディスプレイを利用しているときは、お断りメッセージを流して電話が切れたあと、相手の番号を自動的にお断り番号（☎70 ページ）に登録されます。非通知・公衆電話・表示圏外からの電話のときは、電話を切ってから約2時間、その電話に対応したお断りが設定されます。


◆ 通話内容を録音する設定にしたときは

電話に出てからの通話内容が録音されます。

録音時の動作は以下の通りです。

録音を途中で止める

親機で通話中：  

子機で通話中： 

- ・ 親機で録音中、通話を保留すると、録音は中断されます（保留を解除すると録音が再開）。子機で録音中は、通話を保留できません。いったん録音を停止してから行ってください。
- ・ 親機で録音中、迷惑電話お断り機能（☎右記）を使用すると、録音は止まります。子機で録音中は、迷惑電話お断り機能（☎右記）は使用できません。いったん録音を停止してから行ってください。
- ・ 録音されている用件が多いとメモリー残量が少なくなり、録音やファクス受信ができなくなります。

◆ 間違えて操作したときは

聞いてから応答画面表示中／メッセージ再生中：

操作している親機／子機で電話を受ける操作をすると、相手の方とお話できます。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき：

登録されたお断り番号を消去してください（☎70 ページ）。

番号がわからないときは、お断り番号リストを印刷（☎50ページ）して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき：

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を [なし] に設定し直してください（☎70ページ）。

◆ お知らせ

- キャッチホンでかかってきた通話では使用できません。
- 留守番電話やファクスの自動受信を設定しているときに聞いてから応答画面を表示すると、設定した着信音回数を超えても自動で着信または受信されません。

迷惑電話お断り

迷惑電話を受けたとき、チャイム音を鳴らして電話を切りやすくしたり、お断りメッセージを流したり、通話を録音しているとアピールしたりすることができます。また、迷惑電話が何度もかかってくるときは、電話に出ないでお断りすることもできます。

チャイムでお断り

操作するとチャイム音を鳴らします。「来客ですので失礼します」などと伝えることで、電話を切りやすくします。

メッセージでお断り（音声お断り）

操作するとお断りメッセージ（「この電話はお受けすることはできません」）を3回流して自動的に電話が切れます。

録音でお断り

操作すると、直前の15秒間の通話内容を再生し、相手に聞かせることができます。再生が終了すると、自動的に電話が切れます。ただし、「聞いてから応答」（☎24ページ）での通話録音中に「録音でお断り」を行うと、通話内容が始めから再生されます。

警告してから録音

通話中、相手に警告メッセージ（「この通話を録音します」）を流してから、通話内容を録音します（☎58ページ）。

聞いてから応答

相手の方に名前確認メッセージを流して、声や名前を確認してから電話に出たり、電話に出ないで着信お断りのメッセージを流したりすることができます（☎24ページ）。

<お断り操作をしたとき>

ナンバー・ディスプレイ（☎66ページ）の契約をしていると、同じ相手先からの電話を受けないように、着信お断りが設定されます。

電話番号を通知している着信：

電話が切れたあと、自動的にその番号がお断り番号（☎70ページ）に登録されます。


※お断り番号がすでに30件登録されているときは、登録されません。

番号非通知の着信、公衆電話や表示圏外からの着信：

電話を切ってから約2時間、非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されます。常に設定したいときは70ページをご覧ください。




◆ お断りする

① 通話中に




親機：子機：

② 使用するお断りを選ぶ




・チャイムでお断り




親機：子機： で [チャイムでお断り] を選び 

・メッセージでお断り

親機：子機： で [メッセージお断り] を選び 


・録音でお断り

親機：子機： で [録音でお断り] を選び 


・「録音でお断り」では、録音内容が保存されません。録音内容を保存したいときは、「今から録音」( 57 ページ)、「戻って録音」( 57 ページ)、「警告してから録音」( 58 ページ) をお使いください。

◆ 間違えて操作したときは


チャイムでお断りをしたとき：


親機でチャイムが鳴ってから10秒以内に  を押してください。お断り設定が中止されます。子機では、設定を中止できません。

メッセージでお断り／録音でお断りをしたとき：


親機では、受話器を一度戻してから取り上げてください。子機では  を押してください。

相手先の番号がお断り番号に登録されたとき：

登録されたお断り番号を消去してください ( 70 ページ)。



番号がわからないときは、お断り番号リストを印刷 ( 50 ページ) して確認してください。

非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されたとき：

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を解除してください ( 70 ページ)。

◆ チャイム後自動設定を設定する

チャイムでお断りをしたあとに、お断り設定を自動で行うかを設定できます。はじめは自動で行う設定です。



①   ② 設定しない：設定する：③ 

◆ お知らせ

- 「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の場合、キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能は働きません。
- こちらから電話をかけたときは、メッセージでお断り／録音でお断りを使用することはできません。
- 録音でお断りを子機で再生しているときに通話をやめると、再生が中断されます。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。

内線で呼び出す

1 親機：受話器を取る
子機：子機を充電器から取る


2 親機： / 子機：

3 内線番号を押す

- 子機を呼び出すとき：[1] ~ [4]
- 親機を呼び出すとき：[0]
- すべての子機を呼び出すとき：[*] (親機のみ)
 - ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しが止まります。
 - ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示されている番号です。ただし、子機から他の子機を呼び出すとき、相手の子機が使用者名を登録 (☎ 60ページ) していると、その名前が表示されます。
 - ・子機間の内線通話は親機を通して行われるため、子機と子機が近くても、親機から離れていると通話できないことがあります。

4 通話が終わったら

親機：受話器を戻す



子機： もしくは子機を充電器に戻す



◆ 内線からの呼び出しを受ける

親機：

- ① 呼出音が鳴ったら、受話器を取る
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

子機：

- ① 呼出音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ② 
- ③ 通話が終わったら  もしくは充電器に戻す


・内線通話に出られないときは、呼出音が鳴っているときに  (親機) または  (子機) を押ししてください。呼出音が止まります。呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

◆ 内線通話中に外線から電話がかかってきたときは親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すとき：

- ① 受話器を戻す
- ② 再び受話器を取る



子機で話すとき：

- ① 
- ② 子機の着信音が鳴ったら 

外線をとるつぐ／3者通話する



外線通話中に親機や他の子機を呼び出し、外線をとるついだり、3人で通話したりできます。

1 外線通話中に

親機： / 子機：

2 内線番号を押す


- 子機を呼び出すとき：[1] ~ [4]
- 親機を呼び出すとき：[0]
- すべての子機を呼び出すとき：[*] (親機のみ)
 - ・外線通話に戻るとき

親機： (2回) / 子機： (2回)

呼び出された側は電話を受ける操作をする

3 ○ 外線をとるつぐとき：

親機：用件を伝えて受話器を戻す

子機：用件を伝えて 


・とりつぎ先が外線通話になります。

○ 3者通話するとき：

親機： / 子機：

4 通話が終わったら



親機：受話器を戻す

子機： もしくは子機を充電器に戻す




◆ 通話中に親機と子機を切り替える(ひとり転送)

かかってきた電話を、親機や他の子機の間で切り替えることができます。

親機から子機へ：

- ① 親機で通話中に 
- ② 受話器を戻す
- ③ 子機を充電器から取って 

子機から親機／他の子機へ：

- ① 子機で通話中に 
- ②  もしくは充電器に戻す
- ③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る、または他の子機を充電器から取って 

◆ お知らせ

- ひとり転送中そのまま放置すると、相手の方が電話を切っても通話状態が続くため、電話を受けることができなくなります。

電話帳に登録する（親機）

よく利用する電話番号を、親機には最大100件（1番号ずつ）登録できます。

- 1 の順に押し、登録画面を表示させることもできます。

- 2 **ダイヤルボタンで名前を入力して**
（最大全角10文字／半角20文字）
 - ・文字入力（☎ 30ページ）
 - ・名前を登録しないときは： →手順4へ
 - ・姓と名の間にはスペースを入力してください。名前を音声で確認するときに、姓と名それぞれのアクセントを変更することができます（☎ 33ページ）。

- 3 **名前の読みが正しければそのまま、間違っていたら修正して** **（最大半角20文字）**

- 4 **ダイヤルボタンで番号を入力して**
（最大32ケタ）
 - ・ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、必ず市外局番から登録してください。

- 5 **誰あてコール**（☎ 68ページ）**でお知らせする名前を** ~ **で選ぶ**
 - ・ご利用にはナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。誰あてコールを設定しないときは を押ししてください。

- 6 **続けて登録するとき：手順2へ**
登録を終わるとき：

◆ 電話帳を修正する（親機）

- 1
- 2 で修正したい相手先を選び
- 3 名前・読み・番号・誰あてコールで発声する名前を順に確認し、必要な項目を修正して
 - ・修正しない項目は、修正せずにそのまま を押ししてください。
- 4

◆ 電話帳を消去する（親機）

- 1
- 2 で消去したい相手先を選ぶ
- 3 （2回）
- 4

◆ 画面に表示される電話帳データの文字数を変える（親機）

親機の電話帳のデータは、名前は5文字まで、番号は12ケタまで表示される設定になっています。名前と番号をすべて表示させたいときは、以下の操作を行って、表示文字サイズを小さくしてください。

1件のみ表示文字サイズを変える：

- 1
- 2 で名前と番号をすべて表示させたい相手先を選び、
 - ・もう一度 を押し、元の文字サイズに戻ります。

すべての電話帳データの表示文字サイズを変える：

「表示文字サイズを切り替える」（☎ 60ページ）
※ 再ダイヤルや着信記録などの表示文字サイズも切り替わります。

電話帳に登録する（子機）

子機には、1台につき最大100件（1番号ずつ）の電話帳に登録できます。

親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。

- 1
- 2 で **【電話帳】** を選び
- 3 で **【電話帳登録】** を選び
- 4 **ダイヤルボタンで名前を入力して**
（最大全角10文字／半角20文字）
 - ・文字入力（☎ 30ページ）
 - ・名前を登録しないときは： →手順6へ
- 5 名前の読みが正しければそのまま、間違っていたら修正して **（最大半角12文字）**
- 6 **番号を入力して** **（最大24ケタ）**
 - ・ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、必ず市外局番から登録してください。

◆ 電話帳を修正する（子機）

- ① 電話帳
- ② で修正したい相手先を選び メニュー/決定
- ③ で [変更] を選び メニュー/決定
- ④ 名前・読み・番号を順に確認し、必要な項目を修正して メニュー/決定
 - ・修正しない項目は、修正せずにそのまま メニュー/決定 を押してください。

◆ 再ダイヤル／着信記録から登録する（子機）

- ① 再ダイヤル：
- 着信記録：
- ② で登録したい番号を選び メニュー/決定
- ③ で [電話帳へ登録] を選び メニュー/決定
- ④ 名前・読み・番号を順に設定して メニュー/決定

◆ 電話帳を消去する（子機）

1件ずつ：

- ① 電話帳
- ② で消去したい番号を選び メニュー/決定
- ③ で [消去] を選び メニュー/決定 (2回)

すべて：

- ① メニュー/決定
- ② で [全消去] を選び メニュー/決定
- ③ で [電話帳] を選び メニュー/決定 (2回)

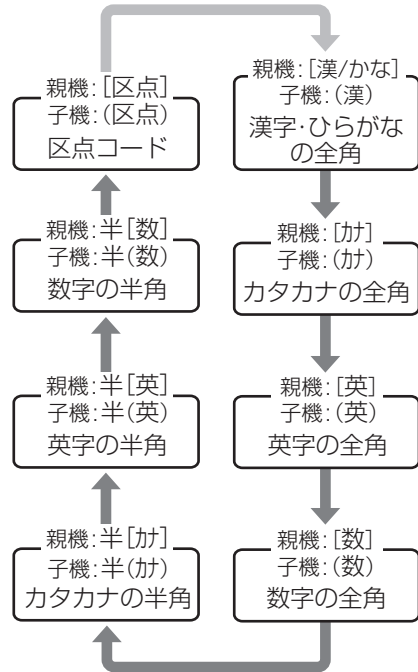
◆ お知らせ

- 親機の電話帳には、あらかじめ [>時報 117]、[>天気予報 177] の2件が登録されています。100件登録したいときは、この2件を消去してください。
- 名前を入力しないで電話帳に登録すると、番号が名前として登録されます。

文字入力

1 入力する文字の種類（入力モード）を選ぶ

親機： / 子機： 文字切替
 (押すごとに切り替え)



2 ダイヤルボタンで文字を入力する

(入力例) ゆ (2回) う (3回) じ (2回) (1回) ん (3回)

3 漢字に変換するときには文字を入力したあとに

(親機) / (子機) で変換する



○ 漢字、ひらがなを入力しているときは


(親機) / (子機) で入力を確定する

4 入力が終わったら


親機： / 子機： メニュー/決定



◆ カーソルを移動する

親機：  を押すと左へ、 を押すと右へカーソルが移動します。



子機：  を押すと、カーソルが左右へ移動します。

◆ 文字を消去する

親機：  を押します（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。




子機：  を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、 を押し続けると、すべての文字が消去されます。

◆ 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する（「いえ」など）

文字を入力したあと、（親機）／（子機）を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

◆ 文字と文字の間を空ける（姓と名の間を空けるときなど）

文字の入力を確定したあと、

 または （親機）／（子機）を押し、スペースを空けてから次の文字を入力します。

◆ 漢字変換するときは

姓と名は別々に変換してください。それでも正しく変換されないときは、漢字1文字ずつ変換してください。

◆ 文字入力ボタン対応表シールについて

文字を入力するときのボタン操作を分かりやすくするために、文字入力ボタン対応表シールが付属しています。親機上部などの見やすい場所に貼り付けてお使いください（☎ 16ページ）。

文字入力ボタン対応表シールを別の場所でも使用したいときなどは、107ページの「文字入力ボタン対応表」をコピーしてお使いください。

◆文字入力一覧表

ダイヤルボタンで文字を入力します。入力できる文字は、以下の通りです。

文字の入力方法は、 (親機) / (子機) を押しごとに切り替わります。

○ひらがなと漢字

親機：[漢/かな] / 子機：(漢)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	＊
あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	濁点／半濁点※
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	
え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	-	
お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	[空白]	
ぁ			っ				ょ		。	
い									、	
う										
え										
お										

○英字

親機：[英]・半[英] / 子機：(英)・半(英)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	＊
@	A	D	G	J	M	P	T	W	,	無効
.	B	E	H	K	N	Q	U	X	:	
/	C	F	I	L	O	R	V	Y	!	
-	a	d	g	j	m	S	t	Z	?	
_	b	e	h	k	n	p	u	w	&	
	c	f	i	l	o	q	v	x	/	
						r	y	(
						s	z)		
								[
]		

○カタカナ

親機：[カナ]・半[カナ] / 子機：(カナ)・半(カナ)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	＊
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	濁点／半濁点※
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ	
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン	
エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	-	
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ユ	ロ	[空白]	
ァ			ッ				ョ		。	
イ									、	
ウ										
エ										
オ										

○数字

親機：[数]・半[数] / 子機：(数)・半(数)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	＊	#
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

・子機で を押したとき、全角入力時は「*」、半角入力時は「#」が表示されます。

○区点コード

親機：[区点] / 子機：(区点)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
区点コードの入力									

・区点コードについては96ページをご覧ください。

・「。」「、」は、全角カナの入力時のみ表示されます。

※濁点・半濁点を付けたい文字を入力したあとに押してください。「は」行の文字では、押しごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります(半角カナでは、濁点・半濁点も1文字として入力されます)。

おしゃべり電話帳

親機の電話帳の相手先を読み上げる機能です。はじめは、読み上げる設定になっています。

1

2 ○読み上げるとき：

○読み上げないとき：

3 停止

◆「さん」の有無を設定する

はじめは、名前の最後に「さん」を付けて読み上げる設定になっています。相手先ごとに設定できます。

①

② で相手先を選び (2回)

・押すごとに切り替えます。

③ 停止

◆アクセントの位置を変更する

①

② で相手先を選び

・名前が読み上げられます。

③ 「姓」：

「名」：

(「姓」と「名」の区切りは、読みの空白で判断)

④ ~ 、 で調整
(読み上げから3分以内)

・ ~ ：それぞれ左から1~8番目の文字にアクセントを付ける。

：アクセントを自動設定する。

：平坦なアクセントに設定する。

⑤ 設定が終わったら

・あらかじめ登録されている [>> 時報 117] と [>> 天気予報 177] には、「さん」を付けることはできません。

・記号は次のように発声します。

※ (スター)、# (シャープ)、. (テン)、@ (アット)、& (アンド)

・次の記号は発声しません。

- _ 空白 , : / ! ? () []

◆お知らせ

●「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声できないことがあります。

●受話器を上げているときやオンフックダイヤルボタンを押したあとは働きません。

電話帳で電話をかける

1 親機：

子機：子機を充電器から取り、

2 (親機) / (子機) で相手先を選ぶ

・ダイヤルボタンで相手先を検索できる(「お父さん」を探すときは「あ行」に対応した【1】を押すというような、行単位でのおおまかな検索)。

【1】：あ行 【2】：か行 【3】：さ行

【4】：た行 【5】：な行 【6】：は行

【7】：ま行 【8】：や行 【9】：ら行

【0】：わ行

目的の相手先が選ばなかったときは、さらに

(親機) / (子機) で選んでください。

・親機では、相手先を選択中に を押すと、相手先の名前と番号などの詳細情報が表示されます(☎29ページ)。

3 親機：受話器を取る / 子機：

4 通話が終わったら

親機：受話器を戻す

子機： もしくは子機を充電器に戻す

電話帳を転送する

転送しても元の電話帳は消えません。

◆ 33ケタ以上（親機）／25ケタ以上（子機）の番号にかける

33ケタ以上（親機）／25ケタ以上（子機）の電話番号は、番号を分けて電話帳に登録し、以下の操作でかけてください（チェーンダイヤル機能）。

- ① 親機：受話器を取る
子機：子機を充電器から取る
- ② 親機： 電話帳
子機： 電話帳
- ③ （親機）／（子機）で最初の番号を選び
（親機）／（子機）
- ④ 電話が発信される前に、もう一度
（親機）／（子機）
- ⑤ （親機）／（子機）で次の番号を選び
（親機）／（子機）
- ⑥ 通話が終わったら
親機：受話器を戻す
子機： もしくは子機を充電器に戻す

◆ 184（非通知）や186（通知）を付けて電話をかける（子機）

- ① 子機を充電器から取る
- ② 電話帳
- ③ で相手先を選び
- ④ で [特番ダイヤル] を選び
- ⑤ **1あ** **8や** **4た**（非通知）や
1あ **8や** **6は**（通知）などの番号を押す
（最大8ケタ）
- ⑥
- ⑦ 通話が終わったら もしくは充電器に戻す

◆ お知らせ

- チェーンダイヤル機能で33ケタ以上の番号をダイヤルした場合、再ダイヤルしても同じ番号をダイヤルすることはできません。
- 親機でコピー中、印刷中、録音データ保存中のときは、子機で電話をかけることはできません。

◆ 親機から子機

- ① **3** **2**
- ② すべて：**1**を押して手順④へ
1件ずつ：**2**を押して手順③へ
- ③ で転送したい相手先を選び
・25ケタ以上の番号で登録している相手先は、転送できません。
- ④ 転送したい子機の内線番号（**1**～**4**）を押す
・25ケタ以上の番号で登録している相手先があるときは、「転送できないデータがあります 操作を続けますか?」と表示されます。 を押すと、それ以外の相手先を転送します。

◆ 子機から親機／他の子機

- 1件ずつ：
- ① 電話帳
 - ② で相手先を選び
 - ③ で [転送] を選び
 - ④ で転送先を選び
- すべて：
- ①
 - ② で [電話帳] を選び
 - ③ で [電話帳全転送] を選び
 - ④ で転送先を選び

◆ お知らせ

- 転送中は、子機に衝撃を与えないでください。
- 名前の先頭が“>”ではじまっている電話番号（天気予報、時報）は転送できません。
- 転送中に電話がかかってくると中断されます。
- 名前と電話番号が同じデータがすでに登録されている場合は、転送されません。
- 親機から子機へ、半角13文字以上の読みで登録している相手先を転送すると、読みは12文字までしか転送できません。

ワンタッチダイヤル (子機)

子機のワンタッチダイヤル (2件) に登録しておく、かんたんな操作で電話ができます。

電話帳とは別に登録します。


親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。

ワンタッチダイヤルに登録する

1 ① ② から選んで押す

- ・ [ワンタッチ 登録ありません] と表示されて数秒後、登録画面が表示されます。
- ・ すでに登録されている場合は、相手の方に電話がかかります。
- ・ 「登録を確認/修正する」(☞下記) の手順①~⑤ (修正) の操作を行っても、同様の画面が表示されます。















2 ダイヤルボタンで名前を入力して (最大全角10文字/半角20文字)

- ・ 文字入力 (☞30ページ)
- ・ 名前を登録しないときは:  → 手順4 へ

3 名前の「読み」が正しければそのまま、間違っていたら修正して (最大半角12文字)










4 番号を入力して (最大24ケタ)

◆ 登録を確認/修正する






- ① 
- ②  で [電話帳] を選び 
- ③  で [ワンタッチ登録] を選び 
- ④  で [ワンタッチ1] ~ [ワンタッチ2] から選び 
- ⑤ 確認するとき:  で [登録確認] を選び 
確認が終わったら 
- 修正するとき:  で [変更] を選び 
→ 手順⑥ へ
- ⑥ 名前・読み・番号を順に確認し、必要な項目を修正して 
 - ・ 修正しない項目は、修正せずにそのまま  を押してください。

◆ 消去する

1件ずつ:

- ① 
- ②  で [電話帳] を選び 
- ③  で [ワンタッチ登録] を選び 
- ④  で [ワンタッチ1] ~ [ワンタッチ2] から選び 
- ⑤  で [消去] を選び  (2回)

すべて:

- ① 
- ②  で [全消去] を選び 
- ③  で [ワンタッチ] を選び  (2回)

ワンタッチダイヤルで電話をかける

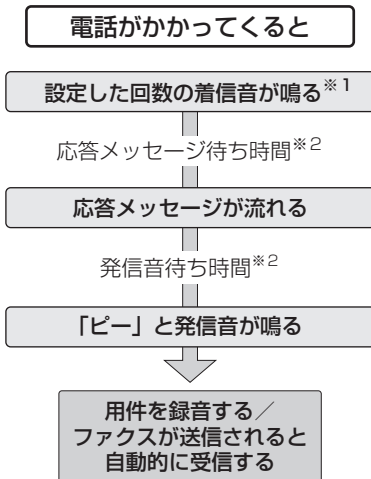
1 子機を充電器から取る

2 ① ② から選んで押す

3 通話が終わったら もしくは充電器に戻す

留守番電話を使う

すべての録音を合わせて、最大約15分間または30件まで録音できます。用件1件あたりの録音時間は最大約30秒です（1件あたりの録音時間は変更できます。「留守録音時間」▶▶93ページ）。



※1 着信音の回数は変更できます（「留守応答回数」▶▶38ページ）。

※2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です。変更することもできます（▶▶93ページ）。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります。

留守設定する（親機）

1 録音留守

- ・固定応答メッセージが流れ、録音留守が点灯します。
- ・録音できる残り時間が約5分以下になると音声でお知らせします。残り時間がないときは設定できません。不要な録音を消去（▶▶37ページ）するか、受信ファクスを消去／印刷（▶▶48、50ページ）して、メモリーの空き容量を増やしてください。

留守解除する（親機）

1 留守設定時に録音留守

- ・録音留守が消灯します。新しい録音があるとき（録音留守の点滅時）は、自動的に再生されます。
- ・再生中にできる操作（▶▶37ページ）
- ・再生が終わると、録音の消去などができます。

録音留守が点滅しているときは

- ・留守設定中：
新しい録音があります（今から録音、戻って録音、警告してから録音、メモ録音も含む）。また、子機には[新着あり]と表示されます。
- ・留守解除後：
間隔の短い点滅をしているときは、未再生の録音があります。約3秒以上再生すると再生済みになり、すべて再生済みになると消灯します。
- ・未再生録音を聞くとときや、録音を聞き直すとき：
「録音を再生／消去する」（▶▶37ページ）

親機のディスプレイに[受信ファクスがあります [ファクス]を押し]と表示されているときは

確認していない受信ファクスがあります。すべての受信データを確認（▶▶47ページ）、印刷または消去（▶▶48、50ページ）すると表示が消えます。

留守設定する／解除する（子機）

- ① [メニュー/決定]
- ② で [留守番電話] を選び [メニュー/決定]
- ③ で [留守設定切替] を選び [メニュー/決定]
- ④ で [解除] または [設定] を選び [メニュー/決定]

・子機では、留守設定を解除しても用件は自動再生されません。

お知らせ

- 自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。
- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります（ファクス受信可能な場合のみ）。
- 応答メッセージが流れている間、相手の方の音が親機のスピーカーから聞こえます（「お声拝聴」▶▶93ページ）。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

録音を再生／消去する

各種の録音（留守録音、今から録音、戻って録音、警告してから録音、メモ録音）を再生／消去できます。

親機

1 再生

- 再生が開始されます。
- 留守設定しているとき：留守設定以降の録音
- 留守設定していないとき：未再生の録音
- 未再生の録音がない場合は、1件目から再生されます。
- 約3秒以上再生した録音は再生済みになります。

○再生中の録音を消去する： (2回)

2 再生が終わったら、操作を選ぶ

- 聞き直すとき：
- 再生した録音を消去するとき：
- 終了するとき：

◆ 録音をすべて消去する（親機）

-
- と順に押しして消去することもできます。

◆ 親機のメモリーの残量を確認する （ファクス／録音メモリー残量表示）

-
- 確認したら

子機

親機のメモリーに保存されている録音を再生できます。

1

2 で [留守番電話] を選び

3 で [用件再生] を選び

- 再生が開始されます。
- 留守設定している：留守設定以降の録音
- 留守設定していない：未再生の録音
- 未再生の録音がない場合は、1件目から再生されます。
- 約3秒以上再生した録音は再生済みになります。
- 再生中の録音を1件消去する：

◆ 録音をすべて消去する（子機）

-
- で [留守番電話] を選び
- で [録音全消去] を選び (2回)

◆ 通話中に再生

- 通話中に
親機：
- 子機： を押し、 で [録音再生] を選び
- 再生をやめるとき： (親機) / (子機)

◆ 録音再生中の通話について

- 親機：再生中でも通話できます。
- 子機：再生中は通話できません。
- 戻って録音（ 57ページ）再生中：
親機・子機とも通話できません。

再生中にできる操作

再生を途中でやめる	親機： / 子機： (通話中に再生したときは)
再生中の録音を聞き直す	親機： / 子機： ・再生が約3秒以内のときに操作すると、1つ前の録音に戻ります。
次の録音にとばす	親機： / 子機：
1つ前の録音に戻す	3秒以上再生して 親機： (2回) 子機： (2回) ・聞きたい録音まで戻すときは、ボタンをくり返し押します(1回押すごとに1つ戻ります)。
早聞きや遅聞きをする	親機： / 子機： ・ボタンを押すごとに、以下のように再生速度が変わります。 親機：早聞き→遅聞き→通常の再生→早聞き… 子機：早聞き→通常の再生→早聞き…

◆ お知らせ

- 録音されている用件が多いと、メモリー残量が少なくなり、録音やファクス受信ができなくなることがあります。不要な録音や受信ファクスは消去してください。

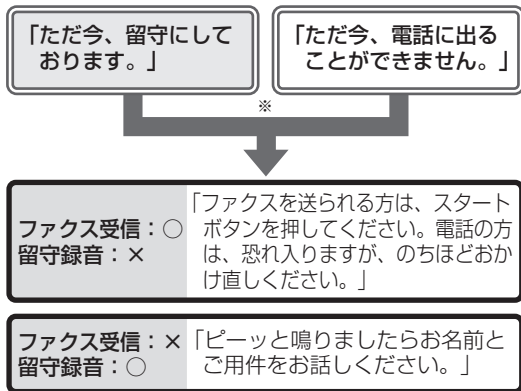
留守番電話の設定をする

応答メッセージ

3種類から選びます。

固定メッセージ 1
「ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください」
固定メッセージ 2
「ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください」
自作メッセージ
自分で録音したメッセージが流れます (☞右記)。

ただし、録音やファクス受信ができなくなったときは、以下の固定メッセージが流れます。



ファクス受信も録音もできないとき

着信音が鳴り(25回)、「ただ今、留守にしております」または「ただ今、電話に出ることができません」※に続けて「恐れ入りますがのちほどおかけ直してください」(3回)ただし、リモート操作の暗証番号(☞39ページ)が登録されていないと応答しません。

※固定メッセージ1または2のどちらかに設定していたかで変わります。自作メッセージに設定していたときは、その前に設定していた固定メッセージに応じて変わります。

◆ 応答メッセージを選ぶ

① ④ ③

② 応答メッセージを選ぶ

「固定メッセージ1」: ①

「固定メッセージ2」: ②

「自作メッセージ」: ③

・自作メッセージを録音していないときは、③のあとに②を押すと録音の操作になります(☞右記)。

③ ①

・応答メッセージの内容を確認したいとき：
メッセージを選んでから②
(再生後に待受画面に戻ります)

◆ 自作メッセージの録音

① ④ ③ ③ ②

② 10秒以内に受話器を取る

③ 10秒以内に を押し、受話器でメッセージを録音する

・メッセージは20秒以下にしてください。
長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

④ 録音が終わったら

・録音したメッセージが再生されます。

⑤ 再生が終わったら受話器を戻す

・自作メッセージを録音すると、自動的に留守応答メッセージとして設定されます。

◆ 自作メッセージの消去

自作メッセージを変更したいときは、いったん消去してからあらためて録音してください。

① ④ ③ ③ ③ ②

・応答メッセージに自作メッセージを設定していたときは、応答メッセージが自作メッセージの前に設定されていた固定メッセージに変わります。

◆ 留守応答回数

留守設定で応答メッセージが流れるまでの応答回数(呼出音の回数)を変更できます。はじめは4回に設定されています。

7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、6回以下に設定してください。

① ④ ② ②

・「トールセーバー」(☞39ページ)に設定しているときは、「応答回数を変更するとトールセーバーは解除されます よろしいですか?」と表示されます。そのまま続けるときは を押してください。

② 応答回数(1~25回)を で選び

・ダイヤルボタンで回数を入力することもできます。
・着信音の種類によっては、設定した回数で鳴らないことがあります。

③

リモート操作

外出先から電話をかけて、録音を聞くことができます。リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録と留守設定（☎36ページ）をしておく必要があります。

- 留守設定しないときは、次のいずれかの設定をしてください。
- ・「在宅時応答回数」を設定する（☎46ページ）
（「無制限呼出」ではリモート操作できません）
 - ・「ファクス自動受信」を設定する（☎45ページ）
 - ・「ファクス優先」を設定する（☎46ページ）
（「ファクス専用」ではリモート操作できません）

暗証番号を登録する

1 4 4 1 1

2 ダイヤルボタンで4ケタの暗証番号を入力

3

4 停止

◆ 登録した暗証番号を消去する

① 4 4 1 2 2

② 停止

◆ 暗証番号について

登録した暗証番号は、忘れないように107ページのリモート操作手順カードに記入してください。外出するときは、カードを切り取ってお持ちください。

暗証番号を忘れてしまったときは、確認はできませんので、新しい暗証番号を登録（上書き）してください。暗証番号を上書きしても、録音内容は消えません。

◆ 録音を再生すると

留守設定しているときは留守設定以降の録音を、留守設定していないときは未再生の録音を再生します。どちらの録音もないときは、1件目から再生します。

◆ 外出先からリモート操作する

- ① 自宅に電話をかける
- ② 応答メッセージが聞こえている間に [#] を押す
- ③ 暗証番号を入力する
- ④ [#] を押す
- ⑤ 音声メッセージのあと、下記のリモート操作番号を入力する
- ⑥ リモート操作が終わったら電話を切る

録音内容を聞く	[1] [#]
早聞きや遅聞きをする	再生中に [1] [#] (押すたびに「速い」→「遅い」→「普通」→「速い」…)
録音内容を聞き直す	再生中に [3] [#]
1件前の録音を聞く	再生中に [3] [#] [3] [#]
次の録音内容を聞く	再生中に [4] [#]
再生の停止	再生中に [5] [#]
再生済みの録音を消す	停止中に [0] [1] [#]
録音内容をすべて消す	停止中に [0] [2] [#] 未再生の録音も消えます。 応答メッセージは消えません。
留守を設定/解除する	停止中に [6] [#]

◆ トールセーバーを設定する

外出先からリモート操作をしたときに、未再生録音の有無によって応答回数を変える機能です。未再生録音があるときは呼出音2回、未再生録音がないときは呼出音5回で応答メッセージが流れます。3回目の呼出音が聞こえたときは未再生録音がありませんので、そのまま電話を切れば通話料金はかかりません。

① 4 4 2 2

② 画面の説明文を確認して

③ 停止

・ トールセーバーを解除するとき：

4 4 2 1

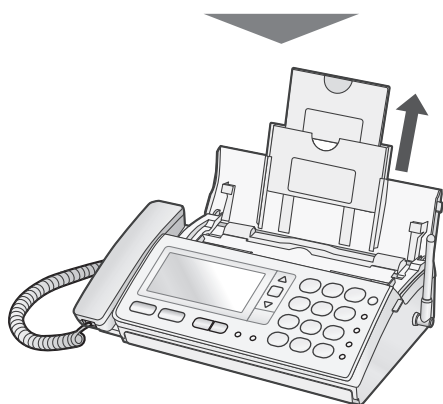
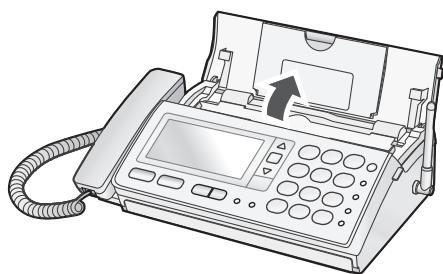
◆ お知らせ

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- リモート操作中に1分以上操作をしないと電話が切れます。
- メッセージの再生中にリモート操作を行うと、音声と操作音が重なって正しく動作しないことがあります。そのときは、もう一度やり直してください。

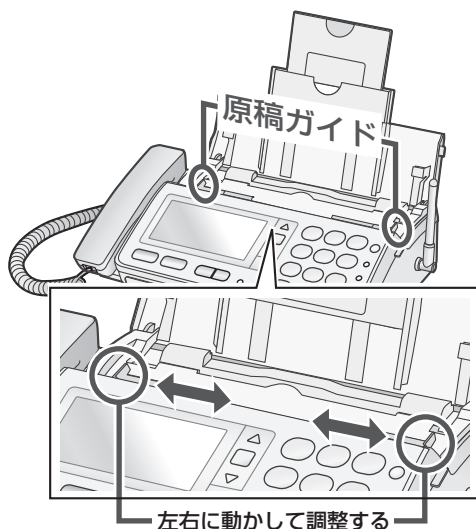
ファクスを送る

親機でお話してからファクスを送る

1 記録紙トレイを開け、延長トレイを引き出す



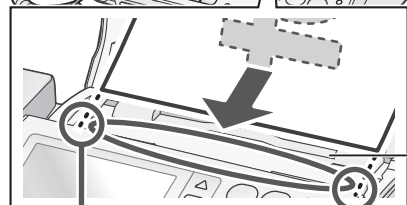
2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



3 原稿をセットする

原稿はこの向きで入ると、相手の方に正しい向きで送信できます。

原稿は**ウラ**向きに！
コピーや送信する面を下にしてセットする
(一度に5枚まで)






ガイドの間に原稿を入れる

原稿挿入口

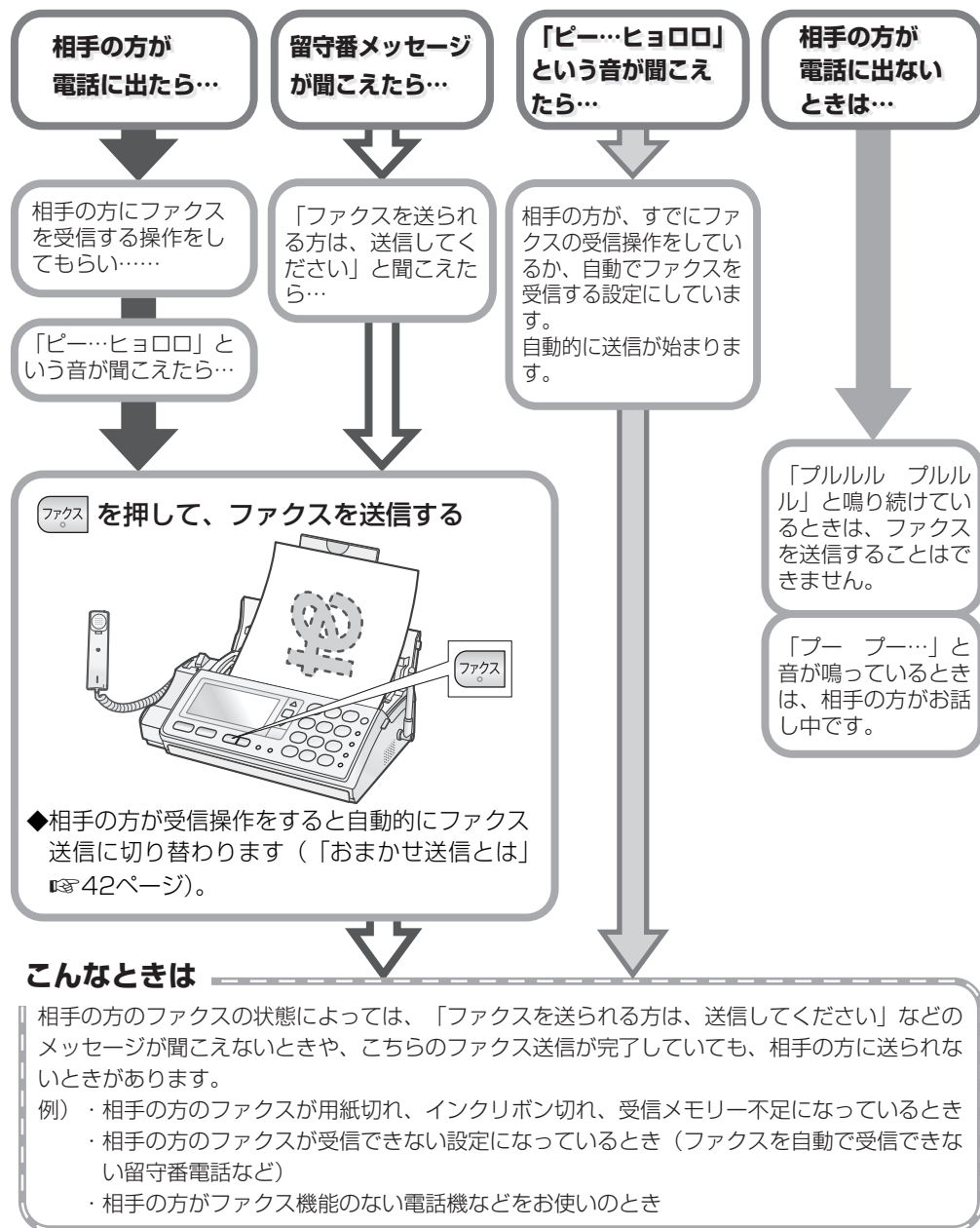
- 一度にセットできる原稿は5枚までです。
※6枚以上の原稿があるときは、セット枚数が5枚を超えないように、1枚ずつ追加してください。
また、新しい原稿は一番上に追加してください。
- 原稿の条件や読み取れる範囲 (☎ 43ページ)
- 原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。
- 原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます (☎ 43ページ)。画質を [精細] や [写真] にすると、通信時間が長くなります。

4 受話器を取ってダイヤルする

- 先にダイヤルしてから、受話器を取って電話をかけることもできます。
- 再ダイヤル/電話帳/着信記録からファクスを送るとき：
再ダイヤル：再ダイヤル/着信記録 を押し、 で番号を選んでから受話器を取る
- 電話帳：電話帳 を押し、 で相手の方を選んでから受話器を取る
- 着信記録：※ナンバー・ディスプレイ (☎ 66 ページ) の契約が必要です。
再ダイヤル/着信記録 を2回押し、 で番号を選んでから受話器を取る

次ページへ

5



ファクス

6 受話器を戻す

- ・送信が開始されます。
- ・「通信エラーがありました」と聞こえたら（ 85ページ）

・途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す / 送信中は を押す（原稿がつまった状態になります）

◆ ファクスを送る（子機）

- ① 親機に原稿をセットする
(☎ 40ページ 手順1～3)
- ② 子機で電話をかける
 - ・ダイヤルボタンでかけるとき：電話番号を押す
 - ・再ダイヤルからかけるとき：
 を押して で番号を選ぶ
 - ・電話帳からかけるとき：
 を押して で相手先を選ぶ
 - ・着信記録からかけるとき：
※ナンバー・ディスプレイ (☎ 66 ページ) の契約が必要です。
 を押して で番号を選ぶ
 - ・ワンタッチダイヤルからかけるとき：
 から選んで押す→手順④へ
- ③
- ④ 相手の方が電話に出たら、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ⑤ 「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押す
- ⑥ で [FAX送信] を選び を押す
- ⑦ 子機を充電器に戻す
 - ・上記の手順④で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピー…ヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて手順⑤～⑦の操作をしてください。
 - ・送信を中止するとき：親機の を押す

◆ 原稿を取り出す

- ① 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く
- ②
 - ・原稿が排出されます。
 - ・排出されないときは、「原稿が詰まった」(☎ 82 ページ) をご覧ください。

◆ おまかせ送信とは

親機、子機ともに動作します。

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

※お使いの環境などによっては、おまかせ送信が働かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは を押して、子機をお使いのときは「ファクスを送る（子機）」(☎ 上記) の操作を行って送信してください。

親機でお話ししないでファクスを送る

以下のようなときは、ファクスを送信できません。相手の方とお話ししてからファクスを送信してください (☎ 40 ページ)。

- 相手の方が自動でファクス受信になる設定をしていないとき
- 相手の方がファクス受信の操作をしていないとき
- 相手の方が電話に出ないとき など

1 原稿をセットする

(☎ 40ページ 手順1～3)

2 オンフック

3 「ツー」という音が聞こえたら、電話番号を入力

4 電話がつながったら

・送信が開始されます。

・途中でやめるとき：

送信前：

送信中： (原稿が詰まった状態になります)

・再ダイヤル／電話帳／着信記録からファクスを送るときは、原稿をセットしたあと、以下のように操作してください。

① 再ダイヤル： を押し、 で番号を選ぶ

電話帳： を押し、 で相手の方を選ぶ

着信記録：※ナンバー・ディスプレイ (☎ 66 ページ) の契約が必要です。

を2回押し、 で番号を選ぶ

② または を押して送信する

◆ 原稿を取り出すときは (☎ 左記)

◆ お知らせ

- 本機には、自動的に再ダイヤルしてファクスを送り直す機能はありません。
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなどに、[応答なし] と表示されてファクスが送れないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎ 40ページ) の方法で送信してください。

コピー／ファクス送信の 画質・濃度を選ぶ

1 原稿をセットした状態で

①【普通字】 ⑤【普通字：濃く】
文字が大ききはっきり見えるときに選びます。

②【小さな字】 ⑥【小さな字：濃く】
【普通字】の2倍の密度で読み取ります。
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。

③【精細】 ⑦【精細：濃く】
【普通字】の4倍の密度で読み取ります。
受信側に【精細】がないときは、自動的に
【小さな字】に切り替わります。

④【写真】 ⑧【写真：濃く】
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真
のときに選びます。

- ・ 押すごとに①～⑧の順で設定を切り替えます。
- ・ 原稿の文字などが薄いときは、各画質の【：濃く】を選んでください。
- ・ 画質を選ばなかったとき
ファクス送信：【普通字】
コピー：【小さな字】

2 ファクスやコピーの操作を行う

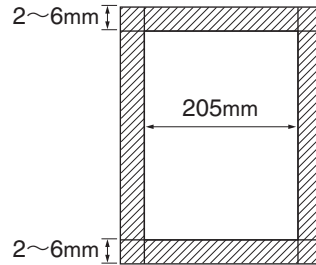
- ・ 受話器を取ったり、 を押した状態から、画質の変更はできません。

使用できる原稿

◆ セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ～ 210mm
長さ 128mm ～ 500mm
厚さ 0.06mm ～ 0.18mm
(厚さのめやす 新聞紙：約0.05～0.06mm
上質紙：約0.10mm)

◆ 原稿を読み取れる範囲



原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

最大読み取り幅：205mm

最大読み取り長：送信原稿長（128～500mm）から
上下とも2～6mmを引いた長さ

◆ 一度に2枚以上セットできない原稿

- ・ 長さ297mmを超える原稿
- ・ 厚さ0.12mmを超える原稿
- ・ 厚さや大きさの異なる原稿

◆ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってから
セットしてください。そのままセットすると、故障
の原因になります。

- ・ サイズが小さすぎるもの（写真など）
- ・ フィルム状のもの、透明のもの
- ・ 紙の厚さが薄すぎるもの
- ・ しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- ・ 裏カーボン紙、感熱紙など
- ・ コーティングされているもの
- ・ セロハンテープや糊で貼り合わせたもの
- ・ クリップやステープラーの針が付いたもの

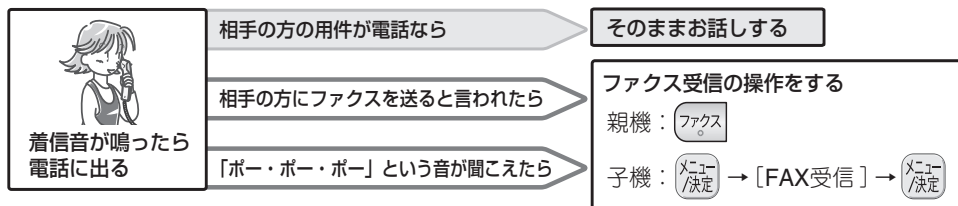
◆ お知らせ

- 糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙は、なるべくご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。
- 小さい原稿を送信するためのキャリアシートはご使用になれません。

ファクスを受ける

電話に出てからファクスを受ける

電話に出て相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えて受信します。はじめは無制限呼出の設定（電話に出るまで着信音が鳴り続ける）になっているため、電話に出られないときはファクスを受信できません。外出時などには留守設定をおすすめします。



◆ 親機

原稿セット時に を押すと送信されます。ファクスを受けるときは原稿を取り出しておいってください。

1 着信音が鳴ったら受話器を取る

2 受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるか、相手側がファクス送信の操作をしたあと

- ・「おまかせ受信」(94 ページ) が設定されていると、「ポー・ポー…」という音が聞こえたあと、自動的にファクスを受信できます。
- ・おまかせ受信が働かないとき：
「ポー・ポー・ポー…」という音のあとで
こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信は働きません。

3 受信が始まるので、受話器を戻す

- ・受信が終わると、自動的に電話が切れます。

◆ 子機

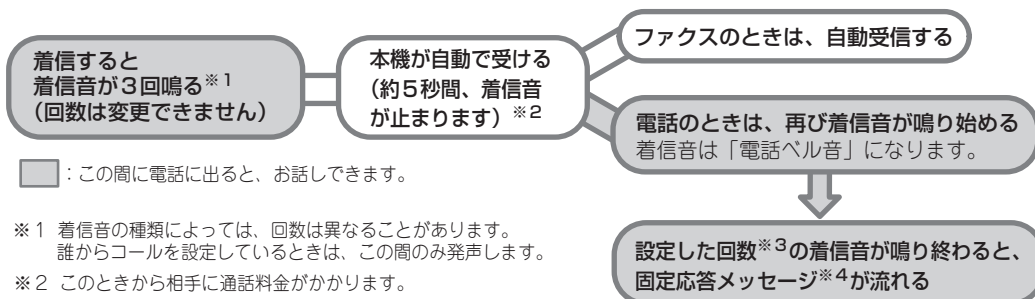
- ① 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ②
- ③ 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら…
相手側でファクス送信の操作をしています。
 を押し、 で [FAX受信] を選び
相手側からファクスが送信されたら…
相手側がファクス送信の操作をしたあと、
 を押し、 で [FAX受信] を選び
- ④ 子機を充電器に戻す

自動でファクスを受ける

自動でファクスを受ける方法は以下の5通りです。
設定すると自動でファクスを受けることができます。

◆ 自動受信に設定する

着信音が鳴ったあと、本機が自動的に着信を受け、電話かファクスかを判別します。
はじめは、ファクスを自動で受信しない設定（着信音が鳴り続ける設定）になっています。



- ※1 着信音の種類によっては、回数は異なることがあります。
誰からコールを設定しているときは、この間のみ発声します。
- ※2 このときから相手に通話料金がかかります。
- ※3 例えば「10回」に設定しているときは、はじめに3回鳴っているので、再び鳴り始めるときは、4回目～10回目の着信音が鳴ります。
呼出回数は、下記「設定する」の手順⑤で設定します。
- ※4 メッセージの内容は、在宅時応答回数を設定しているときと同じです。
⇒46ページ

設定する：

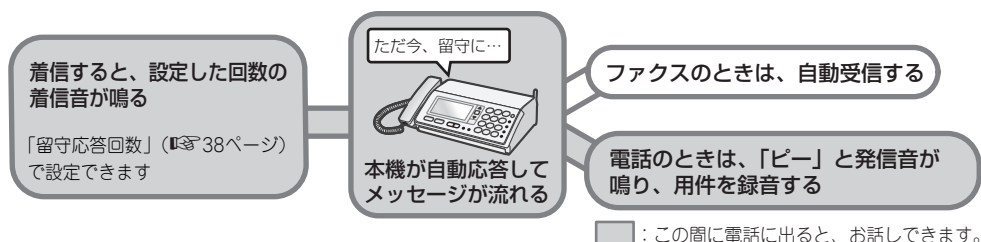
- ① **6**
- ② 画面の表示を確認して **2**
- ③ 呼出回数を で選び **(6～25回)**
 - ・ここで設定する呼出回数は、応答メッセージが流れるまでに鳴る着信音の回数です。
- ④ **停止**
 - ・ディスプレイに [ファクス自動] と表示されます (留守設定中は表示されません)。

解除する：

- ① **6**
- ② 画面の表示を確認して **1**
- ③ **停止**

◆ 留守設定にする (☎36ページ)

留守設定にすると、自動応答したあとファクスの受信や用件の録音をします。



インクリボンや受信メモリーがなくなって自動で受信できないときは

着信音が鳴り続けます。電話が切れたあと、受信できるように対処してください。

- インクリボンを交換する (☎88ページ)
- 録音を消去する (☎37ページ)
- 受信ファクスを印刷/消去する (☎48、50ページ)





◆ お知らせ

- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをお使いのときや、スタートボタンを押さなかったときは自動受信できません。
- 留守番電話を設定中は動作しません。

◆ 在宅時応答回数を設定する

留守設定にしていなくても、設定した回数の着信音が鳴り終わったあと、相手先に「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますがのちほどおかけ直してください」というメッセージを自動で流して、ファクスを自動で受信します。着信音が鳴っている間に電話に出ると、お話しできます。

設定する：

- ①  のあと **#** (4回)
- ② **2** **3** **1**
- ③ 応答回数を1~25回から  で選び 
- ④ 停止 





- ・ダイヤルボタンで回数を入力することもできます。
- ・7回以上に設定すると、自動的に受信できないことがあります。
- ・着信したときから相手の方に通話料金がかかります。

解除する：☎ 93ページ

◆ ファクス優先にする

自動受信と同じ方法で、本機が自動的に着信を受けて、電話がファクスかを判別します。ただし、最初の着信音は鳴りません※ので、ファクスなら着信音を鳴らさずに受信できます。

設定する：

- ①  のあと **#** (4回)
- ② **2** **2** **1**
- ③ 電話のときの応答回数を4~25回から  で選び 
- ④ 停止 

- ・ダイヤルボタンで回数を入力することもできます。
- ・留守番電話を設定中は動作しません。
- ・設定中は、ディスプレイに [ファクス優先] と表示されます (留守設定時は表示されません)。
- ・設定中、親機の着信音は [電話ベル音] になり、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは働きません。
- ・着信したときから相手の方に通話料金がかかります。


※ 相手の方の用件が電話の場合、こちら側では本機が着信の種類を「電話」と判断してからしか着信音が鳴りませんので、判断するまでの間、相手の方をお待たせすることになります。

解除する：☎ 93ページ

◆ ファクス専用にする

すべての着信で、着信音を鳴らさずに自動でファクス受信に切り替わります。**設定すると、電話を受けることができません。**

設定する：

- ①  のあと **#** (4回)
- ② **2** **2** **2**

解除する：☎ 93ページ

- ・留守番電話を設定中は動作しません。
- ・設定中は、ディスプレイに [ファクス専用] と表示されます (留守設定時は表示されません)。
- ・ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴り、受話器を取ると電話でお話しできます。
- ・設定中は、相手の方の受話口に「ピー…ヒョロロ」という音が鳴ります。
- ・着信したときから相手の方に通話料金がかかります。

受信したファクスの保存方法

受信したファクスの保存方法は、次の3通りです。はじめは、[見てからプリント]に設定されています。変更するときは「ファクス受信方法」(P.93ページ)で設定します。

見てからプリント (お買いあげ時)

受信したファクスをディスプレイに表示することができます。内容を確認してから、必要なファクスだけを印刷できるため、記録紙やインクリボンを節約できます。

受信したファクスはメモリーに保存されるため、メモリーがいっぱいになると受信できません。また、自動的に印刷はしません。

メモリー受信

送られてきたファクスを直接記録紙に印刷せずに、いったん親機のメモリーに保存します。

あらかじめ記録紙がセットされているときは、自動的に印刷し、メモリーから消去します。

記録紙がセットされていないときは、そのままメモリーに保存します。

自動印刷中に記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスはメモリーに保存されます。メモリーがいっぱいになると受信できません。

記録紙受信

あらかじめに記録紙をセットしておきます。ファクスをメモリーに保存せず、そのまま記録紙に印刷します。

メモリーの残量にかかわらず受信できます。

記録紙やインクリボンがなくなると受信できません。

◆ ファクスをメモリー受信したときは

ファクスをメモリー受信すると、**ファクス** が点滅し、ディスプレイに [受信ファクスがあります [ファクス] を押す] と表示されます。受信ファクスを画面に表示 (P.48右記)、印刷または消去 (P.48、50ページ)すると、**ファクス** の点滅とディスプレイの表示が消えます。

◆ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿 (英字で文字数が700字程度の原稿)を [普通字] で約52枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります (最大でも約60枚または30件までです)。ファクスと録音用のメモリーは同じです。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

◆ ファクス/録音メモリーの残量を確認する

- ① **メニュー** **決定** **7**
- ② 確認したら **停止**

◆ お知らせ

●メモリー受信 (記録紙をセットしていない場合)と見てからプリントでは、受信したファクスはメモリーに残り、手動で印刷したあとでも残すことができます。メモリー受信 (記録紙をセットしている場合)では、受信したファクスは自動的に印刷されたあと、消えます。

●ファクスを印刷するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号を印刷するため、全体を約93%に縮小します。縮小しないで印刷したいときは「縮小受信」(P.94ページ)をしない設定にします。

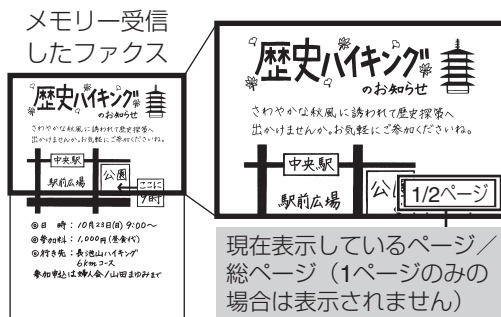
ファクスを見る (見てからプリント)

受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。

メモリー受信したファクスがあるときは、**ファクス** のランプが点滅します。

受信したファクスは、下記のように表示されます。

受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。表示している部分を上下左右に動かしたり、拡大/縮小したりすることができます。



◆ 受信したファクスをディスプレイに表示する

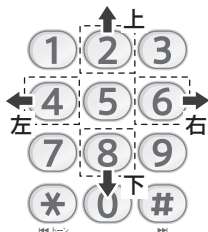
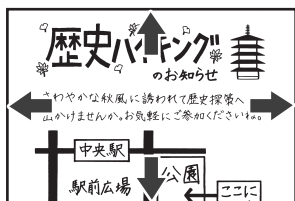
- ① **ファクス** **1**
- ② **↑** **↓** で表示したいファクスを選ぶ
 - ・受信したファクスの相手先の番号または名前、受信した日時、枚数などの情報が1件ずつ表示されます。
- ③ **メニュー** **決定**
- ④ 確認が終わったら **停止**
 - ・確認されていない受信ファクスをすべて確認したら、**ファクス** のランプは消灯します。

◆ 表示を動かす



を押して表示を上下に動かします。

また、ダイヤルボタンを押して表示を動かすこともできます。



◆ 表示を拡大／縮小する

(#) を押すごとに表示を拡大、(*) を押すごとに表示を縮小します。拡大は5段階、縮小は1段階まで行うことができます。

◆ 前ページ／次ページへ移動する

受信ファクスが複数ページあるときは、画面の一番上で を押すと前ページへ、画面の一番下で を押すと次ページへ移動します。

◆ 表示中のファクスを印刷する

- ① 記録紙をセットする (☎ 49ページ 手順1~3)
- ② 印刷したいファクスを表示させる (☎ 47ページ) コピー印刷
- ③
- ④ すべてのページを印刷する：
表示中のページのみ印刷する：
- ⑤ 印刷したファクス／ページを消去する：
消去せず終了する：
・メモリー受信ファクスをすべて印刷したいときは (☎ 50 ページ)

◆ 表示中のページを消去する

受信ファクスが2ページ以上あるときは、表示中のページ以外は消去されません。

消去したいページを表示中に (2回)

または と順に押す

◆ 受信ファクス選択画面に戻る

表示中に

受信ファクスの消去

1

2

3 ○ 1件ずつ選んで消去するとき：

で選んで

○ 確認済みのファクスを消去するとき：

○ すべてのファクスを消去するとき：

4

待受画面で以下の操作をしても消去できます。

・ 確認済みのファクス：

・ すべてのファクス：

◆ お知らせ

- A4サイズの長さを超える受信ファクスは、A4サイズでしか表示できません。
- 拡大表示中に印刷しても、等倍で印刷されます。
- 見てからプリントを操作しているときは、子機を使用することができません。
- 見てからプリントで表示される受信ファクスは、実際の内容よりも縦に長く表示されます。

記録紙をセットする

A4サイズの記録紙をセットします（一度に**15枚**まで）。

記録紙はA4サイズの当社推奨品（☎91ページ）をお買い求めください。

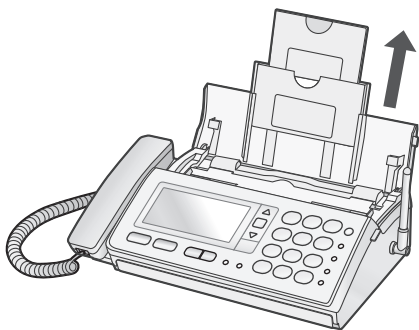
○ 普通紙（PP110MA4）

推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用すると印刷がかすれたり、濃く、または薄くなる場合があります。ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

1 記録紙トレイを開ける



2 延長トレイを引き出す



3 記録紙押さえの一番奥に、印刷する用紙をセットする



- ・ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
- ・紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、強く差し込まないでください。
- ・記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

◆ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。
印刷中は、記録紙を追加しないでください。

◆ 記録紙がつまったときは（☎84ページ）

◆ お知らせ

- しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れていたりする記録紙はセットしないでください。
- ファクスやコピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレイを閉めておくことをおすすめします。
- 一度使用した記録紙（裏紙）はセットしないでください。


ファクスを印刷する

メモリー受信したファクスは以下の方法で印刷できます。

◆ すべて印刷する

- ① 記録紙をセットする (☞49ページ 手順1~3)

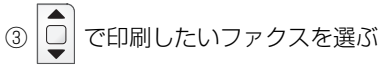




・印刷を途中でやめるとき：印刷中に 

◆ 1件ずつ印刷する

ページを選んで印刷したいときは、「表示中のファクスを印刷する」(☞48ページ)をご覧ください。

- ① 記録紙をセットする (☞49ページ 手順1~3)



- ⑤ 印刷したファクスを消去する： 
消去せず終了する： 

◆ 印刷中にインクリボンがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っています。印刷中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換(☞88ページ)してください。交換後あらためて印刷すると、中断したページのはじめから印刷します。

◆ お知らせ

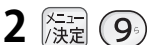
- 印刷中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

登録内容を印刷する

親機に登録されている内容のリストを印刷できます。印刷できるのは、設定リスト、着信記録、電話帳、お断り番号の4種類です。

1 記録紙をセットする


(☞49ページ 手順1~3)



3 印刷する内容を選ぶ

- 「メニュー設定 (最大5枚)」： 
- 「着信記録」： 
- 「電話帳」： 
- 「お断り番号」： 



- ・選択した内容を印刷します。
- ・印刷を途中でやめるとき：印刷中に 


一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。受話器を置いた状態で操作してください。

1 記録紙をセットする

(☞49ページ 手順1~3)

2 原稿をセットする

(☞40ページ 手順1~3)


・画質を選ぶとき： 

選ばなかったときは、自動的に [小さな字] でコピーされます。


3



4

・コピー中に  を押すと次のページから画質が切り替わります。

・コピー途中の原稿の画質は変更できません。

・途中でやめるとき： 

・コピーが中止され、記録紙または原稿が自動的に排出されます。

・コピー終了後、[鳥の声] でお知らせします。

◆ 関連操作

- ・原稿が詰まったときは (☞82 ページ)
- ・記録紙が詰まったときは (☞84 ページ)

◆ コピーの禁止について

本機で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー (複製) することは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。(通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法)
 - 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー (複製) もできません。(外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律)
 - 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー (複製) することは禁じられています。(郵便切手類模造等取締法)
 - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー (複製) できません。(印紙等模造取締法)
- #### コピー (複製) する場合に注意を要するもの
- 民間発行の有価証券 (株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー (複製) する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
 - 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

著作権に注意するもの

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、映画、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー (複製) を禁止されています。

◆ お知らせ

- コピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。


音の設定

着信音量

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変更できます。


はじめは3段階目に設定されています。

親機：

受話器を置いたまま  (5段階)



鳴らさないようにするときは「ピー」と鳴るまで、


約5秒間  を押し続ける

・着信音を鳴らすようにするとき：

子機：

① 

②  で [着信音量] を選び 



③  で5段階の音量または [切] から選び 

着信音色

電話がかかってきたときに鳴る着信音の種類を変更できます。

親機：


①  ②  ③ 


②  で着信音を選び 

- | | |
|----------|--------------|
| 1：電話ベル音 | 2：鳥の声 |
| 3：電子音 | 4：インベンション |
| 5：ジュ・ト・ブ | 6：シンフォニー 40番 |
| 7：はにゅうの宿 | 8：メヌエット |
| 9：セレナーデ | |

・選択している着信音が再生されます。
・はじめは [電話ベル音] に設定されています。

③ 「誰からコール」 (☎ 67ページ) の設定時は着信音を変更できないため、確認画面が表示されます。→表示されないときは手順④へ
誰からコールを解除し、着信音を変更する：



 を押して手順④へ



誰からコールを解除せず、着信音を変更しない： 

④ 

子機：

① 

②  で [着信音色] を選び 

③  で着信音を選び 

1：ブルルル ブルルル 2：ポロロロ ポロロロ

3：ピロン ピロン

4～8：ショートメロディ 1～5

9：ジムノペティ 10：ジュピター



・はじめは [ブルルル ブルルル] に設定されています。
・誰からコールを設定しているときは、子機の着信音は [ブルルル ブルルル] になります。



受話音量

通話中に受話器や子機の受話口から聞こえる音量を変更できます。

はじめは3段階目に設定されています。

通話中に

親機： / 子機： (5段階)



・  (親機) /  (子機) を押すと、受話音量を更に大きくすることができます (☎ 52 ページ)。

スピーカー音量

録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

はじめは3段階目に設定されています。

スピーカー再生時に

親機： / 子機： (5段階)

便利な機能

日時の設定

音量大ボタン

受話音量をさらに大きくできます。
ボタンひとつで切り替えできるので、通話する人によって音量を切り替えたいときなどに便利です。

音量大モードについて

設定前よりも受話音量が2~3段階分、大きくなります。

◆ 設定／解除する


待受画面や通話中に

親機： / 子機：

- ・親機のみ、設定時はボタンが赤色に点灯します。解除すると消灯します。
- ・子機では、設定時は画面に【音量大】と表示されます。

通話音質（子機）

通話中に受話口から聞こえる音質を変えることができます。

通話中に 

・押すごとに

[高い] (高音を強調する)

[低い] (低音を強調する)

[標準]

を切り替えます（[標準] を選ぶと「ピピッ」と鳴ります）。

・通話を終了しても設定を保持します。

IP電話やADSL、ISDN（INSネット64）などをご利用のときは、通話音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなる場合があります。

こんなときは、94ページをご覧ください。「親機送話音量」「子機送話音量」「子機受話音量」の各設定をそれぞれ [小] に設定してください。通話品質が改善されることがあります。

◆ お知らせ

- 着信音を鳴らさない設定にしている場合、内線やドアホンの着信音は最小の音量で鳴ります。
- 親機の着信音量の大きさは、ファクスの原稿をセット（[P.40](#)）しているときは上下キーで変更できません。
- 音量大モードで大きくなるのは、受話音量のみです。着信音量やスピーカー音量は変更されません。
- 親機のスピーカー音量は、「はじめの設定」（[P.100](#)）からも設定できます。

親機


1   

2 **ダイヤルボタンで日付を入力**

・年は西暦で4ケタ、月日は2ケタずつ入力してください。

3 **ダイヤルボタンで時刻を入力**




・24時間制で入力してください。

4 **入力した日時を確認して** 

5 **停止** 

・時計バックアップ（[P.95](#)）設定時は、親機の日時を設定すると、自動的に子機に転送されます。子機の日時設定は上書きされます。また、「子機へ時計送信」（[P.95](#)）で手動で転送することもできます。



・入力を間違えたとき：



 または   で間違えた数字まで戻り、あらためて入力してください。

子機

時計バックアップ設定時は、停電などで親機の日時が消えると、子機の日時設定が転送されます。

① 

②  で [システム設定] を選び 


③  で [日時登録] を選び 

④ **ダイヤルボタンで年月日を入力**（年は西暦で入力）

⑤ **ダイヤルボタンで時刻を入力**（24時間制）

⑥ 

・入力を間違えたとき：

 で間違えた数字を選び、あらためて入力する

◆ お知らせ

- 日時の設定には、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

携帯とくとくダイヤル

携帯電話へ電話をかけるときに各電話会社の「事業者識別番号」(0033など)を自動的に付加してダイヤルし、設定した電話会社の通話料金で通話できます※。

ひかり電話(NTT東日本、NTT西日本の光回線電話など)や一般回線を契約せずIP電話のみご利用の場合、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、本機では利用しない設定にしてお使いください。

— IP電話(一般回線契約)をご利用の方へ —

携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、「携帯とくとくダイヤル」の設定をしたあと、「IP電話解除番号を設定する」(P.右記)の設定をしてください。

※通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

設定する

1 ① ⑥ ①

2 設定したい項目を選ぶ

[NTTコミュニケーションズ0033] :

① を押して手順4へ

[その他事業者] : ② を押して手順3へ

[使用しない] : ③ を押して手順4へ

3 ダイヤルボタンで事業者識別番号を入力して (最大6ケタ)

・「事業者識別番号」とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号です。

4

◆ 一時的に携帯とくとくダイヤルを使用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

◆ IP電話解除番号を設定する

IP電話で携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線を使う必要があります。

「IP電話解除番号」を登録すると、携帯電話への発信時のみ、自動的に一般回線で発信できます。IP電話をご利用でないときは設定しないでください。

① ① ⑥ ② ①

② ダイヤルボタンでIP電話解除番号を入力して

(最大6ケタ)

③

◆ 設定内容を表示する

① ① ⑥ ④

② 確認が終わったら

◆ 携帯とくとくダイヤルの対象番号(携帯番号帯登録)

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話の番号頭4ケタ(0901など)は、携帯番号帯としてあらかじめ登録されています。

ご利用の通信事業者にサービスの対象となる携帯電話番号をご確認のうえ、本機に登録済みの携帯番号帯に追加が必要なときは、番号頭4ケタを追加してください。

登録 :

① ① ⑥ ③

②

③ ダイヤルボタンで番号を入力して (4ケタ)

④

消去 :

① ① ⑥ ③

② で消去したい番号を選び (2回)

③

便利な機能

◆お知らせ

- ひかり電話では、電話会社（通信事業者）を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくたくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください。
- 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くない場合があります。
- 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
- 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 本サービスは、マイラインの対象になりません。
- 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

モデムダイヤルインサービスやひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本機では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号をもったり、親機と子機の番号を別にしたることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。

※ひかり電話をご利用の方は「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用ください。

※このサービスを利用するには、NTTとのご契約が必要です。

※1つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

相手が電話用番号に電話をかけてくると…

- ・着信音が鳴ったら電話に出てお話しください。
- ・相手と話したあとファクスに切り替えることもできます。
- ・着信音は番号ごとに変わることができます。

相手がファクス用番号にファクスを送ってくると…

- ・子機の着信音は鳴りません。
- ・設定された呼出回数のおと、ファクス受信に切り替わります。
- ・着信音は電話の着信音と鳴り分けすることができます（☎56ページ）。着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話もできます。
- ・ファクスに切り替わるまでの呼出回数は変更できます（「ファクス時応答回数を設定する」☎56ページ）。

◆設定される番号について

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、必ず最初の電話番号（契約者回線番号）を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号（ダイヤルイン追加番号）に設定することをおすすめします。

電話用番号	最初の番号（契約者回線番号）
ファクス用番号	追加された番号 （ダイヤルイン追加番号）

また、親機と子機で電話番号を分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

親機用番号	最初の番号（契約者回線番号）
子機用番号	追加された番号 （ダイヤルイン追加番号）
2台目以降の子機番号	どちらでも可

◆ お知らせ

- 「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
- 他の電話機などとブランチ式（並列）接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
- モデムダイヤルイン機能や、ひかり電話の「追加番号」サービス（マイナンバー）を利用する場合は、お申し込みおよび月額使用料、工事費が必要となります。また、本機能を利用する場合、NTTの各種サービスがご利用になれない場合や、一部制約を受けることがあります。接続する機器によっては、本機能を利用できない場合があります（詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください）。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）をお使いの場合は、ご利用になれません。
- 他のサービスとの併用については、NTT 窓口へご確認ください。
- ISDN回線のときは、TA（ターミナルアダプター）の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

◆ モデムダイヤルインサービスを利用するには

- [モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]
- [ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）のご利用の手順]

NTTと契約する（有料）
下記NTT窓口にお申し込みください。

サービス開始の連絡を待つ

本機の設定をする（☎右記）
必ずサービスの開始後に行ってください。

モデムダイヤルインサービス、
マイナンバーサービスに関する
お問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL：局番なしの

116（通話料金無料）

- ・ 電話番号は、変更になることがあります（2013年4月現在）。
- ・ ひかり電話「追加番号」サービス（マイナンバー）をご利用のときは、ひかり電話対応アダプター／ルーター側の設定も必要となります。詳しくはNTT 窓口へお問い合わせください。

◆ モデムダイヤルインサービスを設定する 必ずサービスの開始後に行ってください。

- ① ② ⑤ ③
- ② 使用するとき：①
使用しないとき：②
- ③ 停止

◆ ダイヤルイン番号を登録する

設定の前に、必ずモデムダイヤルインサービスを使用する設定にしてください（☎上記）。

- ① ② ⑤ ①
- ② 設定する番号を選びダイヤルボタンを押す
TEL 1～5（電話番号）を選ぶとき：
①～⑤のいずれかを押して手順③へ
ファクス（ファクス専用番号）を選ぶとき：
⑥を押して手順④へ
- ③ 登録したい親機、または子機の組み合わせを

で選び

01	親機	07	子機1～4
02	子機1	08	親機、子機1
03	子機2	09	親機、子機2
04	子機3	10	親機、子機3
05	子機4	11	親機、子機4
06	親機、 子機1～4		

- ④ ダイヤルボタンでダイヤルイン番号を入力して
（最大20ケタ）
・ ダイヤルイン番号は、市外局番から登録してください。
- ⑤ 停止

◆ 設定内容を消去する

- ① ② ⑤ ②
- ② ①～⑥で消去したい番号を選ぶ
- ③ ②
- ④ 停止

◆ 設定した内容を表示する

- ① ② ⑤ ⑥
- ② で確認する
- ③ 確認が終わったら 停止

◆ ファクス時応答回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、ファクスに切り替わるまでの呼出回数を設定します。必ずモデムダイヤルインサービスを使用する設定にしてください（[P.55](#)ページ）。

- ① ② ⑤ ④
- ② ①、② ～ ⑥ で回数を入力する
- ・ で入力することもできます。
- ③
- ④ 停止

◆ 親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。

なお、「誰からコール」とは併用はできません。誰からコールを使用しない設定にしてお使いください（[P.67](#)ページ）。

- ① ② ⑤ ⑤
- ② 設定する番号を選びダイヤルボタンを押す
TEL2～5を選ぶとき：① ～ ④
ファクスを選ぶとき：⑤
- ・ [TEL1] に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください（[P.51](#)ページ）。
- ③ ① ～ ⑨ を押して着信音を選ぶ
- ・ 設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです（[P.51](#)ページ）。
- ・ 鳴り分けをやめるときは、① を押ししてください。
- ④ 停止

◆ ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号（TEL1～5）に着信しているのかが表示されます。ただし、[ファクス]にかかってきたときや、「表示文字サイズ」（[P.60](#)ページ）を「大」に設定にしているときは表示されません。

◆ 子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2～5]の番号専用の着信音を設定することができます。

なお、「誰からコール」とは併用できません。誰からコールを使用しない設定にしてお使いください。（[P.67](#)ページ）

- ①
- ② で [着信鳴り分け] を選び
- ③ で [ダイヤルイン] を選び
- ④ で [TEL2鳴り分け] ～ [TEL5鳴り分け] から着信音を設定したい登録先を選び
- ・ [TEL1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください（[P.51](#)ページ）。
- ⑤ で着信音を選び
- ・ 設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです（[P.51](#)ページ）。
- ・ 鳴り分けを解除するときには、 で [解除] を選んでください（「ピピッ」と鳴ります）。

◆ お知らせ






- ダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません（電話をとりつくと通話できます）。
- ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「ファクス専用」ではなく、ダイヤルインの「ファクス」を設定することをおすすめします。
- ナンバー・ディスプレイの着信鳴り分け（[P.70](#)ページ）を設定したときは、そちらが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
- 子機のダイヤルイン番号へ着信したときに内線通話をしていると、内線通話中の親機と子機の着信音が鳴ります。内線通話を終了すると、着信した子機の着信音が鳴ります。
- TEL1～5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着信音は鳴りません。
- 親機でコピーや印刷をしているときは、子機のダイヤルイン番号に着信しても親機の着信音が鳴ります。コピーや印刷が終了すると、子機からも着信音が鳴ります。

通話や伝言を録音する









今から録音

通話内容を録音できます。

◆ 親機

- ① 通話中に  ② もしくは 
 - ・録音が始まります。
- ② 録音が終わったら 
 (メモリーがいっぱいになると、自動的に終了)
 - ・日時と件数が自動的に録音されます (日時スタンブ機能)。
- ③ 通話中に再生: 
 - ・他に未再生の録音がある場合、そちらが先に再生されます。
 - ・再生をやめるとき: 




◆ 子機

- ① 通話中に 
- ②  で [今から録音] を選び 
 - ・録音が始まります。
- ③ 録音が終わったら 
 (メモリーがいっぱいになると、自動的に終了)
 - ・日時と件数が自動的に録音されます (日時スタンブ機能)。
- ④ 通話中に再生:
  を押し、 で [録音再生] を選び 
 - ・他に未再生の録音がある場合、そちらが先に再生されます。
 - ・再生をやめるとき: 








戻って録音

通話内容を最大約15分前までさかのぼって録音できます。

◆ 親機

- ① 通話中に  ①
 - ・通話内容がさかのぼって録音されます。
- ② 通話中に再生: 
 - ・録音した内容が再生されます。
 - ・再生をやめるとき: 

◆ 子機









- ① 通話中に 
- ②  で [戻って録音] を選び 
 - ・通話内容がさかのぼって録音されます。
- ③ 通話中に再生:  を押し、 で [録音再生] を選び 
 - ・録音した内容が再生されます。
 - ・再生をやめるとき: 

◆ 録音を相手に聞かせて、自動的にお断りする「録音でお断り」をお使いください(☎26ページ)。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は保存されません。

◆ 通話終了後に再生する

留守録音などと合わせて再生できます(☎37ページ)。

◆ 「戻って録音」の録音時間を変更する

- ①  のあと  (4回)
- ②  
- ③ 1分にする: 
 3分にする: 
 15分にする: 
- ④ 

警告してから録音

相手に「この通話を録音します」という警告メッセージを流してから、通話内容を録音します。

① 通話中に

親機：

子機： を押し、 で [警告あり録音] を
選んで

・警告メッセージが流れ、録音が始まります。

② 録音が終わったら (親機) / (子機)

(メモリーがいっぱいになると、自動的に終了)

・日時と件数が自動的に録音されます (日時スタンプ機能)。

③ 通話中に再生するときは

親機：

子機： を押し、 で [録音再生] を選び

・他に未再生の録音がある場合、そちらが先に再生されます。

・再生をやめるときは

親機： / 子機：

メモ録音

ご家族への伝言などを、メモ代わりに録音することができます。

1 受話器を取る

録音

・録音が始まります。

3 録音が終わったら

録音
・メモ録音すると、 が点滅します。

・日時と件数が自動的に録音されます (日時スタンプ機能)。

4 受話器を戻す

◆ 再生 (37ページ)

◆ 録音中に電話がかかってくると

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

◆ お知らせ

- 内線通話やオンフックダイヤルの通話内容は録音できません。
- 親機で「今から録音」や「警告してから録音」をしているときに、通話を保留すると録音は中断されます (保留を解除すると再開)。
子機で「今から録音」や「警告してから録音」をしているときは、通話を保留できません。いったん録音を停止してから行ってください。
- 親機で「今から録音」や「警告してから録音」をしているときに、迷惑電話お断り機能 (26ページ) を使用すると、録音は止まります。
子機で「今から録音」や「警告してから録音」をしているときは、迷惑電話お断り機能は使用できません。いったん録音を停止してから行ってください。
- 通話中にできるのは、「今から録音」 / 「警告してから録音」と、「戻って録音」のどちらかのみです。
- 「戻って録音」をすると、一度でメモリーがいっぱいになることがあります。
- すべての録音を合わせて、最大約15分または最大30件まで録音できます。1件あたりの録音時間に制限はありませんが、1件の録音時間が長いと、録音できる件数が減ることがあります。
- メモ録音中は、子機で通話や内線通話ができません。
- キータッチ音を鳴らす設定にしても、録音の操作音は鳴らないため、相手には録音を始めたことが分かりません。

親機

◆ ダイヤルライト

親機のダイヤルライトを点灯させる設定ができます。はじめは点灯させる設定になっています。

- ① のあと (4回)
- ②
- ③ 点灯させるとき:
- 点灯させないとき:
- ④

◆ 液晶濃度調整

7段階で調整できます。はじめは4段階目に設定されています。

- ①
- ② で濃度を調整して
- ③

◆ 音声操作案内を利用する

操作方法や、エラーが発生したときの対処方法などを音声でご案内します。

はじめは利用する設定になっています。

- ①
- ② 利用するとき:
- 利用しないとき:
- ③

待受画面で を押して、以下の項目の音声操作案内を選んで聞くこともできます。

- ①: インクリボンの交換
- ②: 電話帳の登録
- ③: ファクスを見る
- ④: ファクスを印刷する
- ⑤: コピーのしかた
- ⑥: ファクスの送り方

・画面下部にお知らせやエラーメッセージが表示されているときは、 を押すと、そのメッセージに関連する音声操作案内が流れます。

・音声操作案内を再生中、 で音声操作案内の音量を調整することができます。

◆ 発信元番号を登録する

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に印刷される番号を登録できます。

登録:

- ①
- ② 番号を入力して (最大20ケタ)
・入力を間違えたとき:
 で間違えた数字まで戻り、あらためて入力

消去:

変更するときも、いったん消去してからあらためて登録します。

- ①
- ②

◆ 発信元名の登録

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に印刷される名前を登録できます。

登録:

- ①
- ② ダイヤルボタンで名前を入力して
(最大全角12文字/半角24文字)
・文字入力 (30 ページ)
- ③

消去:

変更するときも、いったん消去してからあらためて登録します。

- ①
- ②

◆ 着信通知

留守中などに電話やドアホン通知*があったことを、親機のディスプレイに表示します。

* 本機をドアホンに接続しているときのみ、表示されます (61 ページ)。

- ① [着信がありました [メニュー/決定] を押す]と表示されていたら
・着信記録が表示されます (69 ページ)。
・ を押すと、メッセージが消えて待受画面に戻ります。

- ② で確認し、終わったら

表示させないようにする:

- ① のあと (4回)
- ②

◆ 表示文字サイズを切り替える

親機のディスプレイに表示される文字のサイズを [大] と [ふつう] から選んで切り替えることができます。はじめは [大] に設定されています。切り替えることができる項目は以下の通りです。

- 電話帳／再ダイヤル／メモリー受信ファクスの一覧／着信記録※の登録名や電話番号の表示
- 電話がかかってきたときに表示される、相手の方の名前や電話番号※

※ご利用には、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

- ① ① ②
- ② [大] に設定する：①
- [ふつう] に設定する：②
- ・ [大] に設定すると、最大全角 5 文字／半角 10 文字まで、[ふつう] に設定すると、最大全角 10 文字／半角 20 文字まで表示されます。
- ③

子機

子機を使いやすく設定できる機能項目です。

システム設定メニュー（待受画面で → で [システム設定] → ）から設定できます。

キータッチ音出力

子機のボタンを押したときの音の有無を設定できます。

設定項目：[解除] または [設定]

はじめの設定：[設定]

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。

設定項目：[解除] または [設定]

はじめの設定：[解除]

液晶濃度調整

で調整 → で設定

ダイヤルライト点灯

子機を充電器から取ったときなどの、ダイヤルライト点灯の有無を設定できます。

設定項目：[解除] または [設定]

はじめの設定：[設定]

使用者表示

待受画面に表示される名前を登録できます。

設定する：

- ①
- ② で [システム設定] を選び
- ③ で [使用者表示] を選び
- ④ ダイヤルボタンで名前を入力して
 (最大全角5文字／半角10文字)
 - ・ 文字入力 (☞ 30 ページ)
 - ・ 登録した名前を変更したいときは、上記の操作を再度行ってください。

解除する：

名前の入力画面で を押して入力した名前を消去し、

キーロック

子機のボタン操作を無効にして、電話を受ける以外の操作をできなくします。

待受画面で操作してください。

設定：

待受画面で を押し続ける (約3秒で [キーロック設定しました] と表示)

解除：

設定中に、待受画面で を押し続ける (約3秒で [キーロック解除しました] と表示)

・ 子機で設定しても親機の操作はロックできません。

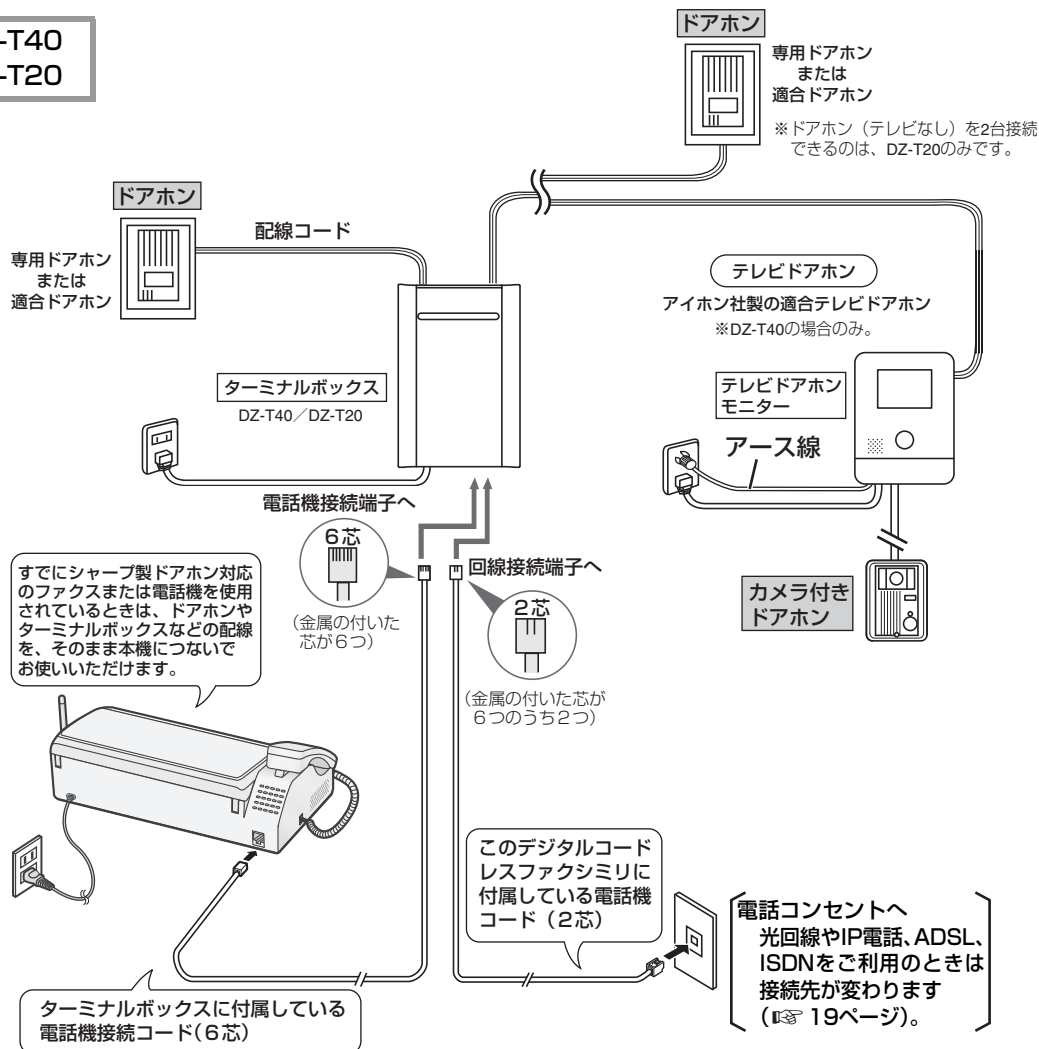
ドアホンをつなぐ

別売のターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホン）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大2台まで接続することができます。

詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンのつなぎかた

- ◆ DZ-T40
- ◆ DZ-T20



便利な機能

・カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

※ DZ-T20はテレビドアホンを接続できません。

※ DZ-T40のドアホン1はカメラ付ドアホン専用です。カメラのないドアホンは接続できません。

詳しくはDZ-T40の取扱説明書をご覧ください。

◆ ADSLやISDN、IP電話や光回線をご利用のときは（☞ 19ページ）

◆ DZ-T40と接続できるドアホン

現在お使いのドアホンが下記の機種の場合、ターミナルボックス DZ-T40 をお求めいただくとお使いいただけます。

メーカー名	適合するドアホン（室外機の機種名）	2013年4月現在
シャープ	DZ-H30-T	
アイホン	【テレビドアホン】: KD-55 KD-55-B KD-66 JES-1A-TB JES-1AK-T JES-1AE-T 【ドアホン】: IF-DA IF-DAW IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-DA IE-NXUシリーズ	

※ 販売が終了した機種も含まれています。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

※ チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません。

◆ DZ-T20またはDZ-T30と接続できるドアホン

現在、ターミナルボックス DZ-T20 または DZ-T30（テレビドアホン用）をご利用の方は、下記のドアホンと接続が可能です。

メーカー名	適合するドアホン（室外機の機種名）							2013年4月現在
シャープ	DZ-H20	DZ-H21	DZ-H22	DZ-H23	DZ-H30-T			
アイホン	IE-DA IE-NXC	IE-DC IE-DA	IE-NC	IE-RA	IE-TAS	IE-JA	IE-NXBA	IE-NXM IE-NXY
岩通	ドアホンN							
NTT	E-104DH	E-ドアホンS	E-ドアホンD	E-ドアホンPL	E-VXドアホン			
パイオニア	TF-DR2							
パナソニック	EJ-502	EJ-501W	EJ-102	EJ-503F	EJ-503A	EJ-106A	EJ-106S	
	EJ-1021B	VF-521	VF-522	VF-523U	VF-523D	VL-568	VL-568G	
	VL-568U	VL-568K	VL-568KA	VL-568D	VL-568R	VL-568S	VL-568KAP	
	VL-568GL	VL-568UL	VL-569	VL-580D	VL-582A	VL-584D	VL-585D	
富士通	FC-201A	FC-201B	FC-201C	FC-201D				

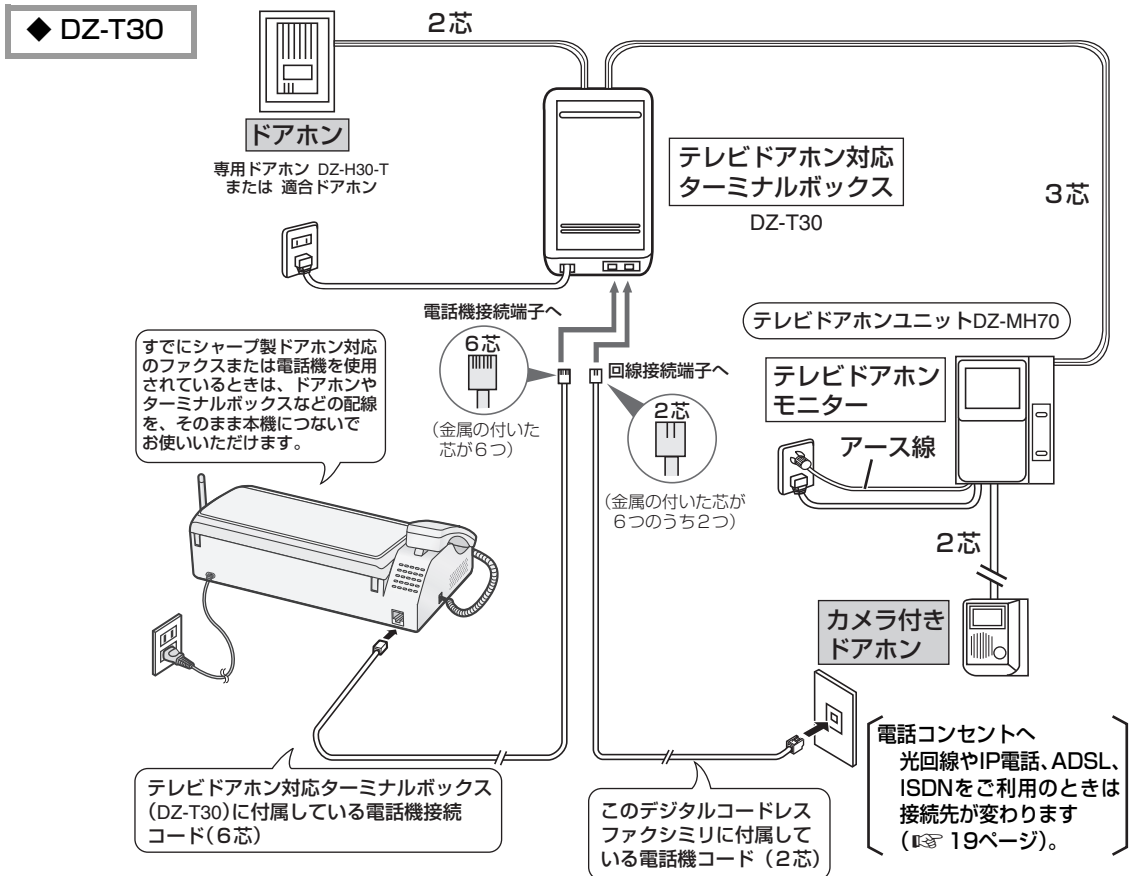
※ 販売が終了した機種も含まれています。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

※ チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません。

◆ カメラ付ドアホンのつなぎかた

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70、DZ-MH50、DZ-MH30が接続できます。

テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。



- ・ カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
- ・ カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

◆ 光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用のときは（19ページ）

ドアホンと話す

◆ ドアホンの着信音について

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴り方が違います。

親機	ドアホン1	
	ドアホン2	
子機	ドアホン1	
	ドアホン2	

◆ 親機でドアホンと話す


- ① 着信音が鳴ったら受話器を取る
- ② 通話が終わったら受話器を戻す

親機でドアホン通話中に電話がかかってくるとドアホン通話をやめて電話に出ることができます。



- ① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
 - ・ドアホン通話は切れます。
- ② 再度着信音が聞こえたら受話器を取り上げる

親機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンと通話できます。

- ① ダイヤルボタンでドアホンを切り替える
 - ・「ピンポン」と聞こえたとき：①
 - ・「ピンポン ピンポン」と聞こえたとき：②
- ② ① または ② (または ) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。



親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると電話を保留にしてドアホンと通話できます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に 
 - ・電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、もう一度 
 - ・ドアホン通話は切れます。



親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると内線通話をやめてドアホンと通話できます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に受話器を戻す
 - ・内線通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

◆ 子機でドアホンと話す


- ① 着信音が鳴ったら 
- ② 通話が終わったら 

子機でドアホン通話中に電話がかかってくるとドアホン通話をやめて電話に出ることができます。



- ① 「ピピ」と聞こえたら 
 - ・ドアホン通話は切れます。
- ② 着信音が鳴ったら 

子機でドアホン通話中にもう1台のドアホンから呼び出しがあると



ドアホン通話中の通話をやめて、もう1台のドアホンと通話できます。

- ① ダイヤルボタンでドアホンを切り替える
 - ・「ピロピロピロピロ」と聞こえたとき：①あ
 - ・「ピロリロ ピロリロ」と聞こえたとき：②か
- ② ①あ または ②か (または ) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると電話を保留にしてドアホンと通話できます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に 
 - ・電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、  (2回)
 - ・ドアホン通話は切れます。

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると内線通話をやめてドアホンと通話できます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に 
 - ・内線通話は切れます。
- ② 再びドアホンの着信音が聞こえたら 

- ◆ **着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと**
10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。
そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

◆ お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の録音・保留・転送はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の呼出音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の呼出音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの呼出音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また鳴らさない設定になっているときは、最小の音量で鳴ります。
- 3者通話中は、ドアホンとの通話はできません。
- DZ-T40をお使いの場合、ドアホンモニターで応答しても、再び親機／子機の呼出音が鳴ることがあります。このとき、ドアホンモニターで通話中だと、親機／子機で応答しても通話できません。ドアホンモニターの通話が終わっているときは、親機／子機で通話できます。

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話中でも、別の人からの電話に出ることができるNTTのサービスです。



キャッチホン・ディスプレイは、キャッチホンの相手の番号を確認できるNTTのサービスです。

ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

1 通話中に着信音が聞こえたら、

親機： / 子機：

2 もとの通話に戻るときは、もう一度

 または 

◆ キャッチホンを利用すると電話が切れる／切り替わらないときは



キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」▶95ページ）。

◆ キャッチホン・ディスプレイの設定


ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。


「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用のときは、必ず使用する設定にしてください。はじめは、使用しない設定になっています。

また、ナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください（▶66ページ）。

①  のあと  （4回）

②   

③ 使用する：

使用しない：

④ 

◆ お知らせ

- キャッチホンを受けるときにフックスイッチを押すと、キャッチボタンや保留ボタンが使用できなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機のキャッチホンで、ファクス受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機のキャッチホンでファクスを受信すると、電話が切れてもとの通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってくることも異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- 「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の場合、キャッチホンでの通話中は、迷惑電話拒否機能（▶26ページ）は働きません。
- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（▶66ページ）をご覧ください。

子機を増設する

- 付属の子機と合わせて最大4台まで増設できます。
- 増設できる子機については、「別売品／消耗品」(P.91ページ)をご覧ください。記載されている子機以外は増設できませんのでご注意ください。
- 増設／減設登録中は、電話を受けることを含むすべての操作を行うことができません。

下記の操作はJD-KS200での操作です。

増設／減設する子機を親機のそばに用意してから操作してください。
増設／減設の前に、子機を十分に充電してください。

1 子機背面の充電電池ふたと充電電池を取り外す

2 再び充電電池を入れて、充電電池ふたを取り付ける

3 増設の確認メッセージが表示されたら

- ・ 続けて親機を操作します（操作は2分以内に完了してください）。

<次の操作は親機で行います>

4 [子機を増設します] と表示されるまで を押し続ける (約3秒)


- ・ メッセージが表示されたらボタンを離してください。「ピー」と鳴ったら増設は完了です。
- ・ 「ピピピピ」と鳴ったときは、増設できていません。

◆ 減設（増設を取り消す）

<親機で操作します>

すべての子機の増設登録が取り消されます。個別に減設したいときは、増設子機に付属の「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。

① [子機を増設します] と表示されるまで

 を押し続ける (約3秒)

② 表示されたら、3秒以内に、[「内線」で子機を消去] と表示されるまで を押し続ける (約5秒)

③ 表示されたら

- ・ 親機が「ピー」と鳴って増設登録が取り消されます。
- ・ 減設中に停電になったり、親機の電源プラグが外れたりすると、子機の減設が完了されないことがあります。その場合は、もう一度手順①からやり直してください。

ナンバー・ディスプレイを利用する

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示するサービスです。ご利用には、NTTとのご契約が必要です（有料）。

◆ 表示のしかた

電話帳に登録していない相手先から	番号を表示。
電話帳に登録している相手先から（親機と子機で個別に登録が必要）	登録した名前を表示（親機は番号も表示）。
番号非通知の相手先から	[非通知] と表示。
公衆電話から	[公衆電話] と表示。
表示圏外※から	[表示圏外] と表示。
番号情報が受信できないとき	[外線着信] と表示。

※番号通知ができない地域や回線（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）

<NTTをご利用の場合>

NTTと契約する（有料）

下記NTT窓口にお申し込みください。



NTTの工事終了後にサービスが利用できます

工事日数については、下記NTT窓口にお問い合わせください。



本機の設定は必要ありません

はじめは使用する設定になっています。

ナンバー・ディスプレイサービス、
キャッチホン・ディスプレイサービスに
関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL：局番なしの

116（通話料金無料）

※電話番号は、変更になることがあります（2013年4月現在）。

<NTT以外の電話会社をご利用の場合>

NTTのナンバー・ディスプレイ相当サービスの有無を各ご契約の電話会社にお問い合わせのうえ、お申し込みください。

◆ 設定

はじめは、使用する設定になっています。

ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイをご利用のときは使用する設定にします。構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは使用しない設定にします。

- ① のあと （4回）
- ②
- ③ 使用する：
- 使用しない：
- ④

◆ お知らせ

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定にしてください。
- ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプター（TA）をお使いください。
- ナンバー・ディスプレイは、NTT の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは使用しない設定にしてください。

ナンバー・ディスプレイを活用する

本機では、ナンバー・ディスプレイサービスを使って、以下の機能を使用できます。

名前の表示	電話帳の名前を表示（親機は番号も表示）
着信記録	相手の番号を記録（☎69ページ）
着信鳴り分け	着信の種類によって着信音を変更（☎70ページ）
着信お断り	特定の番号や、非通知からの電話などを受けないように設定（☎70ページ）
聞いてから応答	相手の方を名前や声で確認できるほか、表示される相手の方の名前や電話の種類を確認して、電話に出ないでお断り（☎24ページ）
誰からコール	相手先の情報を音声でお知らせ（☎67ページ）
その他のサービス	キャッチホン・ディスプレイ（☎64ページ） →別途契約が必要です（有料）。

電話がかかってきたとき、相手の電話の種類に合わせてあんしんLED

迷惑電話 のランプが色分けされて点灯／点滅します。

ディスプレイを見なくても、電話の種類が分かるので便利です。

(例) 着信時



色分けされるランプは、以下の通りです。

色分けの条件	ランプ
非通知／公衆電話／表示圏外からの電話	赤色に点滅
親機の電話帳に登録されていない電話番号からの着信	黄色に点滅
親機の電話帳に登録されている電話番号からの着信	緑色に点灯
ナンバー・ディスプレイを使用しない場合のすべての着信	

あんしんLEDの点灯／点滅を設定する

はじめはあんしんLEDが点灯／点滅する設定になっています。

- メニュー/決定** **5** **6**
- 設定を選んでダイヤルボタンを押す
 - 使用するとき：**1**
 - 使用しないとき：**2**
- 停止 **0**

◆お知らせ

- キャッチホンや内線通話からの着信では、あんしんLEDは点灯／点滅しません。
- あんしんLEDを使用する設定にしていると、受信ファクスがある場合でも、着信中は受信ファクスボタンが点滅しません。

電話がかかってきたとき、「誰からの電話か」「誰あての電話か」「どこからかかっているのか」などの情報を、音声でお知らせします（親機の電話帳の情報を使用します **29**ページ）。

はじめは、音声お知らせを使用する設定です。使用しない設定にするときは、「誰からコール」(**6**下記)、「どこからコール」(**68**ページ)をご覧ください。

誰からコール／誰あてコールの発声：

- 「お姉さんあてに〇〇さんからです」など
- ・ 「お姉さん」の部分には、誰あてコール設定で選択した名前が入ります。「〇〇さん」は、親機の電話帳の名前です。
 - ・ 親機の電話帳の名前が発声できないときは、「お姉さんあてにお電話です」のように発声します。

どこからコールの発声：

- 「(都道府県名) からです」「携帯電話からです」「PHSからです」のいずれか
- ・ 電話帳に登録されている相手先の場合は、誰からコール／誰あてコールが優先されます。

その他の発声：

- 番号非通知の相手先から：「非通知です」
公衆電話から：「公衆です」
表示圏外から：「圏外です」

誰からコール

はじめは、使用する設定になっています。

- メニュー/決定** **2** **3** **1**
- 使用するとき：**1**を押して手順**3**へ
○使用しないとき：**2**を押して手順**4**へ
 - ・ 誰からコールを解除すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。どこからコールのみ解除したいときは、**68**ページをご覧ください。
- 着信鳴り分けを設定しているときは、誰からコールと併用できないため、確認画面が表示されます。画面が表示されないときは手順**4**へ進んでください。

着信鳴り分けを解除するとき：**メニュー/決定**

 - ・ 着信鳴り分けをそのまま使用するとき：**停止** **0**
- 停止 **0**

誰あてコール

誰あてコールを使用するときは、誰からコールを使用する設定にしたうえで、親機の電話帳の登録または修正時に、誰あての着信かを選んでください(☎29ページ)。誰あてコールを使用しないときは、誰あての着信かを選ぶときに「特定しない」に設定してください。設定済みの誰あてコールを、一括ですべて発声しないようにすることはできません。

◆ 誰あてコールの名前を登録する

9つまで登録できます。はじめは①～⑥が登録されています。⑦～⑨に追加で登録できます。

はじめに登録されている名前：

- ① オトウサン ② オカアサン ③ オニイサン
④ オネエサン ⑤ オジイサン ⑥ オバアサン
⑦～⑨ 未登録

① ② ③ ④

② で登録先を選び

・登録済みの項目を選ぶと名前を修正できます。

③ ダイヤルボタンで名前を入力して
(最大半角20文字)

・文字入力(☎30ページ)

④

・登録済みの名前を修正すると、その名前ですべての電話帳の発声の変更されます。

◆ 誰あてコールの名前のアクセントを変更する

① ② ③ ④

② で名前を選び

③ 読み上げから3分以内に①～⑨、⑩で調整
・調整方法は、「おしゃべり電話帳」(☎33ページ)と同じです。

④ 調整が終わったら

◆ どこからコール

はじめは使用する設定になっています。また、使用するときは、誰からコールを使用する設定にしてください(☎67ページ)。

① のあと (4回)

② ④ ④ ①

③ 使用する：①

使用しない：②

④

◆ 地域番号帯を登録する

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更できます。また、発声しない設定にしたり、「携帯電話」や「PHS」と発声させたりできます。登録できる番号は、最大30件です。

① のあと (4回)

② ④ ④ ②

③

④ 市外局番を入力して

⑤ で音声を選び

[00：発声しない]

[01～47：47都道府県名]

[48：携帯電話]

[49：PHS]

⑥

消去：手順②のあと で番号帯を選び (2回)

修正：いったん消去してからあらためて登録

◆ お知らせ

- 誰からコールと誰あてコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声しないことがあります。
- 各種音声お知らせ使用時は、着信音の種類を変更しても、固有の着信音で鳴ります。
- 各種音声お知らせは、着信鳴り分けおよびダイヤルイン鳴り分けとは併用できません。
- 内線通話中、ドアホン通話中、コピー中、キャッチホンの着信では、音声お知らせは働きません。
- どこからコールの地域番号帯に自宅の市外局番等を登録しておけば、近所の方からの電話は都道府県名を発声しなくなります。

着信記録

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
電話をかけてきた相手先の番号や、かかってきた日時などを確認できます。
また、着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることもできます。
親機、子機ともに20件まで保存できます。

着信記録を確認する／ 着信記録から電話をかける

1 親機： (2回) / 子機：

2 (親機) / (子機) で
確認する／かけたい番号を選ぶ
(20ケタまで表示)

・親機で確認中、 を押すと、[お断り番号に登録しますか?]と表示されます。
お断り番号に登録するとき：

3 ○確認が終わったら
親機： / 子機：

○電話をかけるときは
親機：受話器を取る
子機：

4 通話が終わったら
親機：受話器を戻す
子機： もしくは子機を充電器に戻す

◆ 着信記録で表示されるアイコンについて

不在	出られなかった電話やファクス
ファクス専用	ファクス専用 (☎46ページ) に設定しているときに着信した電話やファクス
お断り	お断り設定 (☎70ページ) している相手の方からの電話やファクス

◆ 着信記録からファクスを送る (親機)
(☎40ページ)

◆ 消去する (親機)
1件ずつ：

① (2回)

② で番号を選び (2回)

③

すべて：

①

◆ 184 (非通知) や186 (通知) を付けて電話をかける (子機)

①

② で番号を選び

③ で [特番ダイヤル] を選び

④ 184や186などの番号を入力 (最大8ケタ) して



⑤ 通話が終わったら もしくは充電器に戻す

◆ 着信記録を電話帳に登録する (子機)
(☎30ページ)

◆ 着信記録からファクスを送る (子機)
(☎42ページ)

◆ 消去する (子機)
1件ずつ：

①

② で番号を選び

③ で [1件消去] を選び (2回)

すべて：

①

② で [全消去] を選び

③ で [着信記録] を選び (2回)

◆ お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手がかった場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、お断りに設定している相手からの電話でも、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日時を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を設定した場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

着信鳴り分け

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

電話がかかってきたとき、「電話帳に登録されている相手先からの電話」、「非通知の電話」、「公衆電話からの電話」、「表示圏外からの電話」の4種類の着信音をそれぞれ設定できます。

はじめは、親機・子機とも設定されていません。

◆ 親機の着信鳴り分け

- ① ② ④
- ② 設定したい鳴り分けを選び
電話帳の鳴り分け : ①
非通知の鳴り分け : ②
公衆電話の鳴り分け : ③
表示圏外の鳴り分け : ④
- ③ ① ~ ⑨ で着信音を選び
・設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです (☞ 51 ページ)。
・着信鳴り分けを解除する : ⑩
- ④ 誰からコールを設定しているときは、着信鳴り分けと併用できないため、確認画面が表示されます。画面が表示されないときは手順⑤へ進んでください。
・誰からコールを解除する :
・誰からコールをそのまま使用する :
- ⑤

◆ 子機の着信鳴り分け

「誰からコール」(☞ 67 ページ) 設定中は、着信鳴り分けは働きません。

- ①
- ② で [着信鳴り分け] を選び
- ③ で設定したい鳴り分けを選び
[電話帳 ワンタッチ] [非通知]
[公衆電話] [表示圏外]
・[ダイヤルイン] については、「子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する」(☞ 56 ページ)をご覧ください。
- ④ で着信音を選び
・設定できる着信音の種類は、通常の着信音と同じです (☞ 51 ページ)。
・着信鳴り分けを解除する :
 で [解除] を選び (「ピピッ」と鳴ります)
 を押す

◆ お知らせ

- かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
- ダイヤルイン鳴り分け (☞ 56 ページ) と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、ファクス専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

着信お断り

特定の種類の着信をお断りする

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

非通知の電話、公衆電話からの電話、表示圏外からの電話に対して、着信音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます。はじめは設定されていません。

- 1 ⑤
- 2 お断りしたい項目を選び、ボタンを押す
 非通知のお断り : ①
 公衆電話のお断り : ②
 表示圏外のお断り : ③
- 3 ②
・お断りを解除するときは ① を押してください。
・非通知お断りに設定すると、非通知の電話に「この電話は、お受けするはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直してください」と3回流して電話が切れます。
・公衆電話お断り、表示圏外お断りに設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話に「この電話は、お受けすることはできません」と3回流して電話が切れます。
- 4

特定の番号をお断りする

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

電話を受けたくない相手先の電話番号を、30件まで登録できます。

- 1 ⑤ ④
- 2
- 3 番号を入力して (最大20ケタ)
・お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話に「この電話は、お受けすることはできません」と3回流して電話が切れます。
- 4

◆ 消去する

1件ずつ :

- ① ⑤ ④
- ② で番号を選び (2回)
- ③


すべて :

- ① ⑥ ②

お断りの設定を確認／初期化する

1

2 ○設定を確認するとき：①

・確認が終わったら 

○設定をすべて初期化するとき：③

・初期化すると、特定の種類の着信へのお断り設定が解除され、登録したお断り番号がすべて消去されます。

・②を押すとお断りの設定画面を表示します。

◆お知らせ

- 登録したお断り番号からの電話は、緊急の用件でも着信音が鳴りません（親機のディスプレイは点灯します）。
- お断り設定をした相手からの電話は、親機にのみ着信記録が残ります。

通話後に電話番号を登録する (着信らくらく番号登録)

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

電話帳に登録していない方からの着信があったときに、通話後にその電話番号をかんたんな操作で親機の電話帳に新規登録したり、お断り番号として登録することができます。

◆通話後に電話帳に登録する

① 電話を切ったあとに、以下の画面が表示されたら

①

今の電話番号を
1:電話帳に登録
2:着信お断りに登録
3:登録しないで終了

・この画面が表示されてから、約 1 分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

② 名前・読み・番号・誰あてコールで発声する名前の順に入力／設定して、電話帳に登録する（☎29ページ）

・番号には通話した相手先の番号が入力されています。


◆通話後にお断り番号に登録する


① 電話を切ったあとに、以下の画面が表示されたら

②

今の電話番号を
1:電話帳に登録
2:着信お断りに登録
3:登録しないで終了


・この画面が表示されてから、約 1 分間、何も操作をしないと待受画面に戻ります。

② 番号を確認して 

③ 画面の説明文を確認して 

・相手先の番号がお断り番号に登録されます。

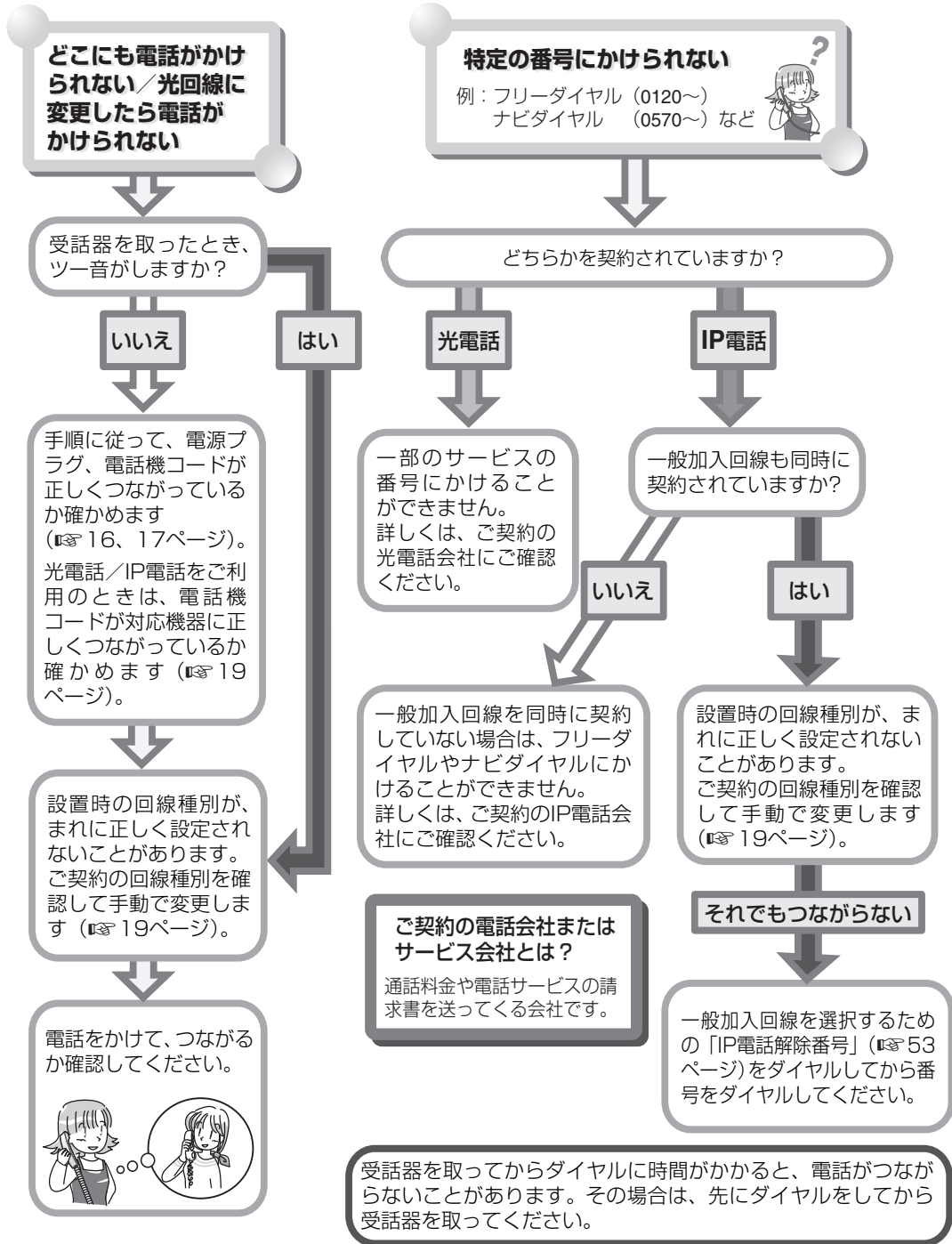
◆着信らくらく番号登録を解除する

①  のあと **#**（4回）

② **4** **3** **2**

③ 

電話がかけられない



携帯電話にかけられない



「携帯ととくくダイヤル」の設定を確認します。

IP電話や光電話を契約されていますか？

契約していない

通信事業者が合っていないとつながりません。正しく設定します(☎53ページ)。



光電話を契約している

ご利用になれません。機能を使用しない設定にします(☎53ページ)。

IP電話を契約している

一般加入回線も同時に契約していますか？

はい

通信事業者や「IP電話解除番号」が合っていないとつながりません。正しく設定します(☎53ページ)。

いいえ

ご利用になれません。機能を使用しない設定にします(☎53ページ)。

携帯電話にかけます(通話料は有料)。つながったら、設定は完了です。

●携帯電話にかけたときに、「先頭が00で始まる番号へはおつなぎできません」などのアナウンスが流れる場合は

携帯ととくくダイヤルを使用しない設定にしてください(☎53ページ)。

●それでもつながらない場合は

電話会社によっては、かけられない電話番号や受けられない電話サービスがあります。ご契約の電話会社や電話サービス会社にご確認ください。

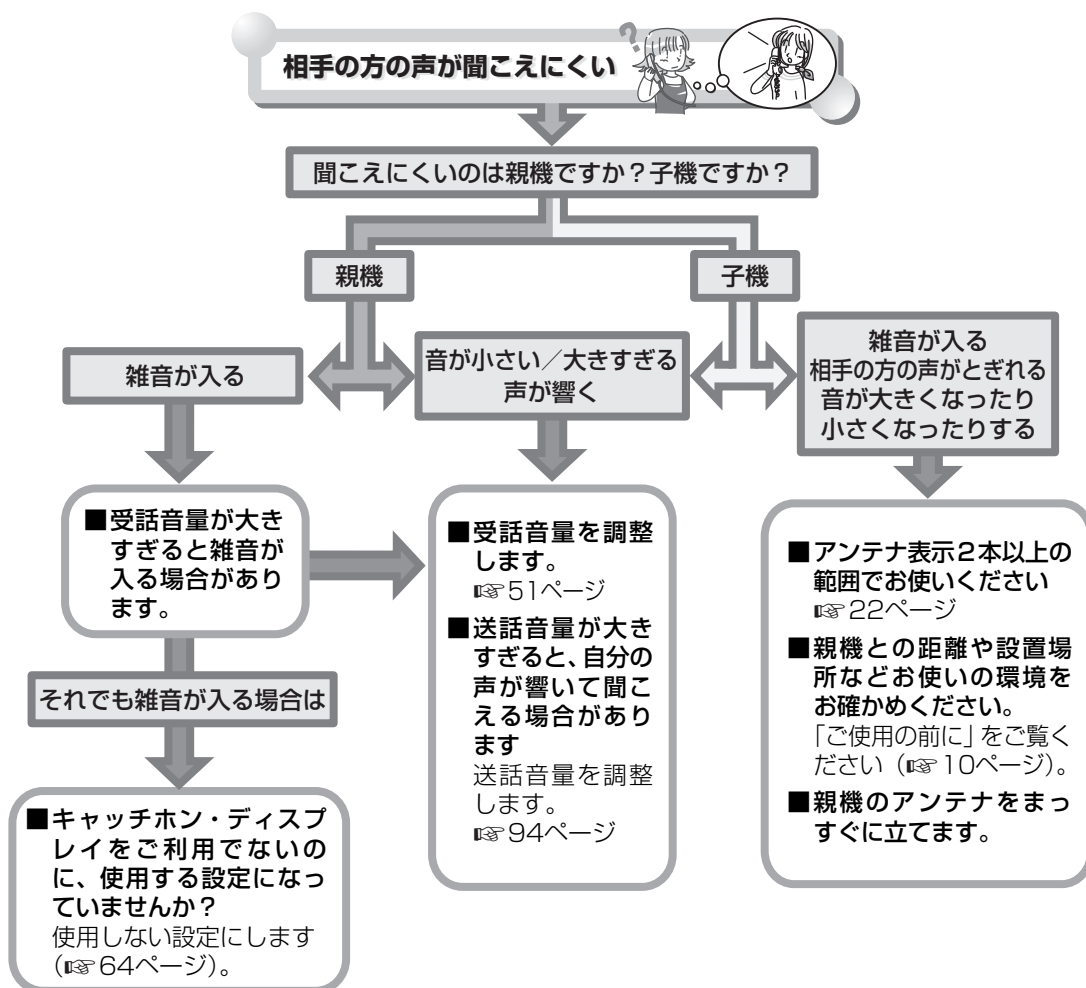
※IP電話とは、ADSLなど、インターネットの技術によって通信する電話です。
光電話とは、NTTのひかり電話など、光回線を利用して通信する電話です。

◆ 回線種別とは

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本機の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかけられないことがあります。

声が聞こえにくい

通話中、ご使用の電話回線や通話状態にあわせるため、自動的に通話レベルの調整を行うことがあります。調整には 30 秒～ 1 分ほどかかり、その間の通話は音量が不安定になったり雑音が入ったりしますが、故障ではありません。



こちら側の声が相手に聞こえにくい

- 送話口 (マイク) を手でふさいでいませんか？
- 回線の状態などによって、聞こえにくくなる場合があります。
送話音量を大きくしてください (☎ 94ページ)。

ファクスを送れない／受けられない

ファクスを送れない



- 原稿は正しくセットされていますか？
☎ 40ページ
- 原稿送りローラーは正しく取り付けられていますか？
☎ 81ページ
- 相手の方が非通知お断りに設定していませんか？
番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

■相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません。相手の方に確認してください。

受話器を取ってからファクスを送るときは、ダイヤルに時間がかかると、ファクスを送れなくなることがあります。その場合は、先にダイヤルをしてから受話器を取ってください。

ファクスを送ったが…



相手の方の記録紙に印刷されない



- 原稿は正しくセットされていますか？
送る面を裏向きにセットします（☎ 40ページ）。

相手の方に届いた画像が悪い



- 原稿送りローラーや読み取り部(ガラス)が汚れていませんか？
汚れをふき取ります（☎ 81ページ）。

ファクスが受けられない



メモリーがいっぱいになっているときは

メモリーがいっぱいになっていないときは

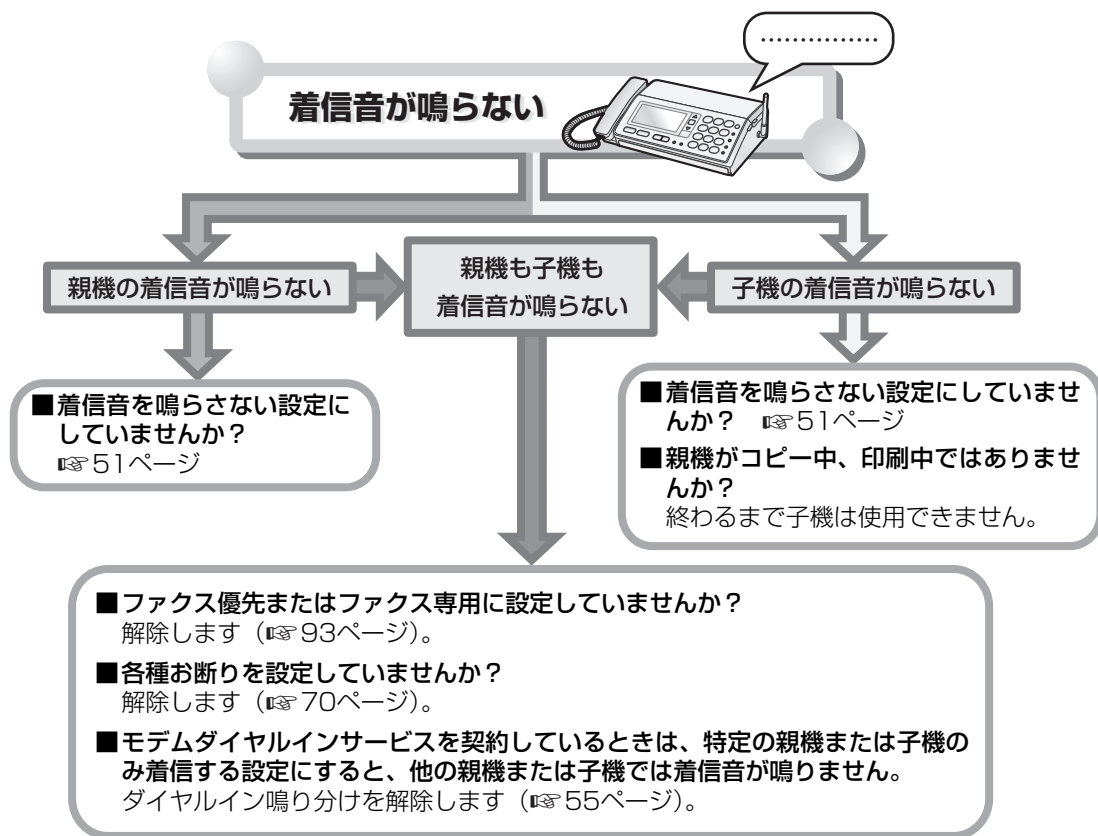
- ファクス受信方法が記録紙受信になっていませんか？
記録紙をセットしてから、もう一度送信してもらいます（☎ 49ページ）。
- 留守設定などでファクスを受けるときは、「応答メッセージ待ち時間」や「発信音待ち時間」が短いと、受信できないことがあります。
待ち時間の設定を長くします（☎ 93ページ）。

- メモリー受信データを印刷／消去します。
☎ 48、50ページ
- 不要な録音を消去します。
☎ 37ページ



それでも受けられない

- 写真原稿などを受信すると、受信中にメモリーがいっぱいになる場合があります。このときは、ファクス受信方法を記録紙受信に設定し、記録紙をセットして受信してください（☎ 49、93ページ）。

着信音が鳴らない





その他 こまったとき

コピー・印刷		
正しく給紙しない 	・記録紙は、当社の推奨品をお使いください。	91
	・インクリボンは、当社の純正品をお使いください。	91
	・記録紙が正しく給紙しているか確認します。	49
	・記録紙が、記録紙押さえの間にまっすぐセットされているか確認します。	49
	・記録紙は、よくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットします。記録紙トレイを開いたときや、記録紙を追加するときも、いったん記録紙を取り出してからセットします。	49
	・一度にセットできる記録紙は、15枚までです。	—
	・後ろカバーをしっかりと閉めてから記録紙をセットします。	20 49
	・それでも正しく給紙しないときは、記録紙給紙ローラーを清掃してください。	87
コピーできない	・原稿ガイドを原稿の幅に合わせて調節します。	40
	・原稿を正しい位置にセットします。	40
	・原稿挿入口に紙片などの異物がつまっていれば、取り除きます。	—
	・原稿送りローラーが正しく取り付けられているか確認してください。	81
印刷した画像が汚い／白や黒の線が入る 	・記録紙は、当社の推奨品をお使いください。	91
	・インクリボンは、当社の純正品をお使いください。	91
	・記録ヘッドや記録紙給紙ローラーが汚れているか確認し、汚れをふき取ります。	87
	・キャッチホンを利用しているときなど、ファクス受信中に電話がかかると、画像が乱れることがあります。	—
	・原稿や記録ヘッド、読み取り部（ガラス）が汚れていないか確認し、汚れをふき取ります。	81 87
	・気温が低いときや本機の電源を入れた直後は、印刷がかすれたり、薄くなる場合があります。	—
記録紙に印刷されない	・ファクス受信時は、原稿の向きが裏表逆になっていないか、相手の方に確認します。	—
	・コピー時は、原稿が裏向きにセットされていることがあるため、正しくセットされているか確認します。	—
留守番電話		
留守設定できない	・メモリーがいっぱいになっていないか確認し、以下の操作を行います。	48
	⇒ ファクスの受信データを消去または印刷	50
	⇒ 不要な録音の消去	37
録音やファクス受信ができない	・着信するまでの回数が長いとファクス受信できないことがあるため、留守応答回数を現在の回数より少なくします。	38
	・相手の声が小さいときや、用件が短いときは、途中で途切れたり録音されないことがあります。	—
録音した応答メッセージが流れない	・応答メッセージを正しく録音します。	38
	・メモリーがなくなると自動的に固定メッセージに切り替わります。	—
	・お声拝聴機能を使用する設定にします。	93
リモート操作ができない	・留守設定にしているか確認します。留守設定にしていると外出先からリモート操作できません（在宅時応答回数、ファクス自動受信、ファクス優先のいずれかを設定しているときは、留守設定してなくてもリモート操作できます）。	36
	・暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと外出先からリモート操作できません。	39
留守設定を解除してもボタンが点滅している	・未再生の録音をすべて再生すると消灯します。	37

ナンバー・ディスプレイ		
相手の方の番号を表示しない	・ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。局番なしの116番へお問い合わせください。	—
	・NTTとの契約が済んで、工事が完了していないときは、局番なしの116番へお問い合わせください。	—
	・構内交換機やホームテレホンに接続していると表示できません。	—
	・ナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください。	66
	・ひかり電話などの光回線やIP電話を利用しているときは、各契約会社へお問い合わせください。	—
	・ISDNのターミナルアダプター（TA）がナンバー・ディスプレイ対応でないと表示できません。対応しているときは、ターミナルアダプター（TA）側でナンバー・ディスプレイを使用する設定にしてください。	—
相手の名前を表示しない／着信音が変わらない	・相手の方の電話番号は市外局番から登録しないと鳴り分け機能や名前を表示できません。市外局番から入力してください。	—
	・「誰からコール」と鳴り分け機能は同時に利用できません。鳴り分け機能をご利用になるときは、「誰からコール」を使用しない設定にしてください。	67
こちら側の電話番号が相手側の電話機に表示されない	・電話番号が「通常非通知」の契約の場合は、最初に「186」を付けてダイヤルしてください。	—
	・相手側がナンバー・ディスプレイを契約していないと表示されません。契約しているときは、電話会社へお問い合わせください。	—

いろいろな接続		
ひかり電話などの光回線を利用しているとき	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインサービス（マイナンバー／追加番号）が動作しないときは、ご契約の内容を確認してください。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。	—
IP電話／ADSLを利用しているとき	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の状態のときは、スプリッタを含むADSL機器を取り外して、改善されるか確認してください。また、回線からスプリッタまでの配線を短くして、改善されるか確認してください。 ⇒ ファクスの送受信ができない ⇒ 電話やファクスを使っていないのに [外線使用中] などの表示が出る ⇒ ナンバー・ディスプレイが動作しない ⇒ 電話の音が聞こえにくい・雑音が入る ⇒ 受話器を取ると「キーン」という音が出る 改善されるときは、ADSL業者にご相談ください。 改善されないときは、シャープお客様相談窓口にご相談ください。	— 106
ISDNを利用しているとき	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の状態のときは、ターミナルアダプターの送話・受話音量を調節してください。 ⇒ 音がワンワン響く・大きすぎる ⇒ ナンバー・ディスプレイが動作しない ⇒ 電話の音が聞こえにくい・雑音が入る ⇒ 受話器を取ると「キーン」という音が出る 改善されないときは、ターミナルアダプターのメーカーへお問い合わせください。	—
	・ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。	—

子機		
動作しない 	・ 充電器に子機を戻して充電します。使いはじめや充電電池を交換したときは、10時間以上の充電が必要です。ディスプレイに何も表示されないときは、数分間子機を充電器に置いたままにしておく则表示されます。	22
	・ いっぱいに充電してもすぐに通話できなくなるときは充電電池の寿命です。充電電池を交換してください。	89
	・ 充電電池のコネクターが正しく接続されているか確認します。	21
	・ 充電器の電源プラグが正しく接続されているか確認します。	22
	・ 親機の電源プラグや電話機コードが正しく接続されているか確認します。	16 17
	・ 親機や他の子機が使用中のときは、使用できません。	—
	・ 停電中は、使用できません。	—
	・ 子機のディスプレイに「通話圏外」と表示されているときは、子機を親機に近づけて  を押してください。	—
	・ 親機との距離や設置場所などお使いの環境をお確かめください。	10
	・ それでも動作しないときは、子機を再起動してください。	90

その他		
動作がおかしい	・ 電話機コードや電源プラグを正しく接続します。	16 17
	・ 電源を入れ直したり、「強制リセット」すると正常に動作することがあります。	90
	・ それでも改善されないときは、シャープお客様ご相談窓口にご相談ください。	106
登録していた日時が自動的に変更される	・ 親機の日時登録を変更すると、自動的に子機の日時登録が上書きされます。親機の日時登録を転送したくないときは、時計バックアップを使用しない設定にしてください。	95
誰からコールなどの音声が聞き取りにくい	・ 親機の着信音量またはスピーカー音量を調整してください。	51
	・ アクセントを変更してください。	33 68
	・ 音声合成システムで作った音なので、人の声に比べると聞き取りにくいことがあります。	—
通話中などに突然ファクスに切り替わる	・ 声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。何度も続けて起こるときは、おまかせ受信をしない設定にします。	19
インクリボンがなくなった	・ 必ず当社の純正品をお使いください。 ○ UX-NR8G (33m × 1本) ○ UX-NR8GW (33m × 2本) ギアなしタイプはお使いになれません。	—
各種サービスを受けられない	・ ひかり電話などの光回線やIP電話では、受けられないサービスがあります。各契約会社にお問い合わせください。	—
ディスプレイに商品案内が表示され音楽が流れる	・ 店頭などで商品案内に使用されるデモモードが起動しています。デモ起動をしない設定にします。	95
ディスプレイに何も表示されない	・ 省電力モードになっていませんか？ 約3分間、何も操作をしないと、節電のためにディスプレイの表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、再びディスプレイが表示されます。	—
CSデジタル放送の映像にノイズや雑音が入る	・ CSデジタル放送の受信機器から本機を遠ざけてください。	10
	・ シールド性の高いCS・BS対応の分波器、分配器、混合器、接続ケーブルをご使用ください。	10

停電になったときは	
電話機	・ 親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。
	・ 子機を使用することはできません。
	・ 各種サービスは働きません。
	・ ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。
	・ 通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番電話	・ 留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。
	・ 外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。
	・ 録音内容は消えません。
ファクス	・ ファクスを送ることも受けることもできません。
	・ 送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。
	・ メモリー受信データは、停電になっても消えません。
	・ 紙がつまった場合は、用紙を取り除いてから再度操作してください (☞ 82、84ページ)。
コピー	・ コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	・ 電話帳などに登録されている内容は消えません。
	・ 日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを使用する設定にしているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます (☞ 95ページ)。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください (☞ 52ページ)。

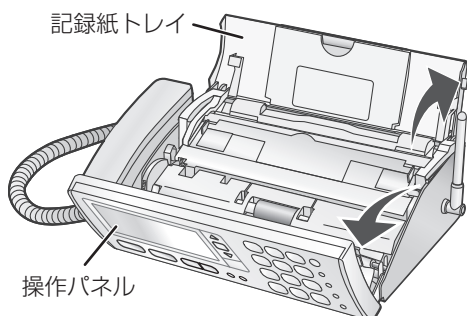
記録紙に線が入る

コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。こんなときは、読み取り部を清掃してください。

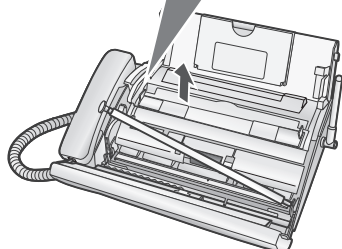
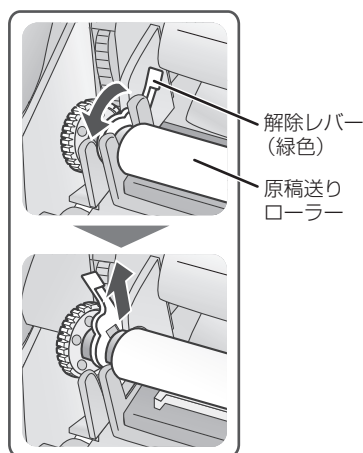
また、読み取り部を清掃しても線が消えないときは、記録ヘッド手前のリボンガイド部を清掃してください（☞87ページ）。

読み取り部を清掃する

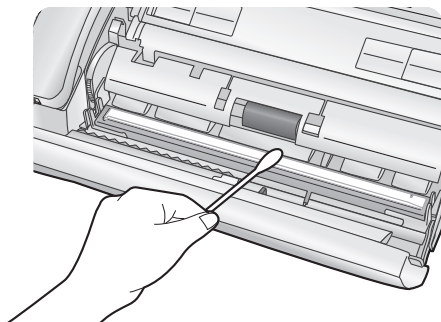
1 記録紙トレイを後ろに、操作パネルを前に起こす



2 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる

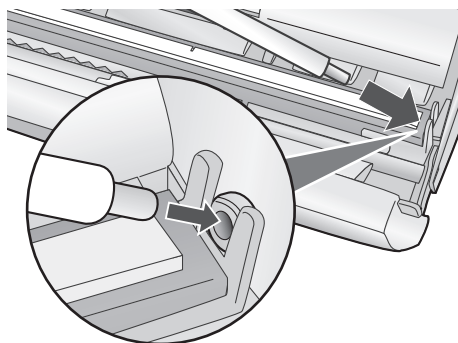


3 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく



- ・ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ってください。そのあと、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

4 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む



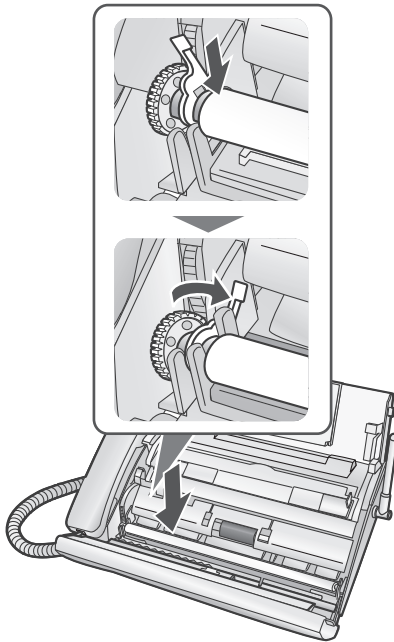
- ・原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。
- ・原稿送りローラーを取り外したあと、紛失しないようご注意ください。

次ページへ

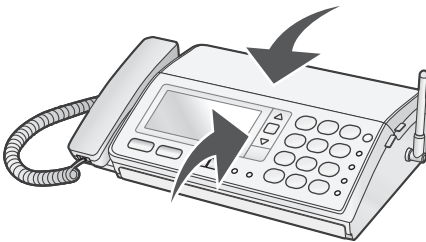
こまったとき

原稿や記録紙が詰まった


- 5 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



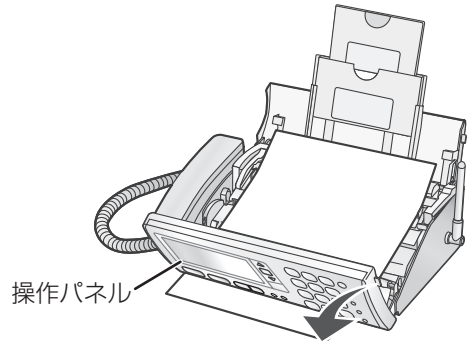
- 6 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



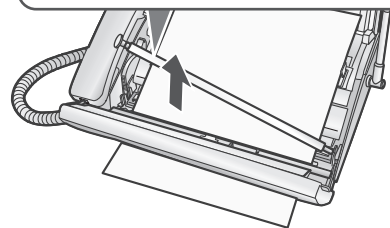
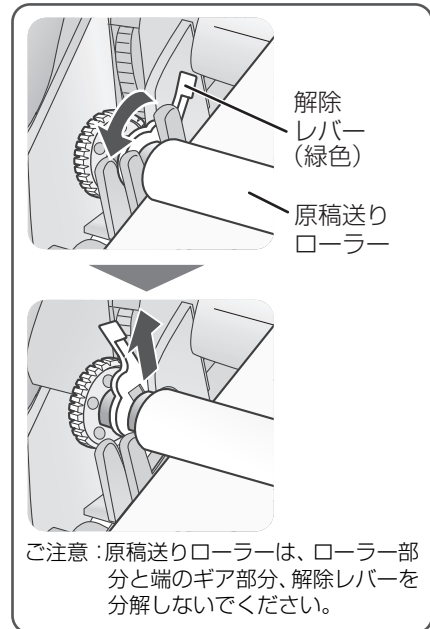
原稿が詰まった

原稿が詰まったときは、まず  と順に押し、原稿を排出してください。排出されないときは、次の手順で取り除いてください。記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

- 1 操作パネルを前に起こす

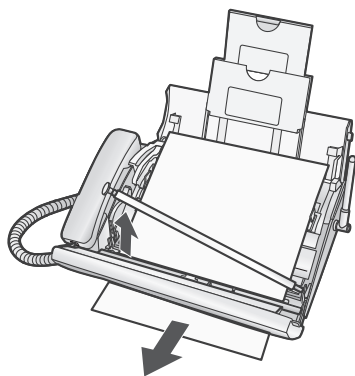


- 2 原稿送りローラーの左側の解除レバーを前に倒し、原稿送りローラーを引き上げる



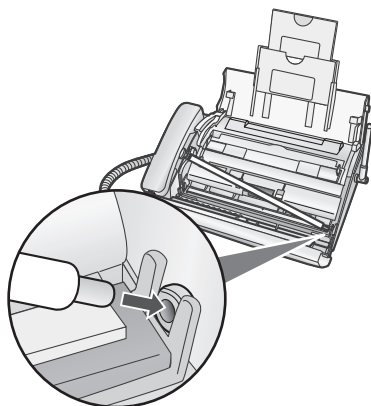
次ページへ

3 つまった原稿を取り除く



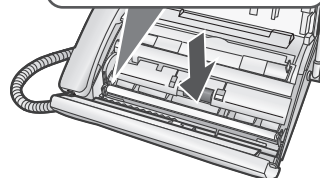
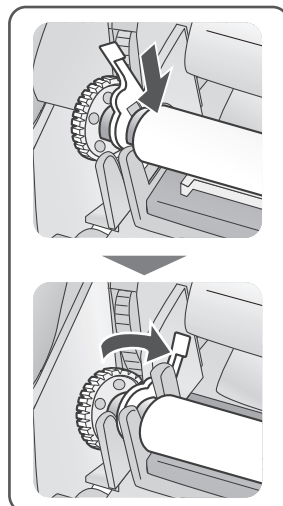
- ・ つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。
- ・ 万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

4 原稿送りローラーの右端を穴に差し込む

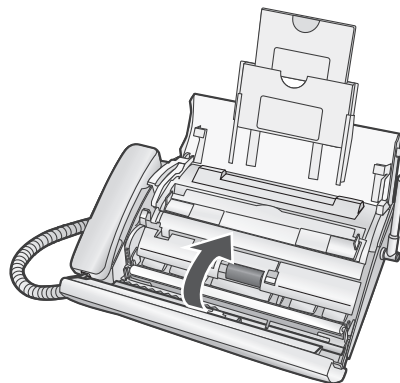


- ・ 原稿送りローラーは必ず正しく取り付けてください。取り付けが不完全なまま操作パネルを閉めると、親機が破損する原因になることがあります。また、取り付けが不完全だったり、はずしたままお使いになると、コピーやファクス送信ができません。
- ・ 原稿送りローラーを取り外したあと、紛失しないようご注意ください。

5 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



6 操作パネルを閉める

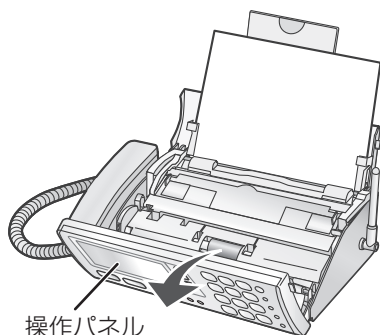


- ・ 原稿や記録紙をセットしてください(☞ 40、49ページ)。

記録紙が詰まった

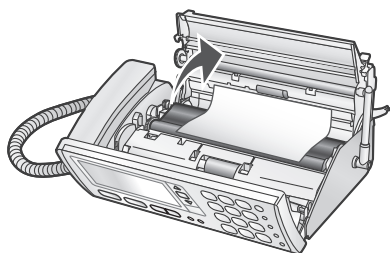
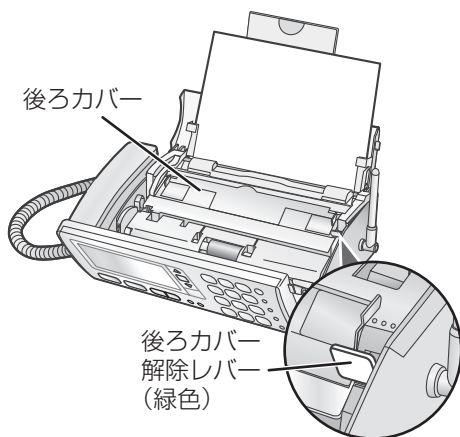
印刷の途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☎88ページ）。

1 操作パネルを起こす

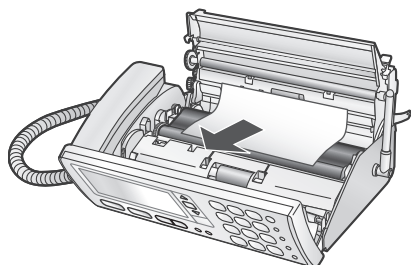


- ・記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作してください。

2 後ろカバー解除レバーを押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

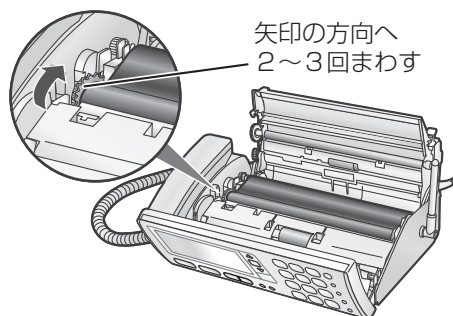


3 つまった記録紙を取り除く

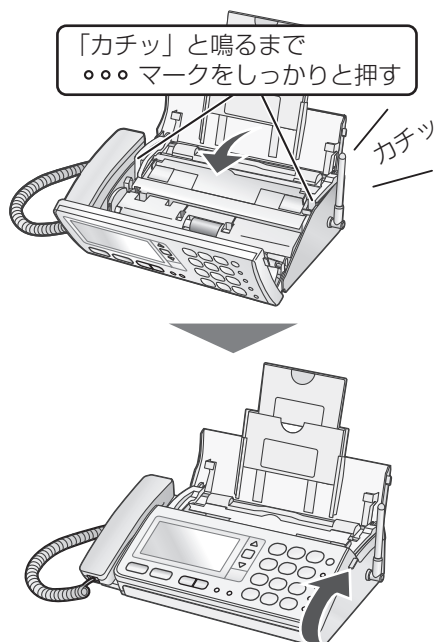


- ・操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。
- ・記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に引き抜いてください。

4 インクリボンのたるみを取る






5 後ろカバー、操作パネルの順に閉める



- ・記録紙を再セットしてください（☎49ページ）。

お知らせ／エラー表示（親機）

親機では、一部のお知らせやエラー表示の表示中に  を押すと、そのメッセージに関連する音声操作案内が流れます（[P.59](#)ページ）。

	表示／エラー音	対応
あ 行	インクリボン切れのため ファクスを中断しました	●インクリボンを交換します（ P.88 ページ）。 ●緑色のギアをまわして、インクリボンのたるみをとります（ P.20 ページ）。
	インクリボンがありません 型番はUX-NR8G/GW	
	後ろカバーが開いています 閉めてください	●後ろカバーを閉め直します（ P.20 ページ）。
	応答がありません	●「親機でお話してからファクスを送る」の方法で送信してください（ P.40 ページ）。
か 行	回線が応答しません 電話機コードの接続と 回線を確認ください	●電話機コードが正しくつながっているか（ P.16 ページ）、コードが痛んでいないか確かめます。また、一度、電話機コードを抜き差ししてみてください。 ●回線自体に問題がないか確かめます。 本機から電話機コードを抜き、携帯電話などから本機を接続している電話番号に電話をかけます。この際に呼び出し音が聞こえなければ、ご契約の電話会社にお問い合わせください。
	外線自動応答中	●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。
	外線使用中 また、「ツーツー」と聞こえる	●子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。
	記録紙切れのため ファクスを中断しました	●記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください（ P.49 ページ）。
	記録紙づまりのため ファクスを中断しました	●つまった記録紙を取り除きます（ P.84 ページ）。 ●記録紙が正しくセットされているかを確認してください（ P.49 ページ）。
	記録紙がつまりました 取り除いてください	
	原稿がつまっています 取り除いてください	●   と順に押すと、原稿が自動的に排出されます。 ●それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します（ P.82 ページ）。
	子機を確認ください	●子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かない／電波干渉など）になっていないか確認してください（ P.10 ページ）。
	子機使用中 また、「ツーツー」と聞こえる	●子機を使用中です。子機の使用が終わるまでお待ちください。 ●親機と子機のあいだで時計転送などの通信操作をしています。操作が完了すると表示は消えます。
	子機を増設します	●親機が子機増設登録モードになっています。 別売の増設子機を登録する場合は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。 ●子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください（約30秒で子機増設モードは解除されます）。
さ 行	受信ファクスがあります [ファクス]を押す	●メモリー受信したデータを表示、消去または印刷してください（ P.47、48、50 ページ）。
た 行	着信がありました [メニュー／決定]を押す	●  を押すと着信記録が表示されます（ P.59 ページ）。
	通信エラー（1～15） また、「通信エラーが ありました」と聞こえる	●相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます（1～15の番号は、当社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、当社のご相談窓口までご連絡ください）。

は 行	ファクス受信メモリー一杯です 不要なファクスを消去	●メモリー受信した内容を印刷または消去します (☎48、50ページ)。 ●不要な録音を消去します (☎37ページ)。
	プリンタが高温です	●長時間連続して印刷やコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作なくなることがあります。しばらくお待ちください。
	プリンタが高温のため ファクスを中断しました	
ま 行	未再生録音があります [留守]を押す	●未再生の留守録音があります。再生してください (☎37ページ)。
ら 行	録音があります [再生]を押す	●未再生の留守録音やその他の録音があります。再生または消去してください (☎37ページ)。
	録音メモリーが一杯です 不要な録音を消去	

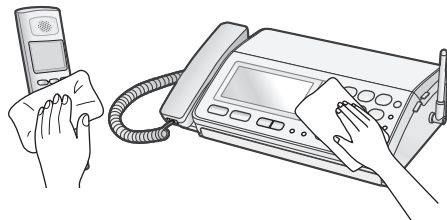
お知らせ／エラー表示／エラー音 (子機)

表示／エラー音	対応
親機検索中	●親機の電源プラグを接続してください (☎17ページ)。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください (☎10ページ)。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ●子機を再起動してください (☎90ページ)。
外線使用中	●親機が使用中です。親機の使用が終わるまでお待ちください。
子機で通話中に「ピーピー」と 2回鳴ってすぐに切れる	●雑音の少ないところでご使用ください。
新着あり	●未再生の録音があります。親機または子機を操作して、再生してください。
自動応答中	●留守モードなどで、応答メッセージが流れて自動応答しています。
受信FAXあり	●メモリー受信したデータを表示、消去または印刷してください (☎47、48、50ページ)。
通話圏外	●親機の電源プラグを接続してください (☎17ページ)。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください (☎10ページ)。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 ● 切 を押すと表示が消えて使えるようになることがあります。
「ピーピー」	●親機や増設子機が使用中です。 ●親機の電源プラグを接続してください (☎16ページ)。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすいところでは使用しないでください (☎10ページ)。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。
「ピピピピ」	●名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。
「ピピッ……ピピッ……」	●充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。 ●長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電電池と交換してください (☎89、91ページ)。

お手入れ

清掃

乾いた柔らかい布(眼鏡ふきなど)をお使いください。汚れがひどいときは、水にひたしてよくしぼった布で清掃してください。そのあと、水分が残らないように、乾いた布でからぶきしてください。

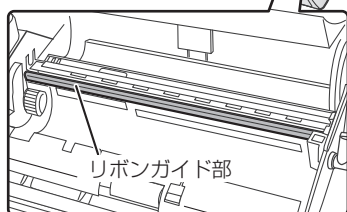
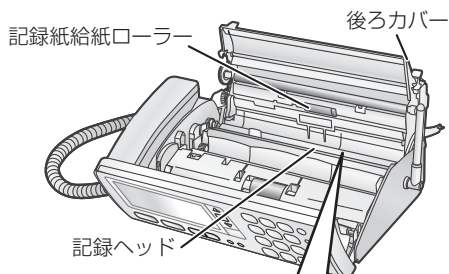
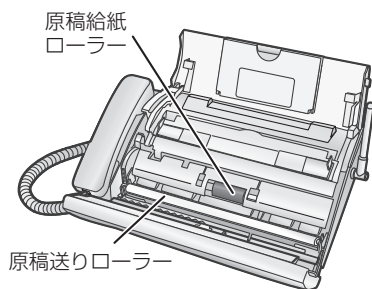


記録ヘッドやローラー、リボンガイド部の清掃

原稿や記録紙に汚れが付くときは、親機内部の記録ヘッドやローラー、リボンガイド部を乾いた柔らかい布で清掃してください。ローラーの部分はまわしながらふいてください。

⚠ 注意

お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて(記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから)行ってください。感電やけが(やけど)の原因になることがあります。



後ろカバーの開けかた ☞ 88ページ手順1～2

◆ 汚れが落ちないときは

- ・コピーして、まだ汚れているときは、もう一度清掃してください。
- ・コピーが正常で、受信ファクスの汚れが消えないときは、相手側の読み取りが悪い場合があります。

◆ お知らせ

- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。
- 紙粉の付着が多く、記録紙が正しく給紙しないときや、汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。ただし記録ヘッドは水ぶきしないでください。

インクリボン交換

ディスプレイに「インクリボンがありません 型番は UX-NR8G/GW」と表示されたときは、新しいインクリボンに交換してください。記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

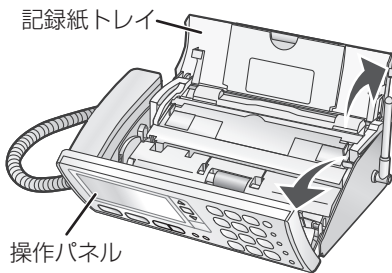
インクリボン（ギア付きタイプ）は、必ず当社の純正品をお使いください（☎91ページ）。

- UX-NR8G（33m×1本）
- UX-NR8GW（33m×2本）

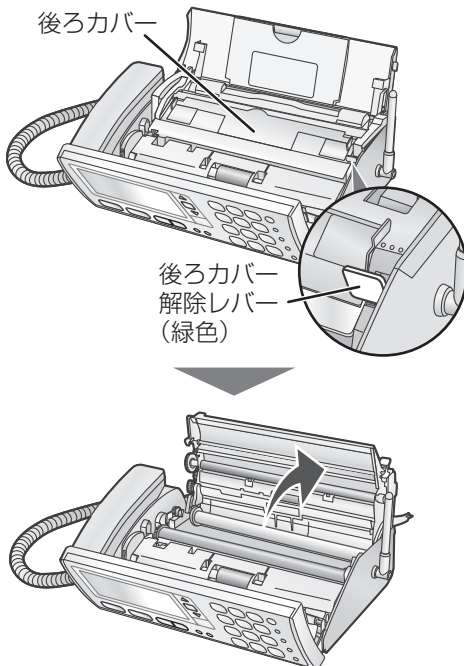
33mでA4原稿を最大で約105枚（※）印刷することができます（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください）。

※1件5枚の受信ファクスをくり返し印刷した場合

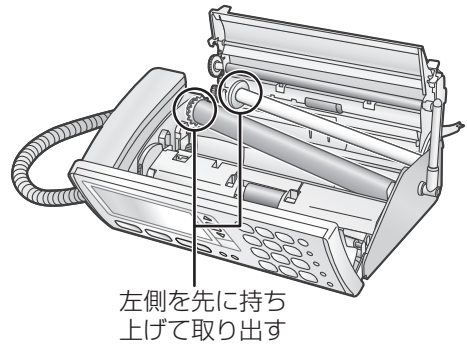
1 記録紙トレイを後ろに、操作パネルを前に起こす



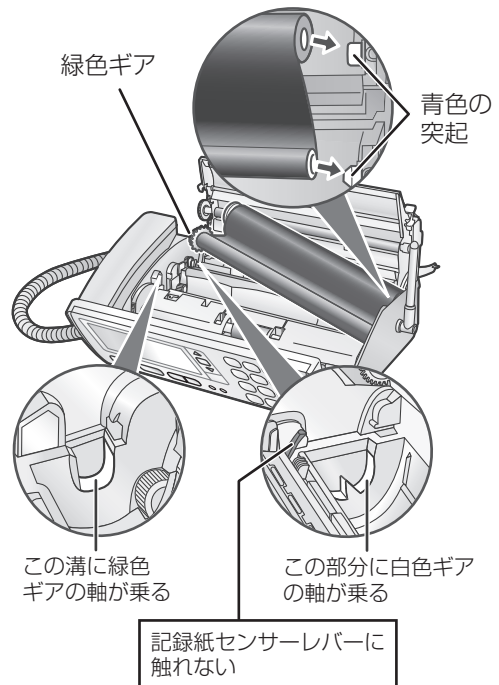
2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



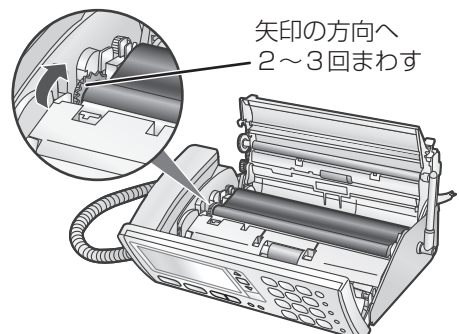
3 使用済みのインクリボンを取り出す



4 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでから取り付ける



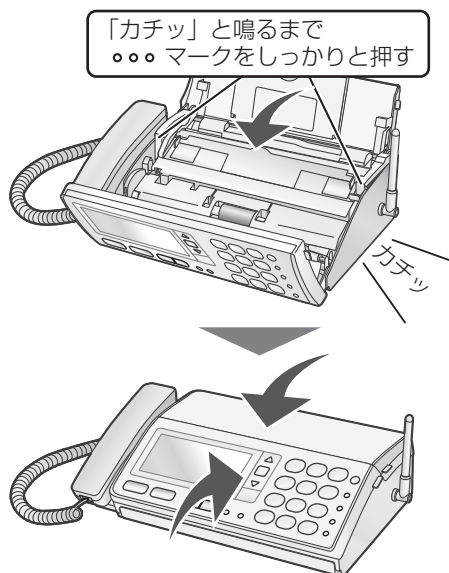
5 インクリボンのたるみを取る



次ページへ

充電電池交換

6 後ろカバーを閉め、操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



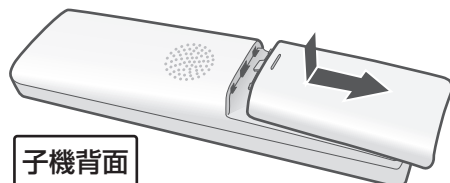
◆お知らせ

- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
 - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
 - ・インクリボンの芯やギアは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属でできています。
- 使用済みのインクリボンのギアだけを取り外して再利用することはできません。新しいインクリボン（ギア付きタイプ）をお使いください。

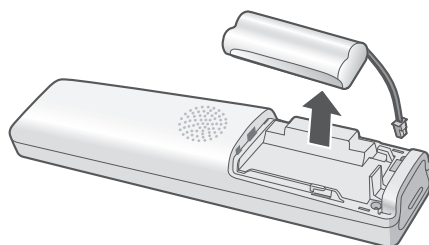
充電電池は2年程度で交換してください
(形名はM-003)

子機の充電電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度で充電電池の容量が減少していきます。長時間充電してもすぐに充電電池の容量がなくなるときには、新しい別売の充電電池に交換してください。充電電池は必ず91ページに記載されているものをお使いください。

1 充電電池ふたを取り外す



2 充電電池を取り外す



3 新しい充電電池を入れる

- ・「STEP1 充電電池をセット」(☎21ページ)を参考に、新しい充電電池を入れて10時間以上充電してください。

◆ 充電式電池のリサイクルご協力をお願い



Ni-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルマークです。

充電式電池はニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ・ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- ・リサイクル時のときは、次のことにご注意ください。
 - コネクターにテープを貼る
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさない
 - 分解しない

しまったとき


故障かな?と思ったときは (修理依頼される前に)

- ・ディスプレイ表示が化けている (意味不明の文字列や画像が表示されている)。
- ・ボタンが全く効かない。
- ・電話帳リストなどを印刷するとデータが乱れている。
- ・コピーや印刷ができない状態が続く。
- ・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン (IC) を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試しください。また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります (電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 ㉞92ページ)。

子機が使えないとき



◆再起動 (子機)

- ①  を約15秒以上押し続ける
 - ・子機の日時設定は消去されます。
 - ・時計バックアップ (㉞95ページ) が正しく働くと、親機の日時設定が転送されます。転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

その他の場合

◆再起動 (親機)

ボタンが効かないといった状態になったときにあります。

- ①  を約15秒以上押し続ける
- ② ディスプレイに [しばらくお待ちください] と表示されたら  から指を離す
 - ・自動的に再起動が行われます。
 - ・再起動しない場合は、本機の電源を入れ直してください (㉞下記)。





◆電源を入れ直す (親機)

再起動しても改善されないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

- ・親機の日時設定は消去されます。時計バックアップ (㉞95ページ) が正しく働くと、子機の日時設定が転送されます。転送されなかったときは、あらためて手動で設定してください。

上記の操作をしても症状が改善されないときは、次の操作 (強制リセット) を行ってみてください。【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、すべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

◆強制リセット (親機)

- ① 電源プラグを電源コンセントから抜く
 - ②  と  を同時に押したまま、電源プラグを電源コンセントに差し込む
 - ③ ディスプレイに [メモリークリア中] と表示されたら、 と  から指を離す
- ・ [メモリークリア中] と表示中は、電源プラグを電源コンセントから抜かないでください。

- ・強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳2件分が復活します。
- ・電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日時設定をやり直してください (㉞17ページ)。
- ・強制リセットをすると、日時設定のあと、自動的に回線種別を設定します。電話をかけるときは、回線種別の設定 (約20秒) が終わってからにしてください。
- ・強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、シャープお客様ご相談窓口 (㉞106ページ) へお申し付けください。

別売品／消耗品

このデジタルコードレスファクシミリを長い間お使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。純正品以外のインクリボンを使用した際の故障や不具合については一切保証できません。また、推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用されると印刷がかすれたり、薄くなることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

品名	ファクシミリ用普通紙
形名	PP110MA4
サイズ	A4サイズ
数量	250枚
希望小売価格	600円+税

品名	インクリボン（ギア付きタイプ）	
形名	UX-NR8G	UX-NR8GW
サイズ	A4幅×33m	A4幅×33m
数量	1本	2本1組
希望小売価格	1,250円+税	2,300円+税

ギアなしタイプのインクリボンは、使用することができません。

品名	子機用充電池※ （ニッケル水素充電池）
形名	M-003
部品コード	UBATM0030AFZZ
流通コード	142 932 0086
希望小売価格	1,600円+税

※シャープエンジニアリング（株）扱い

品名	形名	希望小売価格
増設子機 （☎65 ページ）	JD-KS100	16,000円+税
	JD-KS110	16,000円+税
	JD-KS200	19,000円+税
	JD-KS210	19,000円+税

ターミナルボックス（ドアホン接続用）

形名	DZ-T40
希望小売価格	16,000円+税

ドアホン

形名	DZ-H30-T（ブラウン）
希望小売価格	4,000円+税

延長コード（モジュラープラグ付き）

種類	5m（2芯）（白）	10m（2芯）（白）
部品コード	QCNWG0121AFSA	QCNWG0122AFSA
流通コード	142 512 0331	142 512 0332
希望小売価格	510円+税	780円+税

周辺機器・消耗品のご購入は最寄りの販売店、またはシャープのショッピングサイト「いい暮らしストア」でお買い求めください。

<シャープいい暮らしストア>

<http://store.sharp.co.jp/401/>

◆お知らせ

- 希望小売価格は2014年4月現在のものです。
- 小さい原稿を送信するとき使用するキャリアシートはご使用になれません。

登録や設定・電話帳を初期化する

登録データ初期化をすると登録・設定した内容の他に、留守録などの録音、メモリー受信データがすべて工場出荷時の内容に戻ります（消去されます）。

本機を廃棄、譲渡などするとき

お客様の個人情報流出による被害を防ぐために、親機の「電話帳以外初期化」と「電話帳消去」、子機の「すべてを初期化」の操作を行って、本機に記録したデータを消去することをおすすめします。親機のデータは、「強制リセット」（☎90ページ）で一括して消去することもできます。

◆ 電話帳以外初期化（親機）

① のあと （4回）

②

③

・電話帳の内容、誰あてコール設定、日付・時刻の設定を除いて、工場出荷時の設定に戻ります。

◆ 電話帳消去（親機）

①

・誰あてコール設定は工場出荷時の設定に戻ります。

◆ 電話帳以外初期化（子機）

①

② で [システム設定] を選び

③ で [登録初期化] を選び

④ で [電話帳以外] を選び （2回）

・ワンタッチダイヤルの登録は消去されません。

◆ すべてを初期化（子機）

①

② で [システム設定] を選び

③ で [登録初期化] を選び

④ で [全ての登録] を選び （2回）

・子機の登録内容がすべて工場出荷時の設定に戻ります。




◆ 子機の電話帳消去（☎30ページ）

◆ お知らせ





- 親機で電話帳以外初期化の操作をしたあと自動的に回線種別の設定を行います。電話をかけるときは、回線種別の設定（約20秒）が終わってからにしてください。



















特別設定





「選択項目」に**太字**で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。




























特別設定メニューの出しかた： のあと **#**（4回）→ ダイヤルキーを押す もしくは  で設定したい項目を選んで 

設定項目	設定の内容	選択項目
[留守番電話の設定]		
[応答メッセージ待ち時間] ① ①	留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間。	[1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒]
[発信音待ち時間] ① ②	応答メッセージが終わってから「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定。	[1 秒] [2 秒] [4 秒] [8 秒]
[お声拝聴] ① ③	留守番電話の応答メッセージと相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能。	[あり] [なし]
[留守録音時間] ① ④	留守録の録音時間。	[30 秒] [1 分] [2 分]
[戻って録音時間] ① ⑤	57 ページ参照。	[1 分] [3 分] [15 分]
[ファクス関連の設定]		
[ファクス受信方法] ② ①		
[見てからプリント]	受信した内容を親機のメモリーに記録し、印刷する前にディスプレイで確認。	[見てからプリント] [メモリー 受信] [記録紙受信]
[メモリー受信]	受信した内容を親機のメモリーに記録してから自動的に印刷。 ・記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データは親機のメモリーに保存します。	
[記録紙受信]	受信した内容を直接記録紙に印刷。 ・記録紙やインクリボンがなくなると受信できません。 ・メモリー受信できないときに設定します。 ただし、2 枚に分かれて印刷されることがあります。	
[受信モード] ② ②		
[ファクス優先]	詳しくは 46 ページ参照。	[ファクス優先] (4 ~ 25 回) [ファクス専用] [設定しない]
[ファクス専用]	詳しくは 46 ページ参照。	
[設定しない]	ファクス優先やファクス専用を使用しないときに設定。	
[在宅時応答回数] ② ③		
[回数選択]	詳しくは 46 ページ参照。	[回数選択] (1 ~ 25 回) [無制限呼出]
[無制限呼出]	電話に出られなかったとき、応答メッセージは流れず、相手が電話を切るまで着信音が鳴り続けます。	

特別設定メニューの出しかた：  のあと  (4回) → ダイヤルキーを押す もしくは  で設定したい項目を選んで 

設定項目	設定の内容	選択項目
[ファクス関連の設定]		
[おまかせ受信]  	ファクス自動送信されているとき（「ポー・ポー・ポー…」と聞こえるとき）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替わる機能。	[あり] [なし]
[縮小受信]  	ファクス印刷時、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約 93%に縮小して印刷する機能。 ・ [なし] に設定すると、縮小されないため、相手の方が A4 サイズで送信していても2枚に分かれて印刷されることがあります。また、白紙が 1 枚出てくる場合があります。	[あり] [なし]
[発信音検出]  	電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツー」という発信音を検出して正しく送信する機能。 ・ 自動送信がうまくできないときは、この設定を解除するか、受話器を取って送信してください。	[あり] [なし]
[音関連の設定]		
[親機送話音量]  	親機での通話時に相手先へ送出される音量。	[小] [標準] [大]
[子機送話音量]  	子機での通話時に相手先へ送出される音量。	[小] [標準] [大]
[子機受話音量]  	子機での通話時に相手先から聞こえる音量。 ・ 通話中に切り替えることもできます (☎ 51 ページ)。	[小] [標準] [大]
[親機受話音質]  	親機の受話音質を調整。 ・ [低い] で低音、[高い] で高音を強調した音質に設定します。	[低い] [標準] [高い]
[子機受話音質]  	すべての子機の受話音質を一度に調整。 ・ [低い] で低音、[高い] で高音を強調した音質に設定します。 ・ 通話中の子機のみ調整することもできます (☎ 52 ページ)。	[低い] [標準] [高い]
[キータッチ音]  	親機のボタンを押したときに鳴る音の有無。	[あり] [なし]

特別設定メニューの出しかた：  のあと  (4回) → ダイヤルキーを押す もしくは  で設定したい項目を選んで 

設定項目	設定の内容	選択項目
[電話関連の設定]		
[ナンバー・ディスプレイ]  	66 ページ参照。	[使用する] [使用しない]
[キャッチホン]		
[キャッチホンディスプレイ]   	64 ページ参照。	[使用する] [使用しない]
[キャッチホン切替時間]   	キャッチホン利用時に回線を開放する時間を設定。 ・交換機の種類などによって、キャッチホン利用時に電話が切れるときは、短い時間に設定します。	[0.4 秒] [0.6 秒] [0.8 秒]
[らくらく番号登録]  	71 ページ参照。	[使用する] [使用しない]
[どこからコール設定]		
[どこからコール]   	68 ページ参照。	[使用する] [使用しない]
[地域番号帯登録]   	68 ページ参照。	(番号一覧を表示)
[着信通知]  	59 ページ参照。	[使用する] [使用しない]
[時計機能]		
[時計バックアップ]  	親機または子機いずれかの日時設定が消えたときに、もう一方から自動的に日時設定を転送する機能。 ・日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは転送できません。	[使用する] [使用しない]
[子機へ時計送信]  	親機に登録されている日時を子機に転送。 ・あらかじめ親機の日時を登録しておいてください。 ・子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。	(子機へ送信)
[子機から時計受信]  	子機1に登録されている日時を親機に転送。 ・あらかじめ子機1の日時を登録しておいてください。 ・子機1が転送できないときは、子機2から転送します。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。	(子機から受信)
[ダイヤルライト] 	59 ページ参照。	[使用する] [使用しない]
[電話帳以外初期化] 	92 ページ参照。	[しない] [する]
[デモ起動] 	商品紹介用のデモの表示条件を設定。	[しない] [する (回線種別連動)] [する (常に実行)]

区点コード一覧表

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

区点 1~3 桁目	区点 4桁目 0123456789	区点 1~3 桁目	区点 4桁目 0123456789	区点 1~3 桁目	区点 4桁目 0123456789	区点 1~3 桁目	区点 4桁目 0123456789
010	178	01	於	354	暖	429	抱
011	179	02	於	355	暖	430	抱
012	180	03	於	356	暖	431	抱
013	181	04	於	357	暖	432	抱
014	182	05	於	358	暖	433	抱
015	183	06	於	359	暖	434	抱
016	184	07	於	360	暖	435	抱
017	185	08	於	361	暖	436	抱
018	186	09	於	362	暖	437	抱
019	187	10	於	363	暖	438	抱
020	188	11	於	364	暖	439	抱
021	189	12	於	365	暖	440	抱
022	190	13	於	366	暖	441	抱
023	191	14	於	367	暖	442	抱
024	192	15	於	368	暖	443	抱
025	193	16	於	369	暖	444	抱
026	194	17	於	370	暖	445	抱
027	195	18	於	371	暖	446	抱
028	196	19	於	372	暖	447	抱
029	197	20	於	373	暖	448	抱
030	198	21	於	374	暖	449	抱
031	199	22	於	375	暖	450	抱
032	200	23	於	376	暖	451	抱
033	201	24	於	377	暖	452	抱
034	202	25	於	378	暖	453	抱
035	203	26	於	379	暖	454	抱
036	204	27	於	380	暖	455	抱
037	205	28	於	381	暖	456	抱
038	206	29	於	382	暖	457	抱
039	207	30	於	383	暖	458	抱
040	208	31	於	384	暖	459	抱
041	209	32	於	385	暖	460	抱
042	210	33	於	386	暖	461	抱
043	211	34	於	387	暖	462	抱
044	212	35	於	388	暖	463	抱
045	213	36	於	389	暖	464	抱
046	214	37	於	390	暖	465	抱
047	215	38	於	391	暖	466	抱
048	216	39	於	392	暖	467	抱
049	217	40	於	393	暖	468	抱
050	218	41	於	394	暖	469	抱
051	219	42	於	395	暖	470	抱
052	220	43	於	396	暖	471	抱
053	221	44	於	397	暖	472	抱
054	222	45	於	398	暖	473	抱
055	223	46	於	399	暖	474	抱
056	224	47	於	400	暖	475	抱
057	225	48	於	401	暖	476	抱
058	226	49	於	402	暖	477	抱
059	227	50	於	403	暖	478	抱
060	228	51	於	404	暖	479	抱
061	229	52	於	405	暖	480	抱
062	230	53	於	406	暖	481	抱
063	231	54	於	407	暖	482	抱
064	232	55	於	408	暖	483	抱
065	233	56	於	409	暖	484	抱
070	234	57	於	410	暖	485	抱
071	235	58	於	411	暖	486	抱
072	236	59	於	412	暖	487	抱
073	237	60	於	413	暖	488	抱
074	238	61	於	414	暖	489	抱
075	239	62	於	415	暖	490	抱
076	240	63	於	416	暖	491	抱
077	241	64	於	417	暖	492	抱
078	242	65	於	418	暖	493	抱
079	243	66	於	419	暖	494	抱
080	244	67	於	420	暖	495	抱
081	245	68	於	421	暖	496	抱
082	246	69	於	422	暖	497	抱
083	247	70	於	423	暖	498	抱
160	248	71	於	424	暖	499	抱
161	249	72	於	425	暖	500	抱
162	250	73	於	426	暖	501	抱
163	251	74	於	427	暖	502	抱
164	252	75	於	428	暖	503	抱
165	253	76	於	429	暖	504	抱
166	254	77	於	430	暖	505	抱
167	255	78	於	431	暖	506	抱
168	256	79	於	432	暖	507	抱
169	257	80	於	433	暖	508	抱
170	258	81	於	434	暖	509	抱
171	259	82	於	435	暖	510	抱
172	260	83	於	436	暖	511	抱
173	261	84	於	437	暖	512	抱
174	262	85	於	438	暖	513	抱
175	263	86	於	439	暖	514	抱
176	264	87	於	440	暖	515	抱
177	265	88	於	441	暖	516	抱
178	266	89	於	442	暖	517	抱

区点 1~3 柘	区点4柘 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 柘	区点4柘 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 柘	区点4柘 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 柘	区点4柘 1 2 3 4 5 6 7 8 9
002	001	003	004	005	006	007	008
009	010	011	012	013	014	015	016
017	018	019	020	021	022	023	024
025	026	027	028	029	030	031	032
033	034	035	036	037	038	039	040
041	042	043	044	045	046	047	048
049	050	051	052	053	054	055	056
057	058	059	060	061	062	063	064
065	066	067	068	069	070	071	072
073	074	075	076	077	078	079	080
081	082	083	084	085	086	087	088
089	090	091	092	093	094	095	096
097	098	099	100				

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

◆ ファクシミリ部

形名	UX-810CL/UX-810CW 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・MR・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM * 1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット/mm （普通字、小さな字、精細、写真） 副：3.85本/mm（普通字） 7.7本/mm（小さな字、写真） 15.4本/mm（精細）* 2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	バックライト付液晶ディスプレイ
通信速度	14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約9秒 * 3
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙サイズ	A4サイズ
最大記録有効幅	205mm
最大送信原稿幅	210mm
読み取り有効幅	205mm
受信メモリー	A4標準原稿 約52枚 （普通字モード時）* 4

◆ コードレス部（子機）

充電完了時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時：最大約200時間* 5 通話時：最大約8時間
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字3行+ピクト

◆ 電話部

	親機	子機
ダイヤル形式	押しボタン式パルスダイヤル ／押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号種別	DP信号（10PPS/20PPS） ／PB信号（DTMF）	
呼び出し方式	着信音の呼び出し（音量切替）	
電話帳の件数	100件 （32桁以内） ×1番号	100件 （24桁以内） ×1番号
再ダイヤルの 記憶件数	20件	10件

◆ 留守録部

オリジナル 応答メッセージ	1件
用件録音時間	約15分（応答メッセージ1件、 メモリー受信データ含む） 用件ごとに記録する日時スタンプは、 別の専用メモリーを使っています。

- * 1 本機で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリのみ。（カラーの送受信はできません）
- * 2 ITU-T(国際規格) 準拠
- * 3 A4 判 700 字程度 of 原稿を標準的画質（8 × 3.85 本/mm）で高速モード（14400 bit / s）、ECM モードで送ったときの速さ（画像情報のみ of 電送速度で、通信の制御時間は含まれません。実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります）。
- * 4 受信原稿によっては、1 枚 of 受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。
- * 5 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かず、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。

◆ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法 幅×奥行×高さ (約/mm)	296×190×88 (受話器、突起部、アンテナを除く) 296×256×279 (記録紙トレイ伸長時 突起部、アンテナを除く)	49×28×176	93×76×27
質量	約2.3kg (受話器、インクリボンを含む)	約132g (充電池含む)	約132g
電源	AC100V±10V 50/60Hz	DC2.4V、600mAh (ニッケル水素電池)*6	入力: AC100V±10V 50/60Hz
消費電力 (100VAC)	約0.6W (ディスプレイ非表示の待機時) 約90W (動作時最大)	約0.6W (待機時) 約0.9W (急速充電時)	
直流抵抗	184Ω	—	—
静電容量	1.0μF以下	—	—
使用環境	温度 5℃~35℃ 相対湿度 30%~85%RH		

*6 充電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池は、お買いあげ販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力ををお願いします。

登録／設定項目一覧表（親機）



を押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。

「選択項目」に**太字**で記載されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

特別設定については、93ページをご覧ください。

操作	機能名／機能の説明	選択内容	参照ページ
はじめの設定			
① ①	日付・時刻 日付と時刻を登録できます。	(日付・時刻を登録)	52
① ②	発信元番号 ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録／消去できます。	登録 /消去	59
① ③	発信元名 ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録／消去できます。	登録 /消去	59
① ④	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	プッシュ回線（トーン）/ ダイヤル回線（20PPS） / ダイヤル回線（10PPS）/ 自動設定	19
① ⑤	液晶濃度調整	7段階の濃度 初期設定は 4段階目	59
① ⑥ ①	携帯とくとく設定 → 携帯とくとくダイヤル 携帯とくとくダイヤル機能の設定ができます。	NTTコミュニケーションズ 0033/その他事業者/ 使用しない	53
① ⑥ ②	携帯とくとく設定 → IP電話利用 IP電話をご利用中、携帯電話への電話だけ自動的に一般回線で電話するように設定できます。	あり/ なし	53
① ⑥ ③	携帯とくとく設定 → 携帯番号帯登録 携帯とくとくダイヤルの利用対象となる電話番号の頭4ケタを登録／消去できます。	(番号一覧を表示) 0901～0909など複数件 登録済み	53
① ⑥ ④	携帯とくとく設定 → 設定内容表示	(設定を表示)	56
① ⑦	音声操作案内 操作方法を音声でご案内する機能を設定できます。	あり /なし	59
① ⑧	スピーカー音量 スピーカーから聞こえる音量を設定できます。	5 / 5段階～1 / 5段階 初期設定は 3 / 5段階	51
① ⑨	文字サイズ切替 ディスプレイに表示される文字のサイズを切り替えることができます。	大 /ふつう	60

操作	機能名／機能の説明	選択内容	参照ページ
着信音と誰からコール			
② ①	親機着信音量	5／5段階～1／5段階/ 着信音量切 初期設定は3／5段階	51
② ②	親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	電話ベル音/鳥の声/ 電子音/インベンション/ ジュ・ト・ブ/シンフォ ニー40番/はにゅうの宿/ メヌエット/セレナーデ	51
② ③ ①	誰からコール設定 → 誰からコール 着信があったとき、誰からの電話が音声でお知らせする機能の設定ができます。	使用する/使用しない	67
② ③ ②	誰からコール設定 → 誰あてコール 誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。	オトウサン/オカアサン/ オニイサン/オネエサン/ オジイサン/オバアサン/ 未登録3件	68
② ④ ①	鳴分け時の着信音 → 電話帳	電話ベル音/鳥の声/ 電子音/インベンション/ ジュ・ト・ブ/シンフォ ニー40番/はにゅうの宿/ メヌエット/セレナーデ/ なし	70
② ④ ②	鳴分け時の着信音 → 非通知		
② ④ ③	鳴分け時の着信音 → 公衆電話		
② ④ ④	鳴分け時の着信音 → 表示圏外		
② ⑤ ①	ダイヤルインの設定 → 番号登録 ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	TEL1～TEL5/ファクス (選択して番号登録)	55
② ⑤ ②	ダイヤルインの設定 → 番号消去 ダイヤルインに追加した番号を消去できます。	TEL1～TEL5/ファクス (選択して番号消去)	55
② ⑤ ③	ダイヤルインの設定 → ダイヤルインの機能 ダイヤルイン機能の設定ができます。	使用する/使用しない	55
② ⑤ ④	ダイヤルインの設定 → ファクス時応答回数 ダイヤルインのファクス切替までの着信音の回数を設定できます。	0/2～6回	56
② ⑤ ⑤	ダイヤルインの設定 → ダイヤルイン着信音 ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定します。	TEL2～TEL5/ファクス (選択して着信音設定)	56
② ⑤ ⑥	ダイヤルインの設定 → 設定内容表示 ダイヤルインの設定内容を表示できます。	(設定を表示)	56
電話帳の設定			
③ ① ①	電話帳登録 → 新規登録	(電話帳を登録)	29
③ ① ②	電話帳登録 → 修正	(電話帳を修正)	29
③ ① ③	電話帳登録 → 消去	(電話帳を消去)	29
③ ②	子機転送 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	全件転送/1件毎転送	34
③ ③	おしゃべり電話帳 電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。	使用する/使用しない	33

操作	機能名／機能の説明	選択内容	参照ページ
留守番電話の設定			
④ ①	用件録音全消去	消去しない/消去する	37
④ ②	留守時応答回数 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	1～25回 初期設定は4回	38
④ ③	応答メッセージ 応答メッセージの種類を確認／設定できます。	固定メッセージ1/ 固定メッセージ2/ 自作メッセージ	38
④ ④ ①	外出先での操作 → リモート暗証番号 リモート操作に必要な暗証番号を登録／消去できます。	登録/消去	39
④ ④ ②	外出先での操作 → トールセーバー トールセーバーを使用する/しないの設定ができます。	使用しない/使用する	39
着信お断りの設定			
⑤ ①	非通知お断り	なし/お断り	70
⑤ ②	公衆電話お断り	なし/お断り	
⑤ ③	表示圏外お断り	なし/お断り	
⑤ ④	お断り番号登録	(番号一覧を表示)	70
⑤ ⑤	チャイム後自動設定 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする/しないの設定ができます。	しない/する	27
⑤ ⑥	あんしんLED	使用する/使用しない	67
ファクスの受け方			
⑥	ファクスの受け方 ファクス自動受信をする/しないの設定と、自動受信をするときの着信音の回数を設定できます。	自動受信しない/ 自動受信する	45
メモリー残量の表示			
⑦	メモリー残量の表示 ファクス受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	(メモリー残量を表示)	37

操作	機能名／機能の説明	選択内容	参照ページ
各種全消去			
⑧ ①	用件録音 留守番電話などの録音データをすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
⑧ ②	再ダイヤル 再ダイヤルの電話番号をすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
⑧ ③	着信記録 着信記録をすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
⑧ ④	受信ファクス メモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
⑧ ⑤	確認済み受信ファクス 確認済みのファクスデータをすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
⑧ ⑥	お断り番号 登録したお断り番号をすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
⑧ ⑦	電話帳 登録した電話帳をすべて消去できます。	消去しない/消去する	—
印刷			
⑨ ①	メニュー設定 (最大5枚) 親機の登録設定の一覧を印刷できます。	しない/する	50
⑨ ②	着信記録 着信記録の一覧を印刷できます。	しない/する	
⑨ ③	電話帳 電話帳に登録されている相手先の一覧を印刷できます。	しない/する	
⑨ ④	お断り番号 お断り番号の一覧を印刷できます。	しない/する	
原稿の排出			
⑩	原稿の排出 セットしている原稿を排出できます。	(原稿を排出)	42

機能項目一覧表（子機）



を押したあと、登録・設定できる項目の一覧です。

機能名		機能の説明	参照ページ
留守番電話	用件再生	録音されている内容を再生できます。	37
	留守設定切替	留守番電話を設定できます。	36
	録音全消去	留守録メッセージをすべて消去できます。	37
電話帳	電話帳登録	子機の電話帳に登録できます。	29
	ワンタッチ登録	子機のワンタッチダイヤルに登録できます。	35
	電話帳全転送	電話帳を親機や別の子機に転送できます。	34
着信音量		着信音の大きさを変更できます。	51
着信音色		着信音の種類を変更できます。	51
着信鳴り分け		着信鳴り分け機能の設定ができます。	70
システム設定	日時登録	日付・時刻を登録できます。	52
	キータッチ音出力	ボタン操作音の有無を設定できます。	60
	クイック通話	クイック通話の設定ができます。	60
	使用者表示	子機の使用人名を登録できます。	60
	液晶濃度調整	ディスプレイのコントラストを調整できます。	60
	ダイヤルライト点灯	ダイヤルライトを点灯させるかどうかの設定ができます。	60
	登録初期化	[電話帳以外] ワンタッチダイヤルと電話帳以外の設定や登録した内容が消去され、お買いあげ時の状態に戻ります。 [全ての登録] ワンタッチダイヤルと電話帳のデータも含め、設定や登録した内容がすべて消去され、お買いあげ時の状態に戻ります。	92
全消去	再ダイヤル	再ダイヤルをすべて消去できます。	24
	着信記録	着信記録をすべて消去できます。	69
	電話帳	電話帳をすべて消去できます。	30
	ワンタッチ	ワンタッチをすべて消去できます。	35

保証とアフターサービス（よくお読みください）

ご相談いただく前に・・・

- ①72～90ページの「こまったとき」をご覧ください。
- ②ファクシミリサポートページの「Q&A 情報」や「故障診断ナビ」をご活用ください。

ファクシミリサポートステーション
<http://www.sharp.co.jp/support/fax/index.html>

保証書（☎ 115ページ）

- 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、デジタルコードレスファクシミリの補修用性能部品を製品の製造打切後、5年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

- 修理サービスや使いかた、お手入れなどのご相談は、まずお買いあげの販売店へご相談ください。
- ご転居や贈答品でお買いあげの販売店が分からない場合は、お客様ご相談窓口へご相談ください。

ご購入店	
電話番号	— —
お買いあげ日	年 月 日

- お買いあげの際に、ご記入いただくことをおすすめします。

修理を依頼されるときは 持込修理

- 「こまったとき」（☎ 72～90ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 故障や修理の際に、お客様が登録した電話帳などのデータが変化・消失する場合がありますので、大事なデータは「登録内容を印刷する」（☎ 50ページ）などの機能を使用して、控えをとっておくことをおすすめします。データが変化・消失した場合の損害につきまして、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料金（出張修理の場合）で構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検



長年ご使用のデジタルコードレスファクシミリの点検を！

このような症状はありませんか？

- ・電源コードが異常に熱い
- ・コゲくさい臭いがする
- ・電源コードに深いキズや変形がある
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ずお買いあげの販売店にご依頼ください。なお、点検・修理に関する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。**

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

お電話では、次の内容をお知らせください。

・「品名（デジタルコードレスファクシミリ）」、「形名（UX-810CLまたはUX-810CW）」

・必要に応じて、本機の使用環境をお尋ねします。

（例：お使いの電話回線の回線種別、IP電話や ひかり電話などをお使いかどうか、NTTのナンバー・ディスプレイをご契約されているかどうか）

ファクス送信される場合は、製品の品名、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

【お客様相談窓口における個人情報の取り扱いについて】

お客様ご相談窓口へお問い合わせいただいた場合、お客様のご相談内容を正確に把握し、適切に対応するため、当社では通話内容を録音させていただいております。

<個人情報利用目的>

お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応を実施するためのみを目的として利用します。

<個人情報の取り扱い>

当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。なお、当社の個人情報保護基本方針については、下記の当社ウェブページをご覧ください。

<http://www.sharp.co.jp/privacy-j.html>



メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

<http://www.sharp.co.jp/support/>

■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。



使用方法のご相談など【お客様相談センター】おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間（年末年始を除く） ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 663 - 700

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 194

■フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 1583	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72	



修理のご相談など【修理相談センター】おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間（年末年始を除く） ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は…

	電話	FAX
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口（サービスセンター/テクニカルセンター）でも承っております。

受付時間（祝日など弊社休日を除く） ●月曜～土曜：9:00～17:40 ただし、沖縄地区は 月曜～金曜：9:00～17:40

北海道	・札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	・静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	・大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19	
東北	・仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27	中部	・名古屋 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市中区川山王3-5-5	中国	・広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
	・宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41		・金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御経塚4-103	四国	・高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
関東	・東京都 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12		・京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48	九州	・福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
	・横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23		・阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10	沖縄	・那覇 098-861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

・お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

・所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2013年11月現在）

リモート操作手順カード

外出先から録音メッセージを聞きたいとき（リモート操作 39ページ）は、下記の手順カードを切り取ってお持ちになってお使いください。

<p>〈リモート操作をするには〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電話をかける 2. 応答メッセージが聞こえたら→Ⓜを押す。 3. 応答メッセージが止まったら→ ○○○○（暗証番号）とⓂを押す。 4. 新しい用件が再生されます。 新しい用件がないときは、再生されません。 	<p style="text-align: center;">リモート操作手順カード</p> <p style="text-align: center;">〈暗証番号記入欄〉</p> <div style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</div> <ul style="list-style-type: none"> ●リモート操作には暗証番号を使います。 ●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。 （ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。） ●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。 <p style="text-align: center;">SHARP</p>
---	--

<p>〈リモート操作をするには〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電話をかける 2. 応答メッセージが聞こえたら→Ⓜを押す。 3. 応答メッセージが止まったら→ ○○○○（暗証番号）とⓂを押す。 4. 新しい用件が再生されます。 新しい用件がないときは、再生されません。 	<p style="text-align: center;">リモート操作手順カード</p> <p style="text-align: center;">〈暗証番号記入欄〉</p> <div style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</div> <ul style="list-style-type: none"> ●リモート操作には暗証番号を使います。 ●リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。 （ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。） ●詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。 <p style="text-align: center;">SHARP</p>
---	--

文字入力ボタン対応表

付属の文字入力ボタン対応表シールを他の場所でもお使いになりたい場合や、シールを貼り付けずにお使いになりたい場合などは、下記の文字入力ボタン対応表をコピーしてお使いください。

文字入力ボタン対応表(親機)		
1 あ	2 か ABC	3 さ DEF
4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO
7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ
* 〰	0 わ 記号	#

↑ ↓ : かな漢字変換

ファクス 迷惑電話 : カースルを左右へ移動
◀ ▶

再生 : スペース

消去 / キャンセル : 1文字消去

保留 / 内線 : 文字の種類切り替え

メニュー / 決定 : 入力した文字の決定 / 決定 (次へ進む)

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ #
	1件前の用件を聞き直す	③ # ③ #
	次の用件を聞く	④ #
	再生を途中で止める	⑤ #
	早聞きする (押すたびに「速い」→「遅い」→ 「普通」→…)	① #

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済み用件をすべて消去	⑦ ① #
	録音内容をすべて消去	⑦ ② #
	留守を設定/解除する	⑥ #

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ #
	1件前の用件を聞き直す	③ # ③ #
	次の用件を聞く	④ #
	再生を途中で止める	⑤ #
	早聞きする (押すたびに「速い」→「遅い」→ 「普通」→…)	① #

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済み用件をすべて消去	⑦ ① #
	録音内容をすべて消去	⑦ ② #
	留守を設定/解除する	⑥ #

メ 毛

× ㄷ

× ㊦

【あ】

ISDN (アイエスディーエヌ)	19、78
IP 電話	19、78
IP 電話解除番号	53
携帯ととくとくダイヤルの設定	53
アクセントを変更する	
おしゃべり電話帳	33
誰あてコール	68
アドレス帳  電話帳	
アフターサービス	105
あんしん LED	67
今から録音	57
インクリボン	
インクリボンのご購入は	91
インクリボンを交換する	88
使用済みのインクリボンを捨てる	89
印刷	50
ADSL (エーディーエスエル)	19、78
液晶ディスプレイ	15
液晶ディスプレイのコントラスト	59、60
エラー表示	85、86
応答メッセージ	38
お客様ご相談窓口	106
お断り  着信お断り	
お断り番号登録	70
おしゃべり電話帳	33
お手入れ	87
お問い合わせ	106
お待たせ (保留)	23
オリジナルメッセージ (自作メッセージ)	38
音質	52、94
音声操作案内	59
オンフックダイヤル	23
音量	
声が聞こえにくい	74
受話音量	51
スピーカー音量	51
着信音量	51
音量大ボタン	52

【か】

回線種別	19
画質を選ぶ	43
紙づまり	82、84
画面	15
キータッチ音	60、94
聞いてから応答	24
キャッチホン	64
キャッチホン・ディスプレイ	64
記録紙	
記録紙がつまったときは	84
記録紙に白や黒の線が入るときは	81
記録紙をセットする	49
記録紙受信	47、93
クイック通話	60
区点コード	96
クリア	
強制リセット	90
電話帳以外初期化	92
電話帳消去	30、92
登録初期化	92
警告してから録音	58
携帯ととくとくダイヤル機能	
IP 電話利用	53
携帯番号帯登録	53
設定する	53
設定内容表示	53
原稿	
原稿がつまったときは	82
原稿の排出	42
原稿をセットする	40
セットできる原稿のサイズ	43
公衆電話お断り	70
故障かな? と思ったときは	90
コピー	50

【さ】

再起動	90
再生	37
再ダイヤル	
消去する	24
電話帳に登録する (子機)	30
電話をかけ直す	23
ファクスを送る	40
3者通話	28
自作メッセージ	38
自動受信 (ファクス)	
電話に出ないで自動的にファクスを受ける	45
留守設定にする	36
充電	22
修理	105、106
受信する (ファクス)	44
仕様	98
消耗品	91
初期化する	92
スピーカーホン通話	23、24
送信する (ファクス)	40、42
増設子機	65、91
相談窓口	106

【た】

誰あてコール	68
誰からコール	67
チャイムでお断り	26
着信お断り	70
着信音	
親機の着信音の種類	51
子機の着信音の種類	51
着信音の回数	38、46
着信音量	51
着信拒否  着信お断り	
着信記録	69
着信通知	59
着信鳴り分け	70
着信メロディ  着信音	
着信らくらく番号登録	71
着信履歴  着信記録	
通話音質	52、94
ディスプレイのコントラスト	59
停電時の動作	80
伝言の録音	58
電話がかかけられないときは	72
電話帳	
転送する	34
電話をかける	33
登録した内容を印刷する	50
登録する	29
ファクスを送る	40、42
電話をかける	
再ダイヤルで電話をかける	23
着信記録で電話をかける	69
電話帳で電話をかける	33
電話をとりつく	28
ドアホン通話	61
登録初期化	92
登録/設定早見表	100
トーン (プッシュホン)	19
トーン信号 (プッシュ信号)	23
特番ダイヤル	34
時計	52
時計バックアップ (時計転送)	95
どこからコール	68
とりつき転送	28

【な】

内線通話	28
ナンバー・ディスプレイ	66

【は】

発信元番号 (あなたの番号)	59
発信元名 (あなたの名前)	59
光回線	19、78
ひかり電話	19、78
非通知お断り	70
日付・時刻設定	52
表示	15
表示圏外お断り	70
ファクス専用	46
ファクス優先	46
ファクスを受信する	44
ファクスを送信する	40、42
付属品	2
プッシュ信号 (トーン信号)	23
プリント  印刷	
別売品	91
ポーズ (待ち時間)	23
保証	105
保留	23

【ま】

窓口	106
見てからプリント	47、93
迷惑電話拒否機能 (迷惑電話お断り)	26、70
メッセージでお断り	26
メモリー残量表示	37
メモリー受信	47、93
メモ録音	58
文字入力	30
モデムダイヤルインサービス	54
戻って録音	57

【ら】

らくらく番号登録	71
リセット (強制的に初期状態にする)	90
リダイヤル (再ダイヤル)	23
留守番電話	36
録音する	
警告してから録音する	58
通話内容をさかのぼって録音する	57
通話内容を録音する	57
伝言を録音する	58
留守設定時の応答メッセージを録音する	38
録音でお断り	26
録音を聞く	37

【わ】

ワンタッチダイヤル	35
-----------	----

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>

こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

- ・ お買いあげ後の接続や設定のしかた (P.16ページ)
- ・ 電話がかけられないときは (回線種別別設定 P.19ページ)
- ・ 携帯電話に電話がかけられないときは (P.73ページ)
- ・ 子機に雑音が入ったり声のとぎれるときは (P.11ページ)
- ・ ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関する
お問い合わせ、お申し込み先
NTT窓口 TEL: 局番なしの 116 (通話料金無料)
- ・ 本機が正しく動かないなどお困りのときは、72~90ページをご覧ください。



ビジュアルガイド

FAXの操作方法を動画で案内します。

左記QRコードをスマートフォンやタブレット端末の
バーコードリーダーで読み取ってください。
QRコードが読み取れない場合、パソコンで確認される場合は、
アドレスを直接入力してください。

<http://www.sharp.co.jp/support/visualguide/index.html#FAX>

※当サイト及び動画の試聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額
サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がありますのでご注意ください。

取扱説明書をご確認いただいても解決しないときは、106 ページをご覧ください、
お客様相談センターへご連絡ください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
デジタル情報家電事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地
モバイルソリューション事業部



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると
判断します。



Printed in Thailand
UX-810CL/UX-810CW 14J ⑤ TINSJ4759XHTC